

石川県漁海況情報

424号
2019年4月12日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

フクラギ漁・寒ブリ漁・冬期のスルメイカ漁のまとめ

- フクラギの合計水揚量は過去10年平均を大きく下回り、寒ブリは過去10年平均を上回りました。
- 冬期のスルメイカの合計水揚量は252トンであり、前年および過去5年平均を下回りました。

石川県主要港の水揚状況（期間:3月16日～31日）

- 定置網ではブリ・カタクチイワシ、まき網ではサバ・マアジが好調でした。

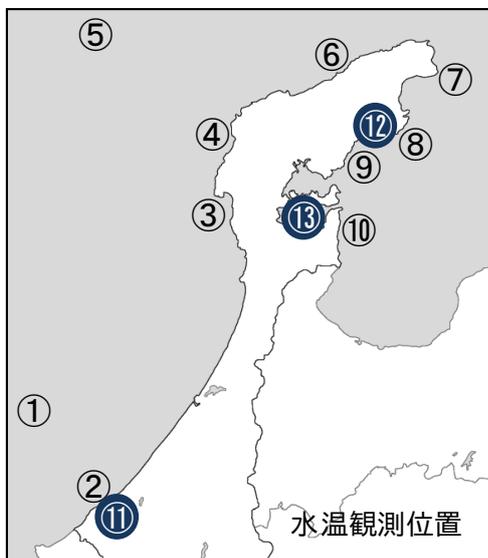
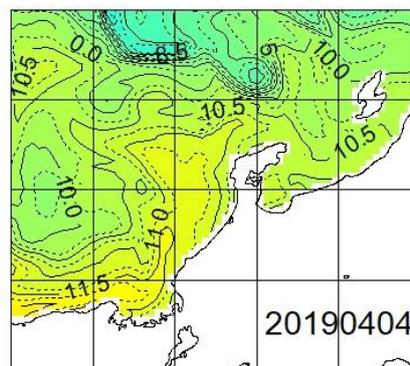
石川県周辺海域の水温（期間:3月31日～4月4日）

■ 沿岸の海面水温 4月4日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台で、過去5年平均との差は-0.5～±0.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は11.1～12.8℃で、3月下旬から0.2℃上昇しました。前年同時期との差は+0.3～+0.9℃、過去3年平均との差は-0.2～+0.4℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は11.1～12.2℃で、前年同時期との差は-1.3～+0.3℃、過去3年平均との差は-1.2～+0.2℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 3/31～4/4	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	12.8	+0.9	+0.4
② 橋立沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 富来沿岸	11.3	データなし	-0.2
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	11.1	+0.3	+0.4
⑧ 小浦沿岸	11.1	+0.5	+0.3
⑨ 鶴川沿岸	11.1	+0.4	+0.2
⑩ 岸端沿岸	11.1	+0.6	+0.4

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

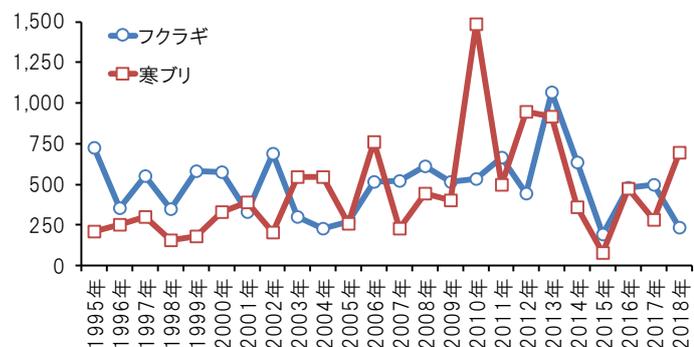
観測位置	5日間平均 3/31～4/4	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	12.2	-0.6	-0.3
⑫ 宇出津港	11.3	+0.3	+0.2
⑬ 石崎港	11.1	-1.3	-1.2

フクラギ漁および寒ブリ漁のまとめ

■ 今期のフクラギ漁(2018年10月～2019年3月、定置網)は、期間を通して低調な漁模様となりました。その結果、今期の合計水揚量(速報値)は236トンと、過去10年平均(565トン)を大きく下回りました。

■ 今期の寒ブリ漁(2018年11月～2019年3月、定置網)は、11月中旬より本格的に始まり、期間を通じて安定した水揚げが続きました。その結果、今期の合計水揚量(速報値)は698トン(約80,000尾)と過去10年平均(589トン)を上回りました。サイズ別の尾数を見ると、9割以上が大ブリ(7kg以上)によって占められていました。

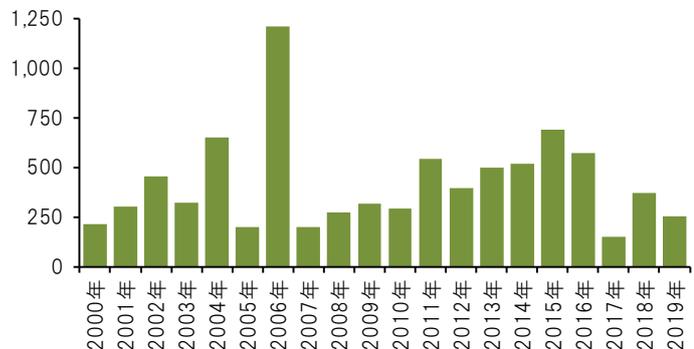
単位(ト) 主要10港の定置網によるフクラギ・寒ブリ水揚量



冬期のスルメイカ漁のまとめ (期間:2019年1月～3月)

■ 今期の定置網による水揚量は252トンであり、前年(373トン)および過去5年平均(460トン)を下回りました。漁海況情報416号では、今期の水揚量は前年および過去5年平均を下回ると予想しており、概ね予想どおりの結果でした。1月の能登・秋田沖の50m深水温は低く、スルメイカの来遊に好適な条件でしたが、漁獲対象である冬生まれのスルメイカの資源量が低水準であり、このため本県沿岸への来遊が少なかったものと考えられます。

単位(ト) 主要10港の定置網によるスルメイカ水揚量



石川県主要港の水揚状況 (期間:3月16日～31日)

■ 定置網 ブリは前年を上回り、スルメイカ・マアジ・マイワシは前年を下回りました。カタクチイワシは64トン水揚げされました。1月前半から3月後半までの累計は1,001トンで、前年(25トン)および過去5年平均(212トン)を上回りました。

■ まき網 サバ・マアジ主体の水揚げで、前年を上回りました。

■ 底びき網・ごち網 ハタハタは前年並みで、フグ類・ニギス・アカガレイ・アマエビは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 フクラギ・コゾクラ・ベニズワイガニは前年を上回り、ナマコ・ヤナギバチメ・アマエビは前年を下回りました。フクラギ・コゾクラは70トン水揚げされました。

集計期間 3月16日～3月31日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
ぶり					0.7	31.0	49.4	81.1	0.5
かたくちいわし					10.2	1.5	51.9	63.6	0.2
するめいか					0.9	0.9	19.6	21.4	26.9
まあじ					10.3	2.5	3.0	15.8	76.6
まいわし					7.3	0.4	0.8	8.5	2776.4
ふぐ類			0.0		0.3	3.4	1.1	4.8	0.3
さば					0.3	0.6	3.4	4.2	59.2
うるめいわし					2.6	0.1	0.4	3.1	0.1
まだら			0.0		0.5	1.0	0.7	2.2	4.6
さわら・さごし					0.7	0.5	0.9	2.0	1.0
かわはぎ(ウマヅラ)					0.2	0.8	0.8	1.9	4.8
まだい			0.0		0.4	0.5	0.8	1.7	1.0
にぎす							1.0	1.0	
その他			0.0		2.4	8.9	8.4	19.7	13.2
合計			0.1		36.7	52.2	142.1	231.1	2964.9
まき網									
さば	—	9.6			206.1	—	30.3	246.1	0.8
まあじ	—	0.5			139.8	—	2.2	142.5	
まだい	—				0.0	—	4.8	4.8	
すずき	—	0.0			0.6	—		0.7	0.0
その他	—				1.0	—	0.2	1.2	53.8
合計	—	10.2			347.5	—	37.5	395.3	54.7
底びき網・ごち網									
ふぐ類	0.1	2.0	25.8	7.6	0.0		—	35.6	89.1
はたはた	11.0	6.1	6.1	1.3	2.0	4.8	—	31.4	36.4
にぎす	2.9	21.1	4.4		0.0	0.6	—	29.0	58.7
あかがれい	13.0	3.7	0.9	4.6	0.1		—	22.3	44.8
あまえび	0.2	4.7	0.5	4.4	2.3		—	12.2	32.0
なめたがれい(ヒレグロ)	2.0	1.2	0.3	2.5	0.2		—	6.1	4.4
ずわいがに	0.1	2.2	0.2	1.8	1.2		—	5.3	6.9
まだら	0.9	0.9	0.2	2.7	0.4		—	5.2	14.7
みずうお(ノケソゲ)	0.3	3.2	0.8	0.2	0.0		—	4.7	11.5
その他	6.8	11.9	5.2	10.2	1.5	0.5	—	36.1	60.1
合計	37.3	56.9	44.6	35.4	7.8	5.8	—	187.9	358.7
刺網・釣り・その他									
ふくらぎ・こそくら				69.9	0.0	0.1		70.0	0.1
べにずわいがに		51.9	12.9	0.5				65.3	42.2
なまこ			0.0	0.0	0.2	10.1	0.6	11.0	14.0
やなぎばちめ(ウスマル)	0.0		6.3	1.2	0.2	0.1	0.3	8.1	17.7
あまえび			4.6				0.0	4.6	12.1
がんど				4.4		0.0	0.0	4.4	7.8
ぶり				1.3		0.0	2.3	3.7	16.6
みずだこ	0.0	0.1	0.0	2.5	0.2	0.1	0.1	2.9	6.6
その他	1.8	2.3	3.9	9.1	2.1	9.7	10.5	39.4	62.4
合計	1.8	54.3	27.8	89.0	2.7	20.2	13.7	209.5	179.3
総計	39.2	121.4	72.5	124.4	394.7	78.2	193.4	1023.7	3557.5

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

スルメイカの漁況の見通し（予報期間:5月～7月）

- 石川県沿岸の小型イカ釣りによる水揚量は前年および過去5年平均をやや上回る見込みです。
- 日本海沿岸の水揚量は前年並みで、過去5年平均を下回る見込みです。

水産総合センター・トピックス

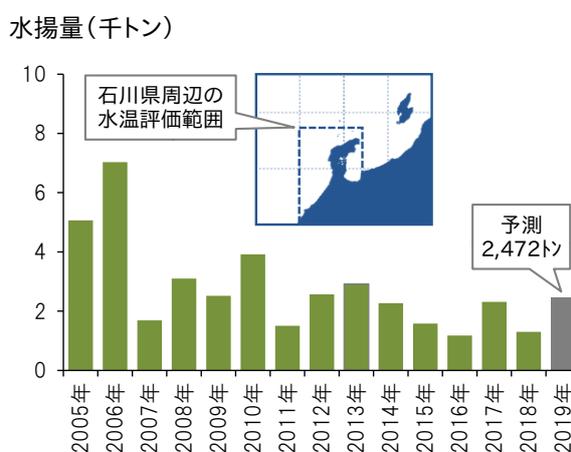
- 「能登の藻場の現状と海藻の利活用」

スルメイカの漁況の見通し（予報期間:5月～7月）

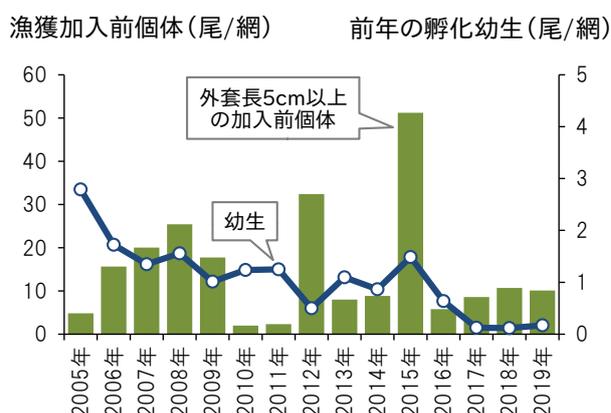
■ 石川県沿岸 5月中旬の石川県周辺海域の50m深水温が低い年ほど5～7月のスルメイカの水揚量が多い傾向にあります。水温が低いとイカの北上が遅くなり、本県沿岸で漁場が長期間形成されるためと考えられます。海況数値モデルでは、今年5月中旬の50m深水温は前年よりやや低いと予想されています。また、秋に生まれた孵化幼生はその後成長して春以降に漁獲対象になりますが、昨年秋の孵化幼生の分布密度は低かったことが分かっています（後述）。水温・幼生密度と水揚量の関係式から、今期の小型イカ釣りによる水揚量は2,472トンと見積もられ、前年（1,302トン）および過去5年平均（1,730トン）をやや上回ると予想されます。

■ 日本海沿岸 漁獲加入前のスルメイカ（外套長2～10cm程度）の分布量を調べるため、石川県水産総合センター・富山県水産研究所・日本海区水産研究所は4月に日本海で表層トロール調査を行いました。調査時に外套長5cm以上であったイカが5～7月の漁獲対

小型イカ釣りのスルメイカ水揚量（5～7月）



スルメイカ分布量調査の結果



象になります。外套長5cm以上のイカの調査点当たりの平均採集尾数は9.0尾で、前年(10.7尾)並みであったものの過去5年平均(17.0尾)を下回りました。一方、昨年秋の孵化幼生調査では、調査点当たりの平均分布密度は0.17尾と前年(0.12尾)並みに低く、過去5年平均(0.65尾)を下回っており、今期漁獲されるイカの孵化量は資源が少なかった1980年代の水準にまで落ち込んでいます。以上から、今期の日本海沿岸への来遊量は前年並みで、過去5年平均を下回ると予想されます。日本海沿岸の漁況予報(2019年度第1回日本海スルメイカ長期漁況予報)の詳細については、水産庁の資源評価等推進委託事業のページ(<http://abchan.fra.go.jp/>)をご覧ください。

石川県周辺海域の海面水温（期間：4月17日～21日）

■ 沿岸の海面水温 4月21日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は11～13℃台で、過去5年平均との差は±0.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は12.0～13.7℃で、4月上旬から約1.1℃上昇しました。過去3年平均との差は+0.1～+0.6℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は12.4～14.6℃で、前年同時期との差は+0.3～+0.9℃、過去3年平均との差は+0.3～+0.6℃でした。

沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 4/17～4/21	前年差	過去3年平均差
① 橋立沖	13.7	+0.2	+0.4
② 橋立沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 富来沿岸	13.1	+0.0	+0.1
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 萱々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	12.1	+0.2	+0.2
⑧ 小浦沿岸	12.1	+0.4	+0.4
⑨ 鶴川沿岸	12.0	+0.6	+0.4
⑩ 岸端沿岸	12.0	+0.4	+0.6

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 4/17～4/21	前年差	過去3年平均差
① 橋立港	14.6	+0.3	+0.5
② 宇出津港	12.4	+0.4	+0.3
③ 石崎港	14.2	+0.9	+0.6

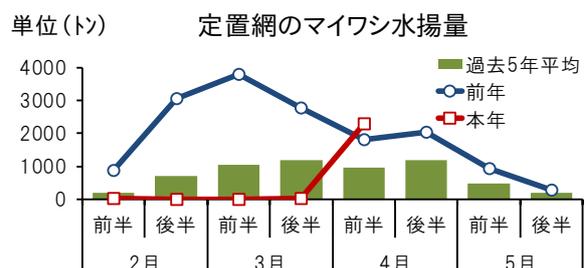
石川県主要港の水揚げ状況（期間：4月1日～15日）

■ 定置網 カタクチイワシ・ブリ・フグ類・スルメイカは前年を上回り、マアジは前年並み、サバは前年を下回りました。マイワシは2,311トン水揚げされました。2月前半から4月前半の累計は2,357トンで、前年(12,261トン)および過去5年平均(4,070トン)を下回りました。

■ まき網 サバ・ブリ主体の水揚げで、前年を上回りました。

■ 底びき網・ごち網 ニギス・ハタハタは前年並み、フグ類・アマエビ・アカガレイは前年を下回りました。ハタハタは22トン水揚げされました。2月前半から4月前半の累計は108トンで、過去5年平均(144トン)を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 ベニズワイガニ・アマエビは前年を下回りました。



集計期間 4月1日～4月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし					67.1	723.3	1520.3	2310.7	1803.5
かたくちいわし					1.4	0.3	32.9	34.7	0.2
ぶり					0.6	17.4	13.6	31.7	0.1
ふぐ類					0.1	11.5	1.4	13.0	3.5
するめいか					0.8	0.2	9.8	10.8	6.3
まあじ			0.1		1.2	2.3	2.3	5.9	6.5
さば					1.0	2.0	2.6	5.6	18.8
かわはぎ(ウマヅラ)			0.0		0.5	1.6	1.8	4.0	6.8
すずき			0.0		0.8	0.2	0.7	1.7	1.3
めじ(クマガロ)					0.0	1.4	0.1	1.5	
まだい			0.0		0.3	0.4	0.7	1.4	2.6
このしろ					0.0	0.2	0.8	1.0	1.4
まだら			0.0		0.3	0.3	0.3	0.8	0.9
その他	0.0		0.0		3.4	4.1	14.5	22.0	18.7
合計	0.0		0.2		77.5	765.3	1601.7	2444.7	1870.6
まき網									
さば	—	56.6				—		56.6	
ぶり	—	24.0				—		24.0	19.3
うるめいわし	—	6.3				—		6.3	
まあじ	—	1.7				—		1.7	
その他	—	0.1				—		0.1	25.6
合計	—	88.6				—		88.6	44.8
底びき網・ごち網									
にぎす	6.8	25.3	7.3		0.8	2.3	—	42.6	44.0
ふぐ類	0.1	0.5	24.1			0.1	—	24.9	132.6
はたはた	1.6	0.4	0.0		14.1	5.9	—	22.0	19.5
あまえび		13.2			2.1		—	15.3	23.7
あかがれい	6.6	5.5	1.9		0.2		—	14.1	19.1
まだら	1.6	0.8	0.4		0.7		—	3.5	5.3
かわはぎ(ウマヅラ)	0.5	2.8	0.1				—	3.4	2.1
のとえび(トゲザコヒ ^他)	0.3	2.1			0.6		—	3.0	2.8
あんこう	0.5	0.6	1.4		0.1		—	2.7	4.8
その他	7.0	9.3	5.9		2.1	0.3	—	24.7	37.7
合計	25.0	60.6	41.2		20.7	8.6	—	156.1	291.6
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		25.8	16.6					42.3	63.3
あまえび			5.0					5.0	9.5
まいわし						0.0	4.9	4.9	0.4
なまこ			0.1		0.4	3.3	0.5	4.2	3.9
ばいがい		0.0	2.7		0.0	0.1	0.0	2.8	2.6
さより					0.3	1.4	1.1	2.8	3.1
まだこ	0.0	0.0			0.0	0.8	1.5	2.4	1.3
やなぎばちめ(ウスマル)	0.0	0.1	1.9		0.0	0.1	0.2	2.3	19.9
その他	2.2	2.3	3.1	0.0	2.3	8.3	8.8	26.9	60.3
合計	2.2	28.2	29.3	0.0	3.0	14.1	16.9	93.8	164.4
総計	27.2	177.5	70.7	0.0	101.1	788.0	1618.6	2783.1	2371.4

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

能登の藻場の現状と海藻の利活用

池森貴彦

■ 石川県立大学の里海活動の組織である「プロジェクト・アイ」からの依頼を受け、4月13日に羽咋市上甘田公民館で、「能登の藻場の現状と食用海藻」について講演をおこなってきました。

■ まず本県でのガラモ場とアマモ場の現状を伝えるため、能登町と七尾西湾で実施した藻場分布調査の結果についてお話ししました。第4回自然環境保全基礎調査(1994)によると能登町の沿岸には1,440haのガラモ場があるとされていましたが、2011年に実施した私たちの調査によると、654haと当時の45%に減少しており、沖に広がっていた深い部分の藻場が消失していました。これは調査方法の違いにもよるでしょうが、今回の調査では主に水深10m以浅でしか藻場は確認できませんでした。

■ 次に七尾西湾のアマモ場についてですが、同保全基礎調査によると七尾西湾には1,258haと県内最大のアマモ場が確認されていましたが、2011年に私たちが実施した調査では1,042haと以前の83%に減少し、能登町と同じく深い水深でアマモ場が消失していました。さらに深刻なことに、翌年の追跡調査で多年生のアマモが夏の高水温により全ての地点で地下茎も含めて枯死してしまったことが判明しました。幸い秋の調査で、種から芽生えたばかりのアマモが各地点で見られ、アマモ場は復活しました。しかし、夏から秋の一時期にアマモ場が消失したことで、アマモ場で生息している生物はその間すみかを奪われたことでしょう。夏の高水温によりアマモ場の脆弱性が高まっています。

■ 講演では能登で昔から食べられてきた多種類の食用海藻について、その特徴や生態、併せて料理方法についてもお話しし、講演のあと海藻しゃぶしゃぶを試食してもらいました(右写真)。



■ 先月には能登でレストランを経営されているシェフの方々に磯に案内し、漂着海藻や生えている海藻の様子を体感していただきました。そしてそのあと輪島の

フレンチレストランで、シェフたちがそれぞれ能登の海藻を使った料理を作り、それを試食してアドバイスし合うという情報交換会にも参加させていただきました。

■ 能登の海藻は今、熱い注目を浴びています。

石川県漁海況情報

426号
2019年5月17日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

小型いか釣りの水揚量（期間:5月1日～13日）

- 水揚量は前年を上回り、過去5年平均を下回っています。
- 水揚げの主体は30尾入りと40尾以上入りであり、魚体は小さめです。

石川県主要港の水揚状況（期間:4月16日～30日）

- 定置網ではカタクチイワシが好調でした。

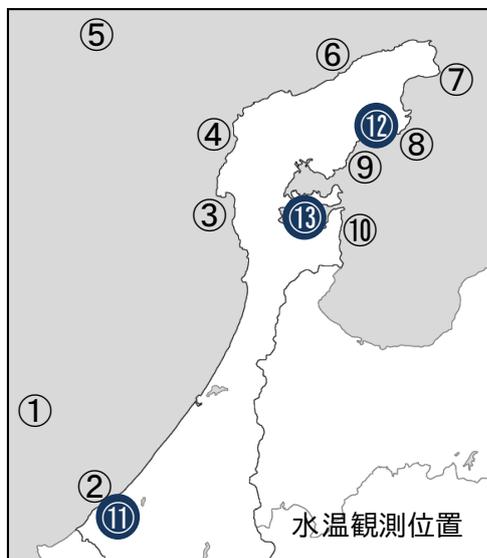
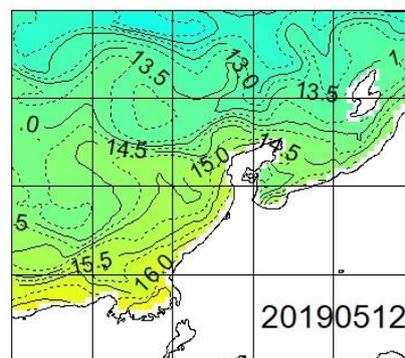
石川県周辺海域の海面水温（期間:5月8日～12日）

■ 沿岸の海面水温 5月12日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は14～16℃台で、過去5年平均との差は-0.5～±0.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は13.9～15.8℃で、4月中旬から約2.0℃上昇しました。前年同期との差は-0.7～+0.6℃、過去3年平均との差は-0.5～+0.2℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は14.0～16.9℃で、前年同時期の差は-0.7～+0.8℃、過去3年平均との差は-0.3～+0.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 5/8～5/12	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	15.8	-0.1	-0.1
③ 富来沿岸	15.4	+0.6	+0.2
④ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑦ 小泊沿岸	14.2	-0.6	-0.5
⑧ 小浦沿岸	14.0	-0.7	-0.4
⑨ 鶴川沿岸	13.9	-0.7	-0.4
⑩ 岸端沿岸	14.0	-0.6	-0.0

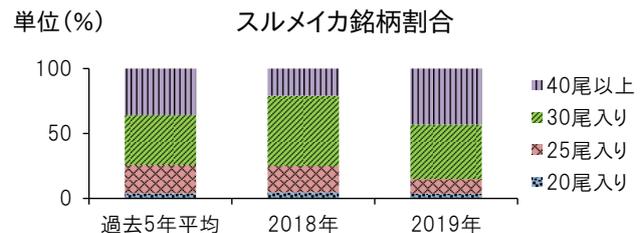
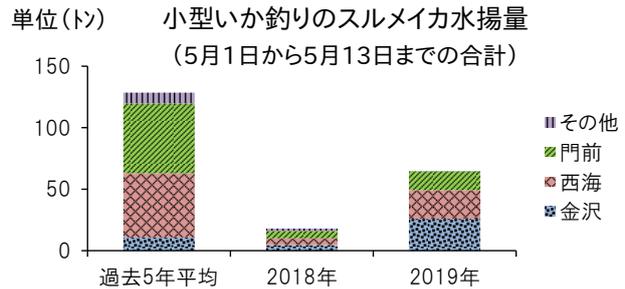
港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 5/8～5/12	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	16.9	+0.6	+0.5
⑫ 宇出津港	14.0	-0.7	-0.3
⑬ 石崎港	16.3	+0.8	+0.7

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～13日）

■ 県沿岸では今月から県外小型いか釣り漁船の操業が始まりました。5月1～13日の県内のスルメイカ水揚量は65トンであり、前年同時期（18トン）を上回り、過去5年平均（129トン）を下回っています。前年を上回っているものの低調な滑り出しとなっています。漁場は金沢・西海・門前沖で、金沢と西海への水揚げが多く、門前への水揚げは少なめです。

■ 銘柄（1箱当たりの入り尾数）別箱数割合をみると、30尾入りと40尾以上入りが全体の85%を占めており、前年および過去5年平均に比べて魚体は小さめです。



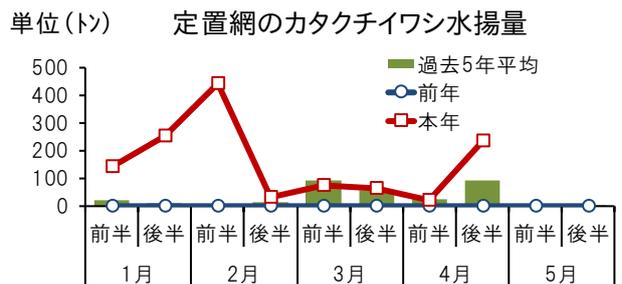
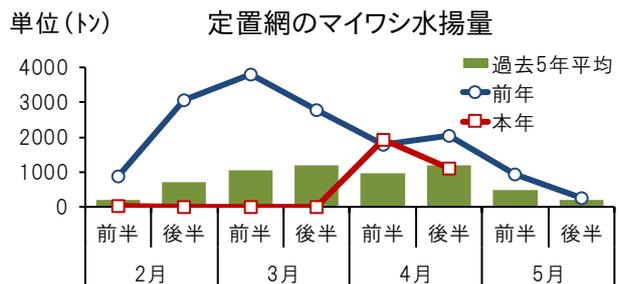
石川県主要港の水揚状況（期間:4月16日～30日）

■ 定置網 ガンドは前年を上回り、マアジ・マダイは前年並み、ブリ・カワハギ・サバ・フグ類は前年を下回りました。マイワシは1,098トン水揚げされました。2月前半から4月後半の累計は3,064トンで、前年（14,380トン）および過去5年平均（5,266トン）を下回りました。カタクチイワシは235トン水揚げされました。1月前半から4月後半の累計は1,267トンで、前年（103トン）および過去5年平均（330トン）を上回りました。

■ まき網 水揚げはほとんどなく、マダイがわずかに水揚げされました。

■ 底びき網・ごち網 マダラは前年を上回り、アマエビ・ハタハタ・ニギスは前年並み、アカガレイ・フグ類・ソウハチは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 フクラギ・コゾクラ・ガンドは前年を上回り、イワガキ・ナマコ・フグ類は前年並み、ベニズワイガニは前年を下回りました。ヤナギバチメは輪島を中心に29トン水揚げされました。3月前半から4月後半までの累計は53トンで、前年（88トン）および過去5年平均（71トン）を下回りました。



集計期間 4月16日～4月30日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし	0.0		0.0	20.0	283.0	405.0	389.7	1097.8	2053.1
かたくちいわし					1.8	0.7	232.7	235.3	77.7
ぶり	0.6		3.0	2.4	1.4	15.0	7.6	30.1	73.5
まあじ	3.2		2.7	5.4	4.4	3.2	6.3	25.2	28.5
まだい	0.4		1.2	3.5	0.7	5.4	8.4	19.6	20.1
がんど			1.3	8.1	0.2	1.9	0.7	12.1	7.9
かわはぎ(ウマヅラ)	0.3		0.9	0.5	0.8	3.0	4.3	9.9	25.7
するめいか			0.1		0.4	0.5	7.8	8.8	5.0
さば	0.0		0.2	0.4	2.0	2.3	3.5	8.4	10.7
ふぐ類	0.1		0.9	0.3	0.8	3.6	1.5	7.2	43.6
さわら・さごし	4.1		0.7	0.3	0.0	0.1	0.1	5.2	1.6
すずき	0.1		0.6	0.7	0.4	0.7	1.1	3.7	2.6
このしろ					0.1	0.5	1.4	1.9	2.4
その他	1.0	0.0	1.5	1.5	1.9	21.0	14.3	41.2	52.0
合計	10.0	0.0	13.1	43.2	298.0	462.8	679.2	1506.3	2404.6
まき網									
まだい	—			4.0		—		4.0	0.0
さば	—			0.7		—		0.7	105.3
がんど	—			0.0		—		0.0	
まあじ	—			0.0		—		0.0	2.5
その他	—			0.0		—		0.0	54.4
合計	—			4.8		—		4.8	162.2
底びき網・ごち網									
あまえび	11.5	33.2		8.9	3.1		—	56.7	60.3
はたはた	2.7	0.3	3.4	14.2	20.4	9.1	—	50.2	44.5
にぎす	2.6	34.6	5.9	1.7	2.4	2.9	—	50.1	52.6
あかがれい	12.4	10.7	5.0	10.2	0.6		—	38.8	49.9
ふぐ類	0.2	0.4	18.9	18.7			—	38.2	215.9
まだら	1.0	2.1	0.7	14.0	1.4		—	19.1	11.8
そうはち	1.7	3.2		2.5	0.1		—	7.5	9.6
のとえび(トゲザコEビ他)	0.9	4.3		0.2	1.2		—	6.7	9.0
あんこう	1.0	0.7	2.1	1.4	0.1		—	5.4	5.5
その他	8.8	9.8	6.7	31.0	3.0	0.3	—	59.6	59.5
合計	42.9	99.3	42.6	102.9	32.2	12.2	—	332.2	518.6
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		35.1	14.2	1.1				50.4	80.7
やなぎばちめ(ウスマバル)	0.1	0.5	3.8	24.1	0.1	0.3	0.5	29.3	47.0
ふくらぎ・こそくら			0.0	16.2	0.0	0.0		16.3	0.6
いわがき				13.1			0.0	13.2	16.3
なまこ				0.0		8.0		8.0	7.8
ふぐ類	0.2	0.0	3.3	3.9	0.0	0.0	0.2	7.7	7.1
がんど			1.1	3.9	0.1	0.4	0.0	5.5	3.0
まだい	0.1	0.0	0.1	3.3	0.7	0.8	0.2	5.3	2.6
その他	5.3	4.3	7.8	31.3	3.6	13.2	12.3	77.7	100.1
合計	5.7	39.9	30.3	97.0	4.5	22.6	13.2	213.2	265.3
総計	58.6	139.2	86.0	247.9	334.7	497.7	692.4	2056.6	3350.7

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報

427号
2019年5月31日発行



石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:5月8日～16日）

- スルメイカの来遊は日本海中央部では少なく、能登半島沿岸では比較的良好です。
- 魚体サイズは前年および過去5年平均より小さめでした。

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～5日20日）

- 水揚量は前年を上回り、過去5年平均を下回りました。
- 水揚げの主体は30尾入りと40尾以上入りであり、魚体は小さめです。

水産総合センター・トピックス

- 「リュウグウノツカイではありません・・・」「GWの人気者 シマフグ」

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:5月8日～16日）

■ 調査船白山丸は5月8日から16日に能登半島沖から日本海中央部（大和堆付近とその南方）でイカ釣り操業を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は日本海中央部では0.0～12.0尾と低く、能登半島沿岸では5.7～155.9尾と比較的高かったことから、調査時点においては、スルメイカの来遊は沖合では少なく、能登半島沿岸では比較的良好と考えられます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長（魚体サイズの指標）の平均値は16.3cmであり、魚体は前年（17.1cm）および過去5年平均（18.4cm）より小さめでした。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

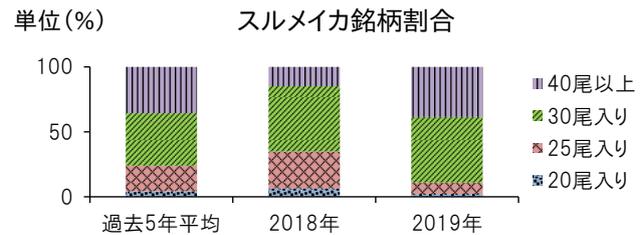
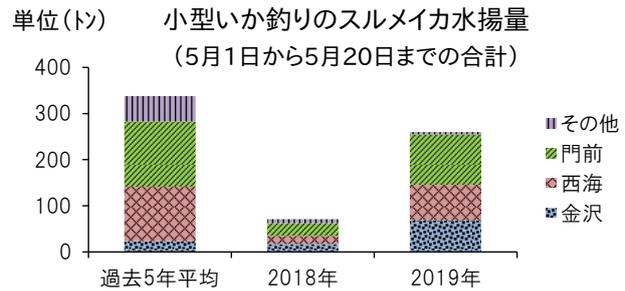
操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
5月08日	37-29.5N, 136-16.2E	1,193	10.0	13～22cm(16cm)	14.0℃	12.19℃
5月09日	38-40.7N, 135-41.0E	154	1.2	10～18cm(16cm)	13.9℃	13.05℃
5月10日	39-17.9N, 134-33.0E	1,512	12.0	12～18cm(15cm)	12.7℃	9.40℃
5月11日	38-53.3N, 133-50.1E	660	5.2	12～18cm(15cm)	16.0℃	11.76℃
5月12日	38-00.8N, 133-54.8E	5	0.0	14～17cm(15cm)	16.3℃	14.32℃
5月13日	37-29.6N, 135-12.3E	38	0.4	10～18cm(16cm)	15.5℃	11.84℃
5月14日	38-00.4N, 135-48.5E	219	1.7	12～19cm(17cm)	15.0℃	12.41℃
5月15日	37-58.2N, 136-36.8E	17,466	155.9	12～20cm(17cm)	15.2℃	12.11℃
5月16日	37-57.1N, 136-57.0E	358	5.7	11～19cm(14cm)	16.9℃	12.54℃

CPUE:釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体:漁獲尾数の多かったイカの外套長

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～20日）

■ **本県沿岸の小型いか釣漁船によるスルメイカの水揚げは中盤にさしかかっています。**5月1日から5月20日の県内水揚量は260トンで、前年の71トンを上回り、過去5年平均の338トンを下回っています。水揚げは5月上旬は低調でしたが、5月12日以降、上向いてきました。5月21日現在、主な漁場は西海・門前・輪島沖にあります。

■ **銘柄（1箱当たりの入り尾数）別の箱数割合をみると、今年は30尾入りと40尾以上入りが全体の89%を占めており、前年および過去5年平均に比べて魚体は小さめです。**



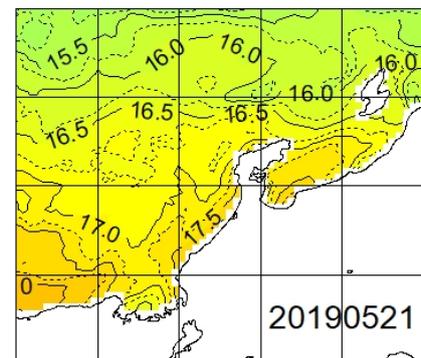
石川県周辺海域の水温（期間:5月17日～21日）

■ **沿岸の海面水温** 5月21日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は16～17℃台で、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は15.8～17.6℃で、5月上旬から約1.8℃上昇しました。前年同時期との差は-0.5～+0.7℃、過去3年平均との差は-0.4～+0.7℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は17.0～21.0℃で、前年同時期との差は+0.7～+4.9℃、過去3年平均との差は+0.6～+3.2℃でした。

石川県周辺の海面水温



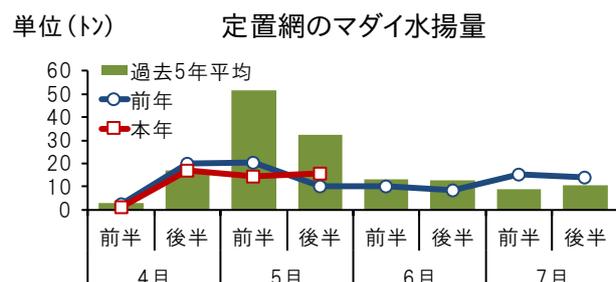
石川県主要港の水揚状況（期間:5月1日～15日）

■ **定置網** マイワシ・ガンド・カタクチイワシ・スルメイカは前年を上回り、フグ類は前年並み、ブリ・フクラギ・マアジは前年を下回りました。マダイは16トン水揚げされました。4月前半から5月前半までの累計は33トンで、前年（43トン）および過去5年平均（72トン）を下回りました。

■ **まき網** サバ・マアジ・マダイ等がわずかに水揚げされました。

■ **底びき網・ごち網** ニギス・アマエビは前年を上回り、ハタハタ・アカガレイは前年並みでした。

■ **刺し網・釣り・その他** ベニズワイガニ・サザエ・ガンドは前年並みでした。



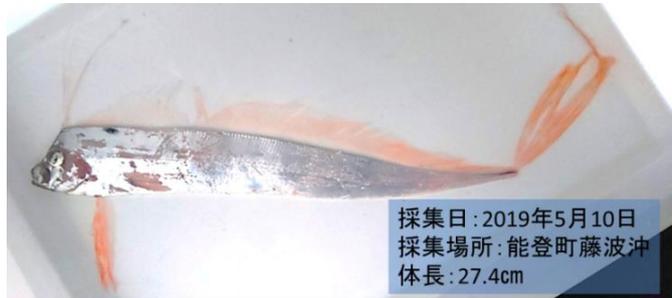
集計期間 5月1日～5月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし			0.0	0.3	422.0	517.0	230.5	1169.7	934.3
ぶり	3.8	0.0	8.2	5.4	4.2	18.0	18.9	58.5	76.0
がんど		0.0	8.7	18.4	4.3	11.7	10.6	53.7	20.4
ふくらぎ・こぞくら	0.7		27.4	0.4	0.0	0.9	4.2	33.6	45.0
ふぐ類	0.3	0.0	21.5	0.3	0.7	2.7	2.6	28.1	26.8
かたくちいわし					0.1	0.2	20.2	20.5	1.6
まあじ	3.6	0.2	0.9	1.7	1.4	2.5	10.3	20.5	40.7
するめいか	0.0		0.0	0.0	0.1	2.1	13.8	16.1	4.4
まだい	0.6		1.8	1.3	0.7	2.1	9.5	15.9	20.5
さば	0.0		1.7	0.5	0.8	1.5	3.0	7.6	13.3
その他	5.6	0.4	4.5	6.0	2.6	12.9	18.1	50.1	58.3
合計	14.6	0.6	74.7	34.2	437.0	571.6	341.6	1474.4	1241.5
まき網									
さば	—			5.5		—		5.5	38.3
まあじ	—			2.9		—		2.9	12.4
まだい	—			1.9		—		1.9	0.1
ひらまさ	—			0.3		—		0.3	0.0
さこだい(チガイ)	—			0.2		—		0.2	
その他	—			0.3		—		0.3	79.8
合計	—			11.1		—		11.1	130.6
底びき網・ごち網									
にぎす	0.7	20.6	47.2	0.1	0.3		—	68.9	31.1
あまえび	10.8	26.9	0.3	6.4	3.5		—	47.8	38.7
はたはた	2.2	0.0	0.8	3.9	16.7	5.0	—	28.6	30.8
あかがれい	9.8	5.5	3.2	8.5	0.2		—	27.2	31.8
ふぐ類	0.1	0.1	23.5	0.0			—	23.7	36.5
その他	11.5	11.0	8.9	33.9	3.1	0.7	—	69.1	58.9
合計	35.0	64.1	83.8	52.8	23.8	5.7	—	265.3	227.7
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		36.5	11.4					47.9	46.5
さざえ			0.7		0.6	3.6	1.1	6.0	5.6
がんど			1.9		1.1	1.4	0.1	4.5	4.0
さより				0.0	0.3	2.7	1.1	4.0	2.7
まだこ	0.0	0.0			0.1	1.2	1.6	3.0	4.0
まだい	0.1	0.0	0.2	0.1	0.5	1.6	0.3	2.8	4.0
ふぐ類	0.0	0.0	2.4		0.0	0.0	0.1	2.5	4.3
やなぎばちめ(ウスマバル)	0.0	0.2	1.4	0.1	0.1	0.2	0.2	2.1	15.2
その他	3.4	3.4	6.4	0.6	2.2	4.8	5.5	26.4	61.1
合計	3.6	40.2	24.3	0.8	4.8	15.4	9.9	99.1	147.3
小型いか釣り									
するめいか20入り		0.4	0.4			0.0		0.8	2.6
するめいか25入り		2.0	1.3	0.0	0.0	0.1		3.5	9.7
するめいか30入り		4.3	2.6	0.1		0.1		7.1	27.9
するめいか40入り以上		0.9	0.9	0.0	0.1	0.2		2.1	19.2
合計		7.6	5.3	0.1	0.1	0.4		13.5	59.4
総計	53.2	112.6	188.1	99.0	465.8	593.2	351.5	1863.3	1806.4

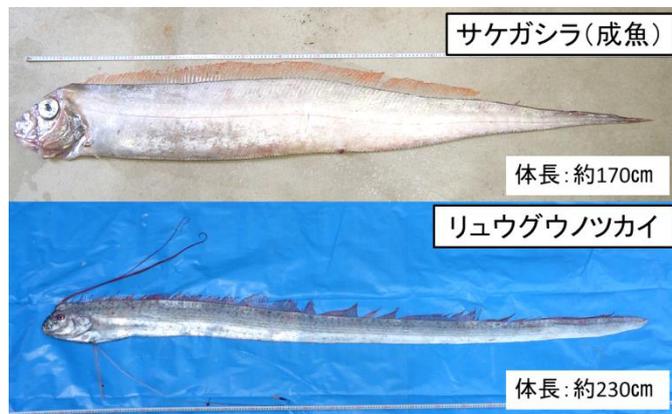
注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

リュウグウノツカイではありません・・・

■ 5月10日に能登町の定置網から水産総合センターに最近話題になっているリュウグウノツカイに似た魚が獲れたとの報告がありました。そこで、水産総合センターで詳しく調べてみると残念ながらリュウグウノツカイの仲間であるサケガシラ属の幼魚だとわかりました。日本周辺のサケガシラ属にはサケガシラとテンガイハタの2種が存在しますが、幼魚は外見での判別が難しいため、今回はサケガシラ属の1種としました。



■ サケガシラ属の仲間とリュウグウノツカイはよく似ていますが、成魚で比べるとリュウグウノツカイは腹びれや頭近くの背びれが大きいことや成魚の大きさが最大で11mと大きくなることなどで容易に見分けられます。しかし、サケガシラ属の仲間の幼魚も背びれや腹びれが大きく、リュウグウノツカイと似た形をしています。そのため、リュウグウノツカイでは?と思われるのかもしれません。(川畑 達)



GWの人気者 シマフグ

■ 改元GWでは、当センターに併設する「うみとさかなの科学館」も多くの来館者で賑わいました。来館者に意外と人気があったのが、右の写真の“ふぐ”です。派手な縞模様にくぐ独特の愛らしい泳ぎ方が人気の理由かもしれません。この“ふぐ”その名(標準和名)をシマフグといいます。シマフグは、南の暖かい海域に分布しており、石川県周辺では定置網にごく稀に入網する程度の魚でした。ところが、昨年あたりから急激に数が増えてきて、1日に数百尾以上入網することもたびたび見られます。他の“ふぐ”に比べてまだまだ市場価値は低いですが、ふぐ王国“いしかわ”の新たなメンバーとなるかもしれません。



■ 「うみとさかなの科学館」(入館料:無料)では、シマフグ水槽を6月限定で展示しております。愛らしく泳ぐ姿を是非ご覧になってください。(辻 俊宏)

石川県漁海況情報



428号
2019年6月14日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～6月9日）

- 水揚量は前年を上回り、過去5年平均並みになっています。
- 入港1隻当たりの水揚量は前年を上回り、過去5年をやや下回っています。

石川県主要港の水揚状況（期間:5月16日～31日）

- 定置網ではサワラ・サゴシが低調に推移しています。

水産総合センター・ピックス

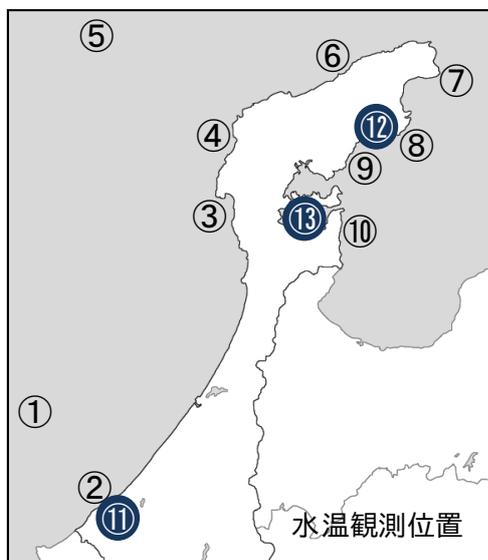
- 「電子標識（アーカイバルタグ）を付けたブリを多数放流しました!」「謎の卵!？」

石川県周辺海域の水温（期間:6月2日～6日）

■ 沿岸の海面水温 6月6日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は19～20℃台で、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は18.8～20.0℃で、5月中旬から約3.0℃上昇しました。前年同時期との差は+0.4～+1.9℃、過去3年平均との差は+0.5～+1.7℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は19.3～21.9℃で、前年同時期との差は+0.3～+1.5℃、過去3年平均との差は+0.7～+1.5℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 6/2～6/6	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	20.0	+1.2	+0.8
③ 富来沿岸	19.6	+1.4	+1.1
④ 門前沿岸	19.7	+1.9	+1.7
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	19.7	+1.3	+1.1
⑦ 小泊沿岸	19.2	+0.4	+0.5
⑧ 小浦沿岸	19.1	+0.9	+0.7
⑨ 鶴川沿岸	18.8	+0.6	+0.5
⑩ 岸端沿岸	18.9	+0.8	+0.5

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 6/2～6/6	前年差	過去3年 平均差
① 橋立港	21.7	+1.5	+1.5
② 宇出津港	19.3	+0.5	+0.7
③ 石崎港	21.9	+0.3	+1.1

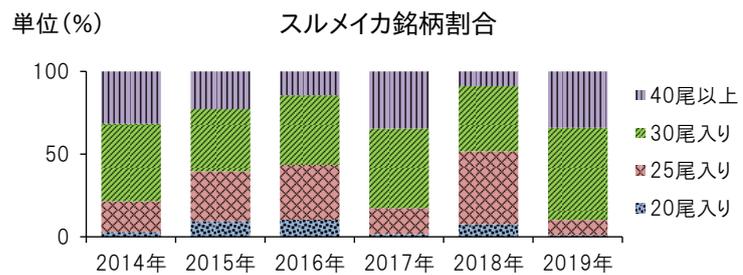
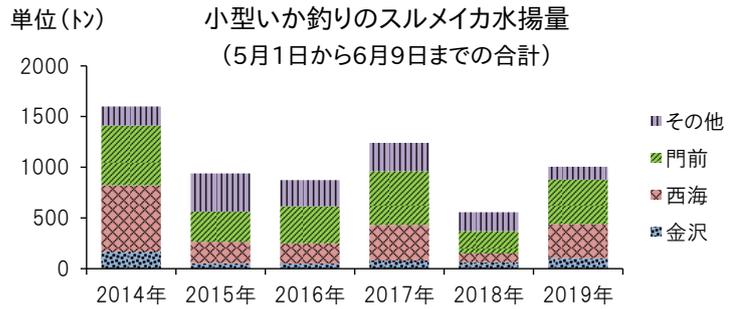
小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～6月9日）

■ **小型いか釣り漁船によるスルメイカの水揚げ**は中盤に入っています。5月1日から6月9日の県内水揚量は1,006トンであり、前年(557トン)を上回り、過去5年平均(1,042トン)並みで推移しています。

■ **銘柄別の箱数割合**をみると、30尾入りと40尾以上入りが全体の90%を占めており、前年(48%)および過去5年平均(69%)よりも割合が高く、前年および過去5年平均に比べて魚体は小さめです。

■ **5月の延べ入港隻数**を集計したところ、今年の入港隻数は1,778隻

であり、前年(1,230隻)を上回り、過去5年平均(1,733隻)並みになっています。入港1隻当たりの水揚量を求めたところ、今年(385kg)で、前年(206kg)を上回り、過去5年平均(447kg)をやや下回っています。従って、今年(今年)の県沿岸へのスルメイカの来遊量は前年を上回り、過去5年平均をやや下回っていると考えられます。6月9日現在、漁場は西海・門前・輪島沖にあり、佐渡以北ではまだ本格的な漁場は形成されていない模様です。



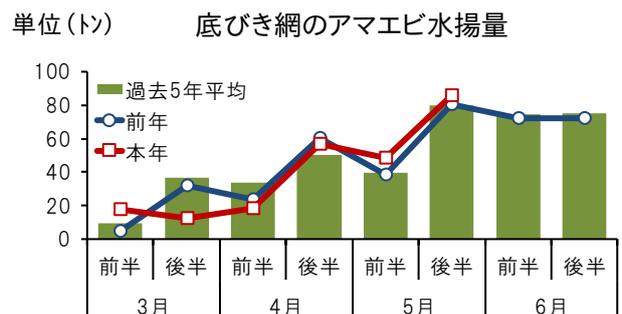
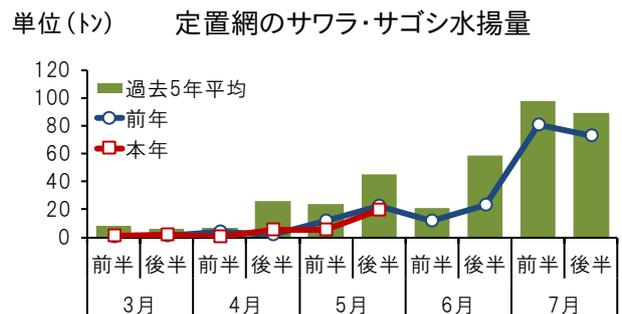
石川県主要港の水揚状況（期間:5月16日～31日）

■ **定置網** マイワシ・ウルメイワシは前年を上回り、フグ類・マアジは前年並み、フクラギ・ブリ・ガンド・サバは前年を下回りました。サワラ・サゴシは20トン水揚げされました。3月前半から5月後半までの累計は34トンで、前年(41トン)および過去5年平均(117トン)を下回りました。

■ **まき網** マアジは前年並み、マイワシ・サバは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** ハタハタ・フグ類は前年を上回り、ニギスは前年並み、アカガレイは前年を下回りました。アマエビは86トン水揚げされました。3月前半から5月後半までの累計は239トンで、過去5年平均(249トン)並みでした。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・イワガキ・ヤナギバチメは前年並みでした。



集計期間 5月16日～5月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まいわし				0.0	277.8	199.8	204.8	682.5	266.0
ふくらぎ・こそくら	5.5		22.1	43.5	0.8	13.4	27.3	112.7	145.3
ぶり	3.2		26.4	12.4	7.7	20.6	23.3	93.5	163.5
がんど		0.3	0.6	17.7	16.5	20.1	21.5	76.7	110.2
ふぐ類	0.6	0.0	16.4	21.5	6.5	14.9	10.2	70.2	59.7
まあじ	8.5	0.9	1.6	7.8	17.5	9.3	22.1	67.7	61.0
うるめいわし					1.6	43.4	5.3	50.4	3.1
さば	0.0		0.5	3.4	1.8	3.7	15.0	24.4	85.7
さわら・さごし	1.5	1.4	2.1	0.2	0.0	2.4	12.2	19.9	22.6
まだい	0.5	0.0	1.4	5.2	1.2	3.2	7.3	18.8	10.1
その他	5.8	0.1	13.6	11.8	5.3	21.6	33.9	92.2	70.7
合計	25.6	2.8	84.7	123.5	336.6	352.4	383.2	1308.8	997.9
まき網									
まいわし	—		198.7			—		198.7	845.7
まあじ	—			55.2		—		55.2	46.3
さば	—		27.7	20.9		—		48.5	281.2
まだい	—			23.3		—		23.3	4.0
うるめいわし	—		20.1			—		20.1	41.6
その他	—		0.0	10.3		—		10.3	155.0
合計	—		246.5	109.6		—		356.1	1373.8
底びき網・ごち網									
あまえび	13.2	55.2	0.4	9.2	7.7		—	85.6	80.5
にぎす	0.3	35.9	22.0	1.8	0.1	0.7	—	60.7	59.6
はたはた	3.6	0.1	1.9	8.5	14.3	8.1	—	36.5	16.8
ふぐ類	0.1	0.7	14.7	20.8	0.1		—	36.3	17.5
あかがれい	10.2	4.4	2.3	12.0	0.6		—	29.6	46.5
その他	21.6	18.1	5.5	73.9	5.3	0.1	—	124.5	135.5
合計	48.9	114.4	46.7	126.2	28.1	8.9	—	373.2	356.5
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		39.8	16.9	2.1				58.8	52.2
いわがき				22.0			0.0	22.0	21.5
やなぎばちめ(ウスマール)		0.1		11.8	0.0	0.1	0.4	12.4	14.2
まだい	0.1	0.0	0.3	8.7	0.1	0.5	0.2	9.9	11.4
ふぐ類			4.5	4.0	0.0	0.0	0.2	8.7	6.3
さざえ			0.9	0.2	1.0	4.1	2.6	8.7	8.8
まだこ	0.0	0.0		0.2	0.5	2.2	3.2	6.2	6.9
がんど			0.8	3.6	0.4	0.1	0.1	5.2	6.9
その他	3.7	2.7	8.0	28.4	3.2	4.0	6.7	56.7	66.9
合計	3.9	42.7	31.4	80.9	5.3	11.0	13.4	188.5	195.1
小型いか釣り									
するめいか20入り		7.7	3.0	0.6	0.8	0.2		12.4	2.0
するめいか25入り		25.4	13.5	10.5	6.1	0.4		56.0	19.7
するめいか30入り		14.9	8.4	17.2	8.8	0.6		50.0	136.7
するめいか40入り以上		1.9	1.5	3.9	2.4	1.2		10.8	85.1
合計		49.9	26.4	32.3	18.1	2.4		129.1	243.5
総計	78.4	209.8	435.7	472.4	388.1	374.7	396.5	2355.7	3166.8

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

電子標識(アーカイバルタグ)を付けたブリを多数放流しました!

■ 石川県水産総合センターでは、ブリの回遊生態を明らかにするため、日本海区水産研究所、関係県水産研究機関、石川県定置漁業協会と連携・協力し、5月下旬に曾々木沖で電子標識を付けたブリ(ガンドとフクラギを含む)を147尾放流しました。

■ この標識には、深度・水温・照度センサーが組み込まれており、それらのデータが本体に長期間記録されます。放流後、漁獲されたブリから標識を取り出し、内部データを解析することで、そのブリの回遊経路、遊泳深度、経験水温を知ることができます。今回の放流は電子標識を用いた放流としては、過去最多尾数の取組みであり、ブリの回遊生態が一層明らかになり、近年の北海道での豊漁や北陸での漁獲量減少の要因が解明できるものと期待されます。

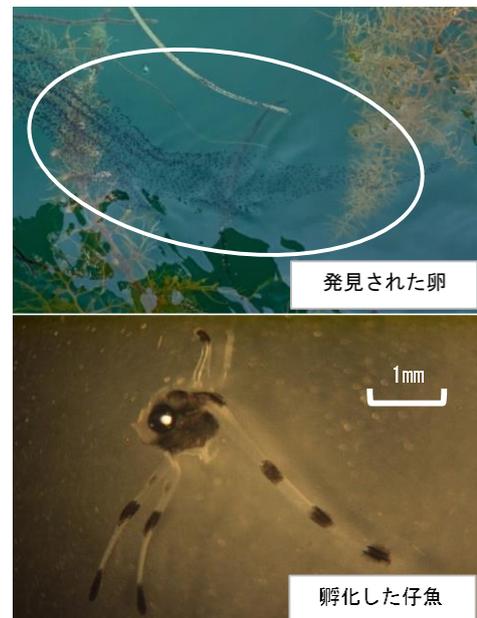
■ 標識の付いたブリを漁獲・水揚げした場合には、漁獲した日付と位置、魚体の大きさ、魚体の有無を石川県水産総合センター海洋資源部(0768-62-1324)までご連絡下さい。科学的に重要なデータを持つ標識魚なので、可能な限り魚体ごと回収させていただきたいと考えています。(四方崇文)



謎の卵!?

■ 5月17日に能登島向田町の方から「向田漁港に謎の卵が浮いている」との情報があり、卵の写真とその一部をいただきました。卵は透明なゼラチン質で覆われており、一見するとカエルの卵のようでした。発見者によると、卵は帯状になって数メートルにわたり海面に浮いていたとのことでした。この状態では何の卵かわからないので、センターでふ化させ、産まれた仔魚(ふ化直後の幼魚)を観察してみましたところ、この卵はキアンコウのものであることがわかりました。キアンコウは一般に「アンコウ」として親しまれる魚の標準和名です。本種は4~6月に水深50m以浅で産卵するとされており、その卵は帯状となって海面付近を漂います。おそらく富山湾内で産み出されたものが七尾湾に入り、向田漁港に流れ着いた珍しい事例と思われる。

■ キアンコウは冬の代表的な味覚のひとつです。県内では主に底曳網や定置網、刺網で漁獲されており、年間80トン前後が水揚げされています。特に、能登半島の先端に位置する珠洲市では冬にあんこう祭りが開催されており、地域にとって大変重要な魚種となっています。今年の冬は是非ともキアンコウを味わってみてください。(内藤隆介)



石川県漁海況情報

429号
2019年6月28日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

小型いか釣りの水揚量（期間:5月1日～6月18日）

- 水揚量は前年を上回り、過去5年平均並みとなっています。
- 水揚げの主体は30尾入りと40尾以上入りであり、魚体は小さめです。

水産総合センター・トピックス

- 「アユの種苗生産」「七尾湾貝桁網操業が終了しました。」

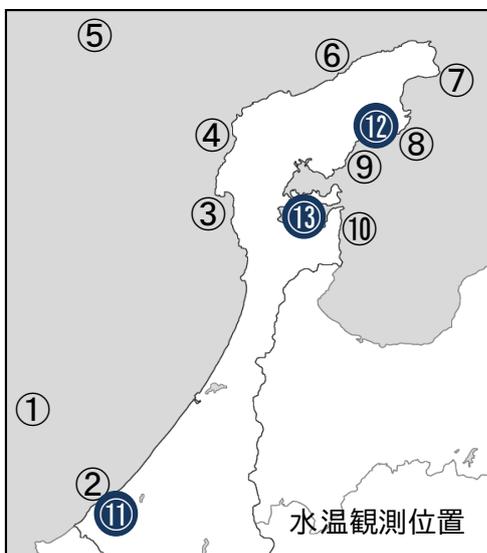
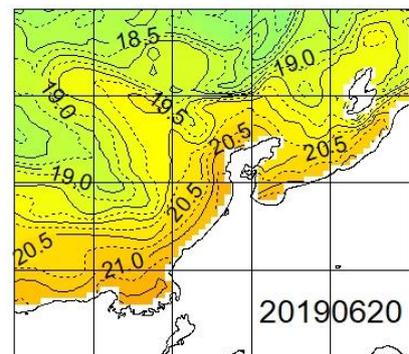
石川県周辺海域の海面水温（期間:6月16日～20日）

■ 沿岸の海面水温 6月20日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は20～21℃台で、過去5年平均との差は-0.5～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は19.2～20.4℃で、6月上旬から約0.4℃上昇しました。過去3年平均との差は-0.4～+0.8℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は19.7～22.9℃で、前年同時期の差は+0.1～+2.0℃、過去3年平均との差は-0.2～+0.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 6/16～6/20	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	20.2	+2.2	+0.3
③ 富来沿岸	20.4	+3.2	+0.8
④ 門前沿岸	20.1	+3.4	+0.7
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	20.0	+3.4	+0.8
⑦ 小泊沿岸	20.0	+1.7	+0.6
⑧ 小浦沿岸	19.4	+0.3	-0.2
⑨ 鶴川沿岸	19.2	-0.4	-0.4
⑩ 岸端沿岸	19.2	-0.4	-0.4

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

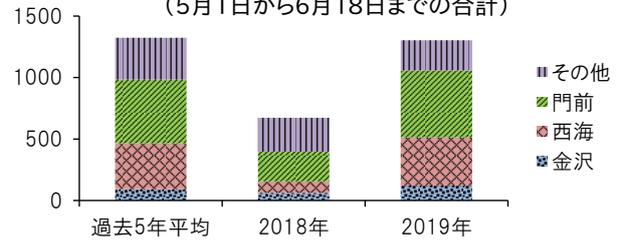
観測位置	5日間平均 6/16～6/20	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	21.1	+2.0	+0.0
⑫ 宇出津港	19.7	+0.1	-0.2
⑬ 石崎港	22.9	+1.5	+0.7

小型いか釣りのスルメイカ水揚状況（期間:5月1日～6月18日）

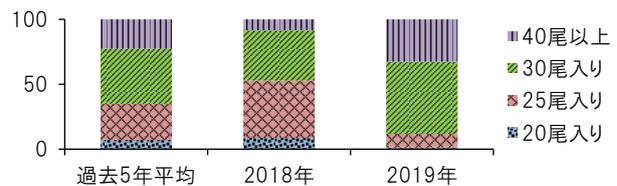
■ **小型いか釣り漁船によるスルメイカの水揚げ**は後半に入りました。5月1日から6月18日の県内水揚げ量は1,304トンであり、前年同時期(674トン)を上回り、過去5年平均(1,324トン)並みとなっています。6月16日の低気圧通過にともなう時化や満月の影響で水揚げが落ち込みました。6月19日現在、主な漁場は金沢・西海・門前・珠洲沖にあります。

■ **銘柄(1箱当たりの入り尾数)別箱数割合**をみると、30尾入りと40尾以上入りが全体の88%を占めており、前年および過去5年平均に比べて魚体は小さめです。

単位(トン) 小型いか釣りのスルメイカ水揚量
(5月1日から6月18日までの合計)



単位(%) スルメイカ銘柄割合



石川県主要港の水揚状況（期間:6月1日～15日）

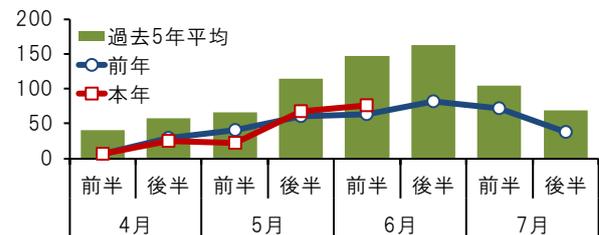
■ **定置網** ブリ・スルメイカ・サワラ・サゴシは前年を上回り、マイワシ・フクラギ・トビウオ・ガンドは前年を下回りました。マアジは宇出津・七尾地区を中心に80トン水揚げされました。4月前半から6月前半の累計は197トンで、前年(200トン)並みで過去5年平均(426トン)を下回りました。

■ **まき網** ウルメイワシ・マアジが前年を上回り、マイワシ・サバ・マダイが前年を下回りました。

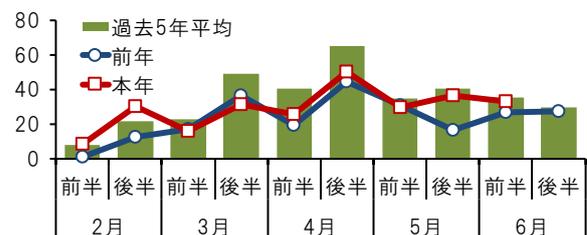
■ **底びき網・ごち網** スルメイカは前年を上回り、アマエビ・ニギス・マダラは前年並みでした。ハタハタは珠洲地区を中心に33トン水揚げされました。2月前半から6月前半の累計は261トンで、前年(206トン)を上回り、過去5年平均(318トン)を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** カワハギは前年を上回り、サザエ・マダコは前年並み、ベニズワイガニ・イワガキは前年を下回りました。ヤナギバチメは輪島を中心に13トン水揚げされました。3月前半から6月後半までの累計は90トンで、前年(124トン)および過去5年平均(118トン)を下回りました。

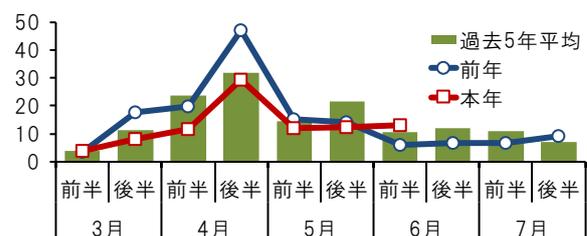
単位(トン) 定置網のマアジ水揚量



単位(トン) 底びき網のハタハタ水揚量



単位(トン) 刺網・釣りのヤナギバチメ水揚量



集計期間 6月1日～6月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
ぶり	1.4	0.2	154.5	7.0	1.2	14.4	10.3	189.0	134.7
するめいか	0.0		0.0	0.0	1.9	20.6	60.0	82.5	7.9
まあじ	1.7	0.3	1.9	8.0	6.3	16.9	44.8	79.9	63.7
まいわし				0.0	0.2	17.2	58.2	75.6	182.3
さわら・さごし	1.7	0.2	17.7	0.0	0.1	4.7	11.2	35.6	11.7
ふくらぎ・こそくら	3.4		7.6	10.4	2.5	1.6	6.0	31.3	66.6
とびうお	1.7	0.0	4.5	8.1	2.7	1.9	7.4	26.4	46.2
がんど			12.5	0.2	2.3	1.0	6.0	22.1	31.1
かたくちいわし						1.5	19.2	20.7	0.1
まだい	0.2		1.5	3.5	1.0	4.0	3.1	13.3	10.0
その他	3.5	0.6	11.3	6.3	4.9	17.3	25.3	69.2	87.8
合計	13.5	1.3	211.5	43.6	23.1	101.1	251.5	645.6	642.2
まき網									
まいわし	—		773.0	0.0		—		773.0	1097.7
うるめいわし	—		342.5	0.9		—		343.3	52.9
さば	—		172.8	7.3		—		180.1	251.8
まあじ	—			46.2		—		46.2	3.6
まだい	—			4.8		—		4.8	15.6
その他	—		2.0	3.9		—		5.9	36.9
合計	—		1290.3	63.1		—		1353.4	1458.5
底びき網・ごち網									
あまえび	15.3	41.6		4.8	3.8		—	65.4	72.2
にぎす	0.2	27.4	8.1	11.8	0.5	0.3	—	48.3	41.7
するめいか	0.5	0.3	0.1	39.0	0.2		—	40.1	1.9
はたはた	2.9	1.4	0.1	6.1	16.0	6.6	—	33.1	27.0
まだら	1.1	1.6	0.7	24.4	0.9		—	28.6	32.5
その他	19.2	15.8	9.9	47.5	3.9	0.8	—	97.1	95.4
合計	39.2	88.0	19.0	133.5	25.4	7.6	—	312.6	270.7
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		26.3	18.0	1.2				45.5	64.4
やなぎばちめ(ウスマル)		0.1	0.1	12.1	0.1	0.0	0.7	13.0	5.9
いわがき				9.8			0.1	9.9	13.9
さざえ			1.3	0.1	0.8	4.4	2.8	9.4	10.9
かわはぎ(ウマヅラ)	0.3	0.5	0.0	4.9	0.3	2.3	0.1	8.4	6.5
まだこ	0.0	0.0		0.7	0.7	2.6	3.6	7.6	7.2
まだい	0.1	0.0	0.3	5.2	0.1	0.3	0.1	6.2	10.0
ふぐ類	0.0	0.0	4.2	1.5	0.0	0.0	0.0	5.7	4.5
その他	2.2	3.5	2.2	18.9	3.2	3.5	4.3	37.8	45.2
合計	2.6	30.4	26.1	54.4	5.3	13.1	11.6	143.5	168.6
小型いか釣り									
するめいか20入り		1.8	2.9	6.8	5.2	0.0		16.7	3.5
するめいか25入り		2.8	10.7	42.9	23.2	0.1		79.6	33.2
するめいか30入り		0.4	5.9	33.8	25.8	0.1		66.1	143.8
するめいか40入り以上		0.1	1.1	6.3	7.1	0.2		14.7	102.5
合計		5.0	20.5	89.8	61.3	0.4		177.1	283.1
総計	55.4	124.7	1567.3	384.3	115.1	122.3	263.1	2632.1	2823.0

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

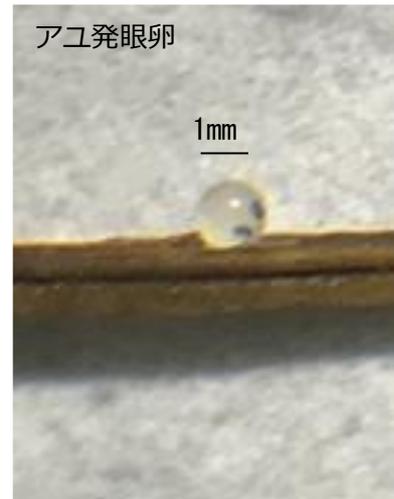
アユの種苗生産

■ アユは、全国各地に分布する1年魚で、川でふ化した後に海へ下って仔稚魚期を海で過ごし、再び川を遡っていくという生活史を送ります。本県におけるアユの産卵期は10月上旬～11月上旬で、下流域の河底が小砂利などの場所で、主に1～2cmの石に直径1mmほどの卵を産み付けます。産卵の約2週間後に全長6mm前後でふ化したアユはそのまま海（河口付近のごく沿岸域）へと下り、冬の間に主に動物プランクトンを食べて成長します。

■ アユの遡上量は様々な要因によって大きく変動します。特に、稚魚期における海洋環境や外敵の量が大きく影響すると考えられています。これらは人の力で制御することが困難であることから、人工飼育の稚アユを放流（種苗放流）することで、アユの遡上量を補う取り組みを行っています。

■ ふ化した稚アユは冬の間は海水で、春には淡水で体長70mm以上になるまでに飼育します。4～6月に県内の内水面漁業協同組合に配布し、各河川に放流されます。このように、アユの飼育環境は、海水から淡水へと大きく変わるため、生産コストが高いことに加えて飼育が難しい種苗ですが、志賀事業所と美川事業所が連携を組むことにより、安定した種苗生産を確立しています。また、内水面水産センターでは手取川におけるアユ遡上状況、産卵状況などを調査し、種苗生産と併せてアユ資源の持続的な利用に繋がるよう日々努力しています。

■ 今年も、水産総合センターが生産した約36万尾の稚アユが、県内の9河川で放流され、アユ漁解禁とともに太公望を楽しませています。（増田泰隆）



七尾湾貝桁網操業が終了しました。

■ 2019年の七尾湾貝桁網操業が終了しました。今年度の操業期間は2019年4月17日～5月31日で、操業船10隻によりトリガイ1,621kg、アカガイ2,243kgが水揚げされました。

■ 今年度のトリガイ漁獲量は昨年(6,981kg)の約1/4となり、過去10年平均(5,440kg)と比較しても低調な水揚げとなりました。漁獲されたトリガイは大銘柄が中心で、日によっては1キロあたり8,000円を超える高値で取引されました。一方、南湾を中心にアカガイが多く漁獲され、7年ぶりに2トンを超える水揚げとなりました。



石川県漁海況情報



430号
2019年7月12日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間：6月20日～27日）

- 日本海中央部のスルメイカの分布量は前年および過去5年平均を大きく下回りました。
- 魚体は前年および過去5年平均より小さく、大型個体はほとんど分布していませんでした。

大型クラゲ情報（期間：6月11日～7月5日）

- 東シナ海、黄海および対馬海峡における大型クラゲの分布水準は前年同時期を上回っています。
- 長崎県五島・対馬・山口県の定置網で大型クラゲの入網がありました。
- 7月4・5日に加賀市の定置網で大型クラゲの入網がありました。

水産総合センター・トピックス

- 「クロマグロ仔稚魚調査結果」

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間：6月20日～27日）

■ 調査船白山丸は6月20日から27日に能登半島沖～大和堆周辺海域（日本海中央部）の定点でイカ釣り調査を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は0.0～6.1尾でした。全調査点の平均CPUEは1.9尾と極めて低く、前年（12.8尾）および過去5年平均（23.6尾）を下回りました。従って、今年6月の日本海中央部におけるスルメイカの分布量は前年および過去5年平均を大幅に下回っていたと判断できます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長（魚体サイズの指標）の平均値は13.2cmであり、前年（19.5cm）および過去5年平均（20.4cm）に比べて魚体が小さく、例年、比較的多く漁獲される外套長20cm前後の個体はほとんど分布していませんでした。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

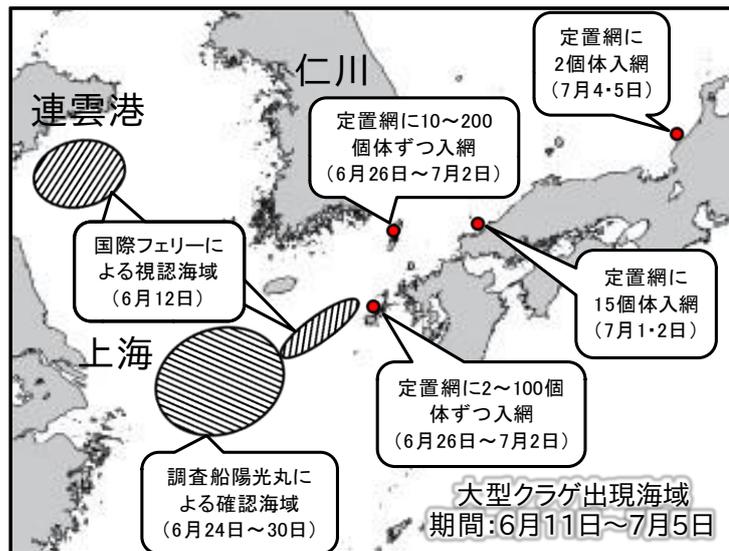
操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲（主な魚体）	表面水温	50m水温
6月20日	38-00.2N, 136-20.3E	109	0.9	9～18cm(11cm)	20.9℃	15.05℃
6月21日	38-42.8N, 134-58.8E	566	4.5	9～14cm(13cm)	20.8℃	13.27℃
6月22日	39-00.0N, 133-41.8E	2	0.0	11～15cm	19.5℃	15.50℃
6月23日	39-40.1N, 134-23.6E	206	1.6	8～19cm(11cm)	19.0℃	12.26℃
6月24日	39-39.2N, 135-07.6E	3	0.0	10～14cm	18.9℃	14.33℃
6月25日	40-00.2N, 135-39.6E	6	0.0	7～11cm	18.8℃	7.14℃
6月26日	38-59.3N, 135-42.0E	645	6.1	10～22cm(12cm)	20.2℃	12.88℃

CPUE: 釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体: 漁獲尾数の多かったイカの外套長

大型クラゲ情報（期間:6月11日～7月5日）

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構が7月3日に、一般社団法人漁業情報サービスセンターが7月2・3日に発表した大型クラゲに関する情報および県内報告は次のとおりです。

日本海 6月26日～7月2日に対馬の定置網で10～200個体(傘径40～100cm)、五島の定置網で2～100個体(傘径50～100cm)の入網がありました。山口県の定置網で7月1・2日に15個体(傘径50cm)、石川県でも7月4・5日に加賀市の定置網で2個体(傘径50～60cm)入網しました。



東シナ海・黄海 6月24～30日に水産研究・教育機構の調査船陽光丸で行われた大型クラゲの目視調査では、東シナ海西部で傘径15～70cmの個体の分布が目撃されました。なお、曳網調査では計14個体が入網しました(前年度は入網なし)。6月11～14日に仁川(韓国)・連雲港(中国)間の国際フェリーで行われた目視調査では、青島南沖で傘径10～40cmの小規模な集団(最大密度は0.19個体/100m²)が目撃されました。仁川・連雲港間の前年度同期の最大密度は0個体/100m²で、今年度は前年度を上回りました。上海・大阪間の国際フェリーによる目視調査でも済州島南沖で傘径20～50cmの大規模な集団(最大密度1.89個体/100m²)が目撃されました。

対馬海峡 6月25日に国際フェリーで行われた目視調査では、東水道で52個体、西水道で19個体(傘径25～80cm)が確認されました(前年度同時期は東水道で1個体のみ確認)。

■ 東シナ海、黄海および対馬海峡の分布状況から、大型クラゲの分布水準は前年同時期を上回っていると判断されます。長崎県では広範囲で出現し、石川県でも入網があったことから、今後、注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

石川県周辺海域の水温（期間:6月30日～7月4日）

■ 沿岸観測ブイの今期の水温(深度10m)は21.3～22.2℃で、前年同時期との差は-0.8～+0.5℃、過去3年平均との差は-0.7～+0.2℃でした。本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は21～22℃台であり、過去5年平均との差は-1.0～±0.0℃程度でした。

石川県主要港の水揚げ状況（期間:6月16日～30日）

■ 定置網ではサワラ・サゴシは前年を上回り、トビウオは前年を下回りました。まき網では全体で前年を下回りました。底びき網・ごち網ではスルメイカ・ハタハタは前年を上回り、アマエビは前年並みでした。

集計期間 6月16日～6月30日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
まあじ	2.4	0.7	3.8	8.3	12.3	38.1	28.7	94.4	81.5
さわら・さごし	1.0	0.2	49.5	19.8	0.4	6.6	8.1	85.5	23.3
とびうお	1.5	0.0	7.7	12.3	4.3	3.9	10.5	40.3	59.7
するめいか	0.0		0.2	0.1	7.0	21.1	6.3	34.8	13.5
ぶり	0.6		20.2	10.0	0.2	2.2	0.2	33.5	42.1
ふくらぎ・こそくら	1.1		7.7	8.1	0.7	1.8	5.7	25.0	48.1
うるめいわし					18.0	0.2	0.0	18.3	0.0
がんど			4.3	1.1	5.5	1.3	0.8	13.0	31.3
まだい	0.1		0.7	0.9	1.0	6.8	2.6	12.1	8.4
ふぐ類	0.2		0.8	4.9	1.4	1.9	1.4	10.6	16.8
その他	3.7	0.1	10.4	7.8	5.3	15.5	31.0	73.9	97.8
合計	10.7	1.0	105.2	73.4	56.1	99.7	95.3	441.4	422.5
まき網									
まいわし	—		118.8	0.2		—		118.9	1133.8
さば	—		52.2	18.5		—		70.7	437.4
まあじ	—		8.0	50.3		—		58.4	33.3
うるめいわし	—		18.2	2.7		—		20.9	82.3
するめいか	—		0.3	1.8		—		2.1	1.6
その他	—		0.1	0.6		—		0.7	18.5
合計	—		197.6	74.0		—		271.6	1706.9
底びき網・ごち網									
するめいか	0.1	0.1	0.0	81.8	0.6		—	82.6	1.1
あまえび	11.9	37.1		2.7	7.3		—	59.0	72.0
はたはた	1.4	1.5	0.2	1.2	24.5	7.1	—	35.8	27.6
にぎす		18.1	3.6	8.8	2.3		—	32.7	58.5
あかがれい	3.5	1.7	2.0	2.0	0.7		—	9.9	32.0
その他	9.8	7.9	2.3	20.7	4.7	0.6	—	46.0	96.1
合計	26.7	66.5	8.1	117.0	40.0	7.7	—	266.0	287.4
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		32.8	15.2	0.5				48.6	48.7
いわがき	0.2			17.8			0.1	18.0	22.0
さざえ			1.0	4.1	0.9	3.8	3.1	12.9	13.4
やなぎばちめ(ウスマル)		0.1	0.2	10.1	0.0	0.1	0.7	11.2	6.6
まだこ	0.0	0.0		1.4	0.6	2.9	3.9	8.8	8.8
ふぐ類	0.0	0.0	4.5	2.5	0.0	0.0	0.0	7.0	5.0
かわはぎ(ウマツラ)	0.2	0.0	0.0	3.6	0.3	2.3	0.0	6.5	1.8
あからばちめ(ハツメ)				5.5				5.5	3.0
その他	2.5	4.3	2.4	19.0	1.6	3.1	3.6	36.4	62.1
合計	2.9	37.2	23.4	64.5	3.4	12.1	11.4	154.9	171.4
小型いか釣り									
するめいか20入り	0.0	0.5	5.5	10.5	11.2	0.0	0.0	27.7	14.9
するめいか25入り	0.0	0.6	8.7	30.8	49.6	0.1	0.0	89.8	75.4
するめいか30入り	0.0	0.1	5.5	29.5	55.9	0.2	0.0	91.4	98.2
するめいか40入り以上	0.0	0.1	1.7	9.3	15.1	0.5	0.0	26.7	61.1
合計		1.3	21.4	80.1	131.9	0.9		235.6	249.6
総計	40.3	106.0	355.7	409.0	231.4	120.4	106.6	1369.5	2837.7

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

クロマグロ仔稚魚調査結果

■ 太平洋クロマグロの親魚資源量は歴史的最低水準となっており、早急な資源回復が求められています。そこで日本では小型魚の漁獲量を基準年(2002~2004年)の半分以上、大型魚の漁獲量を基準年より増やさないことを国際的に約束し、現在は海洋生物資源の保存及び管理に関する法律(TAC法)に基づいた厳格な漁獲量の管理がされています。

■ 多くの魚類では卵から仔稚魚の間に大部分の個体はほかの魚に食べられることなどにより死んでしまいますが、大きくなるにつれて死亡する割合は減っていきます。そのため、適切な資源管理のためには、多くの個体が死んでしまう卵から仔稚魚の間はどこに分布し、どうやって成長して、何が原因で死んでしまうのかなどをより詳しく知ることが重要となります。

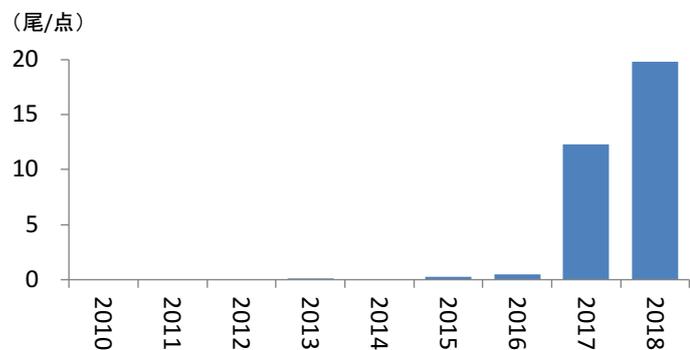
■ そこで石川県水産総合センターでは2010年から国際水産資源研究所や各関係県と共同でクロマグロ仔稚魚の採集調査をしています。当センターは7月下旬から8月上旬にかけて漁業調査指導船白山丸を用いた、能登半島北西海域での調査を担当しています。

■ 2010~2016年には、能登半島北西海域で、クロマグロ仔稚魚はほとんど採集されませんでした。2017年の調査では合計294尾、2018年の調査では合計475尾のクロマグロ仔稚魚が採集されました。2年続けて仔魚が多く採集されたことから、近年太平洋クロマグロの産卵量が多くなった可能性が考えられます。また、多くの仔魚が採集されたということは、能登半島北西海域が本種の仔魚期の生活史において重要な海域になっていると考えられます。

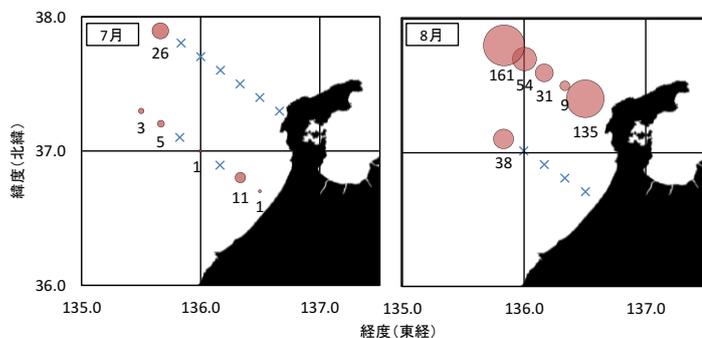
■ 当センターでは今後も引き続き国際水産資源研究所や関係各県と連携してクロマグロの資源生態調査、研究を実施する予定です。なお、本調査は水産庁委託事業「国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業」によって行なわれました。(川畑 達)



仔稚魚調査の様子



クロマグロ仔魚の年別平均採集尾数(1調査点あたり)



※グラフ内の数字は各調査点での採集尾数を表す。

2018年度クロマグロ仔稚魚採集調査海域

石川県漁海況情報

431号
2019年7月26日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

日本海スルメイカ長期予報（予報期間:8月～12月）

- 日本海全体の来遊量は前年および過去5年平均を下回る見込みです。
- 本県沿岸では漁場は形成されにくく、沖合の来遊量は前年および過去5年平均を下回る見込みです。

大型クラゲ情報（期間:7月5日～17日）

- 山口県の定置網で1,000個体を超える大型クラゲの入網がありました。
- 九州沿岸から本州沿岸を北上する経路をとると予想されることから、注意が必要です。

水産総合センター・トピックス

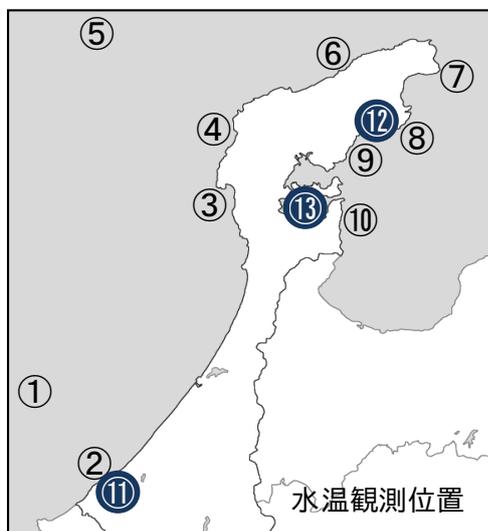
- 「トラフグの放流」

その他

- 小型いか釣り水揚量の集計値の訂正について

石川県周辺海域の水温（期間:7月14日～18日）

- 沿岸の海面水溫 7月18日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水溫は24～26℃台で、過去5年平均との差は-0.5～+0.5℃程度でした。
- 沿岸観測ブイの水溫 今期の水溫は22.1～23.2℃で、7月中旬から約1.0℃上昇しました。過去3年平均との差は-2.9～-1.2℃でした。
- 港内の水溫 今期の水溫は23.4～25.4℃で、過去3年平均との差は-2.7～-0.5℃でした。



沿岸観測ブイの水溫（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 7/14～7/18	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沖	休止中	データなし	データなし
② 橋立沿岸	23.2	+0.2	-1.5
③ 富来沿岸	22.9	-0.7	-1.9
④ 門前沿岸	22.1	-2.3	-2.9
⑤ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑥ 曾々木沿岸	22.4	-2.9	-2.9
⑦ 小泊沿岸	22.9	データなし	-1.9
⑧ 小浦沿岸	23.1	-0.8	-1.4
⑨ 鶴川沿岸	23.1	-0.6	-1.2
⑩ 岸端沿岸	23.0	-0.6	-1.2

港内の水溫（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 7/14～7/18	前年差	過去3年 平均差
⑪ 橋立港	24.3	-3.4	-2.7
⑫ 宇出津港	23.4	-0.6	-1.1
⑬ 石崎港	25.4	-1.2	-0.5

日本海スルメイカ長期予報（予報期間:8月～12月）

■ 来遊状況 スルメイカ漁場一斉調査が6月中旬から7月上旬に行われました。石川県の調査船白山丸の他、北海道から鳥取県の7道県と日本海区水産研究所の調査船が合計65定点でイカ釣り操業を行い、スルメイカの分布や魚体サイズ(外套長)を調べました。全調査点の釣機1台1時間当たりの釣獲尾数(CPUE)の平均値が来遊量の指標になります。今年平均CPUEは7.40尾であり、前年(10.16尾)および過去5年平均(15.31尾)を下回りました。従って、今年の来遊量は前年および過去5年平均を下回っていると判断されます。

■ 分布状況と魚体サイズ 隠岐諸島から能登半島までの沿岸、並びに北海道沿岸ではCPUEは比較的高かったものの沖合域や本州北部沿岸ではCPUEは極めて低く、スルメイカが漁獲されない定点もありました。今年は前年および過去5年平均に比べて、外套長17cm以上の個体の分布量が少なく、例年ほとんど漁獲されない16cm未満の個体の分布量は多く、全体として魚体が小さいことが分かりました。

■ 太平洋側の分布状況 太平洋側に分布するスルメイカは10月以降、宗谷海峡および津軽海峡を經由して日本海に来遊するため、太平洋側の分布状況は10月以降の日本海の漁況に影響します。太平洋スルメイカ長期漁況予報によると、8～9月の来遊量は常磐～三陸海域と津軽海峡～道東海域で前年を下回ると予想されています。

■ 漁況の見込み 以上より、日本海全体では今期の来遊量(漁獲量)は前年および過去5年平均を下回ると予想されます。海域別の来遊量の予想は以下のとおりです。

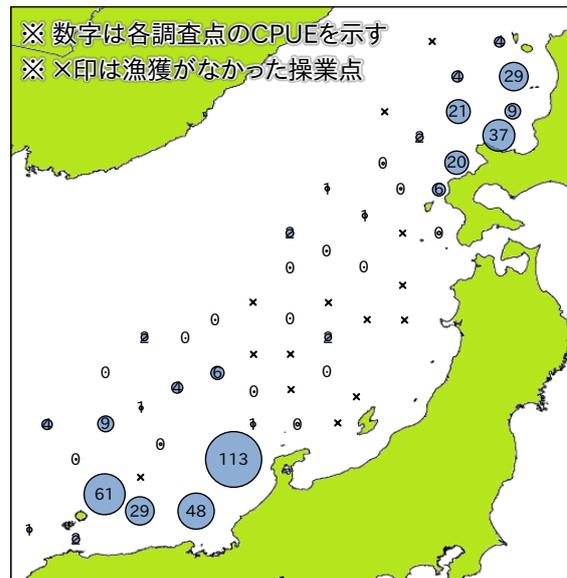
道北・道央:前年および過去5年平均を下回る。

道南・津軽:前年並みで、過去5年平均を下回る。

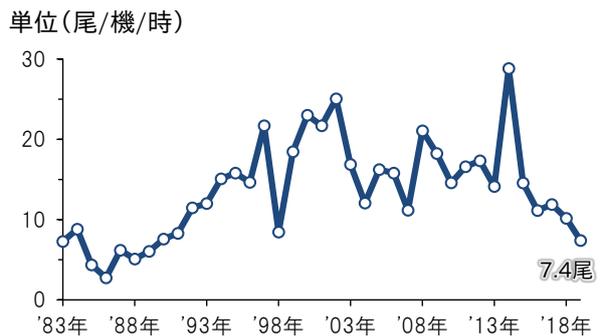
本州北部日本海および西部日本海:近年同様、漁場は形成されにくい。

沖合域:前年および過去5年平均を下回る。11月まで道西沖、11月以降は大和堆付近が漁場となる。

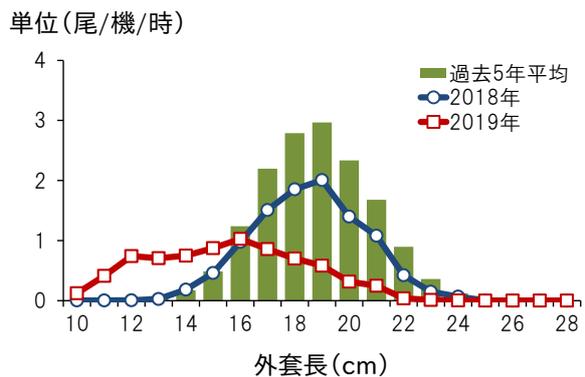
今年の漁場一斉調査時のCPUE分布



平均CPUEの経年変化



外套長別の平均CPUE



本予報の詳細については下記URLの資料をご覧ください。

日本海スルメイカ長期漁況予報 : http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2019/20190725_n/

太平洋スルメイカ長期漁況予報 : http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2019/20190725_t/

大型クラゲ情報（期間:7月5日～17日）

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構が7月9・10日に、一般社団法人漁業情報サービスセンターが7月8～18日に発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

日本海 7月16・17日に山口県の定置網で1,000個体(傘径50cm)を超える入網がありました。また、7月13・16日に島根県の定置網で200～400個体(傘径50～60cm)の入網がありました。なお、長崎県の定置網では日間差・地域差の大きいものの、入網(1～500個体/日)が続いています。

東シナ海 7月2・3日に上海・大阪間の国際フェリーによる目視調査では、上海沖と済州島南沖から壱岐南沖全域で集群が目撃されました。上海沖では傘径は20～50cm、最大密度は1.42個体/100m²でした。済州島南沖から壱岐南沖全域では傘径は20～80cm、最大密度は2.33個体/100m²でした。

黄海 7月6～8日にピョンテク(韓国)・連雲間(中国)の国際フェリーで行われた目視調査では、黄海中央部で小規模な群が目撃されました。傘径は20～50cm、最大密度は0.012～0.015個体/100m²でした。

対馬海峡 7月7日に国際フェリーで行われた目視調査では、対馬海峡東水道で303個体、西水道で31個体目撃され、傘径は30～80cmでした。

■ 山口県の定置網では1,000個体を超える大型クラゲの入網となっています。今年は九州沿岸から本州沿岸を北上する経路をとると予想されることから、石川県でも注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

石川県主要港の水揚げ状況（期間:7月1日～15日）

■ 定置網 ガンド・カタクチイワシ・マイワシ・アカイカは前年を上回り、サワラ・サゴシ・マアジ・フクラギ・コゾクラは前年を下回りました。トビウオは27トン水揚げされました。5月前半から7月前半までの累計は101トンで、前年(188トン)および過去5年平均(216トン)を下回りました。

■ まき網 ウルメイワシ・マアジは前年を上回り、サバ・マイワシ・ブリは前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 沖合底びき網のアマエビは前年並みでした。

■ 刺し網・釣り・その他 フグ類は前年並み、ベニズワイガニ・サザエ・マダコ・アマダイは前年を下回りました。



集計期間 7月1日～7月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
がんど		0.1	0.0	0.0	51.3	47.8	0.7	99.8	13.5
さわら・さごし	3.6	1.0	43.6	0.2	0.3	1.3	7.3	57.1	80.5
まあじ	2.6	1.0	2.6	1.8	6.1	11.4	11.3	36.9	71.2
かたくちいわし						0.7	31.8	32.5	8.9
とびうお	0.9	0.0	4.1	3.8	1.7	5.5	10.9	26.8	64.3
ふくらぎ・こぞくら	0.9		3.8	1.1	1.1	1.7	7.5	16.3	20.4
しいら	1.3		12.6	0.7	0.3	0.3	0.2	15.5	15.6
まいわし					0.0	7.4	6.6	14.0	8.1
するめいか	0.0		0.1	0.1	1.2	7.3	3.8	12.5	3.1
あかいか(ケンサキカ)	2.7	0.0	2.8	0.5	0.4	1.4	0.6	8.5	2.2
その他	2.4	0.7	4.7	2.2	5.2	8.9	17.7	41.9	82.5
合計	14.3	2.8	74.4	10.4	67.7	93.8	98.4	361.8	370.3
まき網									
さば	—	0.0	261.3	34.2		—	0.0	295.5	594.4
うるめいわし	—		163.8	0.6		—		164.4	51.6
まいわし	—		149.0	0.2		—		149.2	1158.9
まあじ	—	0.0	113.5	23.7		—	0.0	137.2	51.5
ぶり	—	41.2				—	2.1	43.3	101.7
その他	—	28.0	0.3	1.8		—	6.1	36.2	21.8
合計	—	69.3	687.9	60.5		—	8.2	825.9	1979.8
底びき網・ごち網									
あまえび		12.3			0.9		—	13.2	14.1
はたはた		0.7			6.9		—	7.6	1.5
まだい	0.9		0.4				—	1.3	1.7
さこだい(サダイ)	0.7		0.1				—	0.7	0.9
にぎす					0.5		—	0.5	0.0
その他	0.1	0.5	0.1		1.1		—	1.8	2.9
合計	1.7	13.5	0.5		9.5		—	25.2	21.1
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに			24.9	1.1				26.0	35.0
さざえ	1.5		1.6	0.0	1.0	3.5	3.0	10.7	20.9
まだこ	0.0	0.0		1.7	0.7	3.0	3.8	9.2	13.1
ふぐ類	0.0	0.0	4.0	1.0		0.0	0.0	5.0	4.5
あまだい	0.9	0.1	0.1	2.3	0.3	0.0	0.1	3.8	7.2
あかがれい						2.7		2.7	14.9
かわはぎ(カマヅラ)	0.1		0.0	1.3	0.2	1.0	0.0	2.6	1.9
あからばちめ(ハツメ)				2.5				2.5	3.3
その他	4.2	3.5	3.5	8.7	1.7	4.7	4.7	31.0	159.5
合計	6.7	3.6	34.0	18.6	3.9	15.0	11.6	93.4	260.3
小型いか釣り									
するめいか20入り		15.7	12.4	1.5	0.1	0.0		29.7	16.0
するめいか25入り		45.8	31.2	3.9	2.8	0.7		84.4	55.9
するめいか30入り		23.1	18.8	5.9	4.5	2.6		54.8	39.1
するめいか40入り以上		5.9	10.3	9.9	2.6	3.6		32.2	9.0
合計		90.4	72.7	21.2	10.0	6.9		201.2	120.0
総計	22.8	179.6	869.5	110.8	91.1	115.6	118.2	1507.5	2751.5

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

トラフグの放流

■ 日本海におけるトラフグの産卵場は若狭湾や八郎潟周辺などいくつか知られており、七尾湾もその一つで稚魚の育成場ともなっています。

■ 石川県沿岸ではトラフグの資源を増やすため漁業者による種苗放流が続けられており、今年も7月2日に志賀町赤崎漁港、七尾市能登島通漁港（七尾湾）でトラフグの稚魚約4万尾の放流を行いました。放流したトラフグは体長9cmほどで、能登島通漁港で放流したものについては、県や七尾市の職員、県漁協ななか支所の組合員14人が、追跡調査の目印になるよう2千尾の背びれを1匹ずつハサミで切除して放流しました。

■ トラフグは日本海を広く回遊し、親となって生まれた産卵場に帰ってくるとされており、放流したトラフグも大きく成長し石川県沿岸へ帰ってくることが期待されます。

■ 水産総合センターでは放流魚の移動や回収率を推定するため、七尾魚市場㈱や県漁協能都支所に協力していただき放流魚の水揚げ状況調査を行っています。トラフグの標識方法は県毎に異なっており、本県は背ビレの切除を、他県では胸ビレや尾ビレの切除、タグの装着などを行っています。水揚げされたトラフグにこれらの標識が確認された際には水産総合センターまでご連絡ください。

（内藤隆介）

七尾湾での稚魚放流の様子



放流したトラフグ稚魚



背鰭を切除したトラフグ



■ 漁海況情報427号～430号の小型いか釣り水揚量の集計値に誤りがあったため、下記のとおり訂正します。

(正)

小型いか釣り (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	期間合計	
									本年	前年
5月1日～15日 (漁海況情報427号)										
するめいか20入り			1.9	0.4	0.3	0.0	0.0		2.6	0.8
するめいか25入り			8.3	1.1	0.4	0.0	0.0		9.7	3.5
するめいか30入り			20.5	7.0	0.5	0.1	0.0		28.1	7.1
するめいか40入り以上			5.2	12.9	1.3	0.1	0.1		19.6	2.1
合計			35.8	21.4	2.5	0.1	0.1		60.0	13.5
5月16日～31日 (漁海況情報428号)										
するめいか20入り			1.4	0.5	0.1	0.0	0.0		2.0	12.4
するめいか25入り			8.6	7.4	3.4	0.3	0.0		19.7	56.0
するめいか30入り			27.6	58.7	43.5	6.8	0.0		136.7	50.0
するめいか40入り以上			9.8	31.4	37.7	5.7	0.5		85.1	10.8
合計			47.4	98.0	84.6	12.9	0.5		243.5	129.1
6月1日～15日 (漁海況情報429号)										
するめいか20入り			0.7	2.3	0.5	0.0	0.0		3.5	16.7
するめいか25入り			5.3	18.3	8.2	1.3	0.1		33.2	79.6
するめいか30入り			16.2	66.2	47.1	12.5	1.8		143.8	66.1
するめいか40入り以上			16.6	32.4	32.5	11.9	9.2		102.5	14.7
合計			38.8	119.2	88.3	25.7	11.1		283.1	177.1
6月16日～30日 (漁海況情報430号)										
するめいか20入り			11.7	2.2	0.7	0.4	0.0		14.9	27.7
するめいか25入り			54.7	10.7	3.8	6.0	0.2		75.4	89.8
するめいか30入り			42.4	17.2	14.2	23.5	1.0		98.2	91.4
するめいか40入り以上			22.9	5.5	12.0	17.0	3.7		61.1	26.7
合計			131.7	35.5	30.6	46.9	4.9		249.6	235.6

(誤)

小型いか釣り (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	期間合計	
									本年	前年
5月1日～15日 (漁海況情報427号)										
するめいか20入り			0.4	0.4			0.0		0.8	2.6
するめいか25入り			2.0	1.3	0.0	0.0	0.1		3.5	9.7
するめいか30入り			4.3	2.6	0.1		0.1		7.1	27.9
するめいか40入り以上			0.9	0.9	0.0	0.1	0.2		2.1	19.2
合計			7.6	5.3	0.1	0.1	0.4		13.5	59.4
5月16日～31日 (漁海況情報428号)										
するめいか20入り			7.7	3.0	0.6	0.8	0.2		12.4	2.0
するめいか25入り			25.4	13.5	10.5	6.1	0.4		56.0	19.7
するめいか30入り			14.9	8.4	17.2	8.8	0.6		50.0	136.7
するめいか40入り以上			1.9	1.5	3.9	2.4	1.2		10.8	85.1
合計			49.9	26.4	32.3	18.1	2.4		129.1	243.5
6月1日～15日 (漁海況情報429号)										
するめいか20入り			1.8	2.9	6.8	5.2	0.0		16.7	3.5
するめいか25入り			2.8	10.7	42.9	23.2	0.1		79.6	33.2
するめいか30入り			0.4	5.9	33.8	25.8	0.1		66.1	143.8
するめいか40入り以上			0.1	1.1	6.3	7.1	0.2		14.7	102.5
合計			5.0	20.5	89.8	61.3	0.4		177.1	283.1
6月16日～30日 (漁海況情報430号)										
するめいか20入り			0.5	5.5	10.5	11.2	0.0		27.7	14.9
するめいか25入り			0.6	8.7	30.8	49.6	0.1		89.8	75.4
するめいか30入り			0.1	5.5	29.5	55.9	0.2		91.4	98.2
するめいか40入り以上			0.1	1.7	9.3	15.1	0.5		26.7	61.1
合計			1.3	21.4	80.1	131.9	9.0		235.6	249.6

石川県漁海況情報



432号
2019年8月9日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

小型いか釣りの水揚量（期間：5月1日～7月31日）

- 今年は延べ入港隻数が多く、水揚量は前年および過去5年平均を上回りました。
- 魚体サイズは漁期前半には小さかったものの期間全体では過去5年平均並みになりました。

大型クラゲ情報（期間：7月13日～30日）

- 島根県の定置網で1,000個体を超える大型クラゲの入網がありました。
- 本州沿岸を北上する経路をとる個体に加え、沖合から接岸してくる個体にも注意してください。

石川県主要港の水揚状況（期間：7月16日～31日）

- 定置網ではシイラ・アカイカ、まき網ではマアジが好調でした。

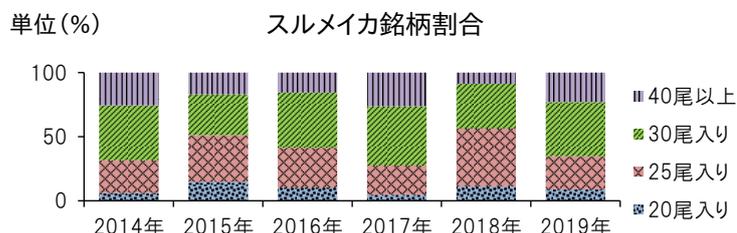
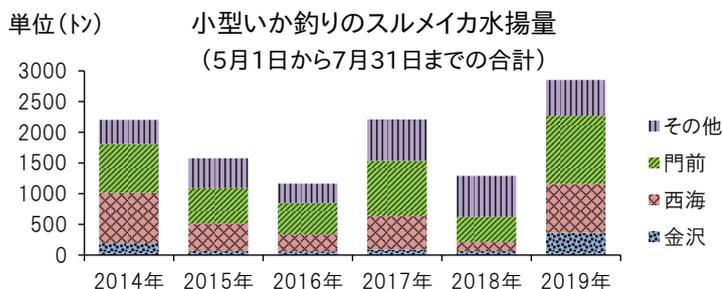
小型いか釣りの水揚量（期間：5月1日～7月31日）

■ 小型いか釣り漁船によるスルメイカの水揚げは終わりをむかえています。5～7月の県内水揚量は2,854トンで、前年(1,290トン)および過去5年平均(1,689トン)を上回りました。漁海況情報425号では、5～7月の水揚量は前年および過去5年平均をやや上回ると予想しており、概ね予想どおりの結果になりました。

■ 銘柄別の箱数をみると、20尾入りと25尾入りの割合は35%で、過去5年平均(39%)と同程度でした。魚体サイズは漁期前半には小さ

かったものの漁期後半の水揚げが多かったこともあり、期間全体では過去5年平均並みになりました。

■ 延べ入港隻数を集計したところ、5～7月の入港隻数は5,935隻であり、前年(3,067隻)および過去5年平均(3,727隻)を上回りました。例年、6月下旬以降、漁場が新潟県以北に移り、本県沿岸で操業する漁船が少なくなりますが、今年は漁場の北上が遅く、7月になっても県沿岸での操業が活発でした。このため、延べ入港隻数が大幅に増え、期間全体の水揚量を押し上げました。



大型クラゲ情報（期間:7月13日～30日）

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構が7月26日に、一般社団法人漁業情報サービスセンターが7月19～31日に発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

日本海 7月14～22日に島根県の定置網で1,000個体(傘径50～80cm)を超える入網がありました。一方、西側の長崎県、山口県等の定置網では100個体を超える入網は少なく、小康状態が続いています。隠岐諸島周辺で操業するまき網では傘径50～80cmの個体の入網が続いています。

東シナ海 7月16・17日に上海・大阪間の国際フェリーによる目視調査では、上海沖、済州島南沖および五島列島北沖で傘径30～80cmの小規模な群が目撃されました。最大密度は上海沖では0.21個体/100m²、済州島南沖および五島列島北沖では0.035個体/100m²でした。東シナ海では大型クラゲの分布量は7月上旬より減少していました。

対馬海峡 7月23日に国際フェリーで行われた目視調査では、対馬海峡東水道で198個体、西水道で514個体が確認され、傘径は30～90cmでした。7月下旬は対馬海峡東水道からの流入量が減少したものの西水道から多く流入しています。

■ 対馬海峡東水道からの流入量が減少したことから、本州沿岸を北上する経路の出現は徐々に収まってくると考えられますが、西水道からの流入量が増大したことより対馬暖流の沖合分枝流によって沖合から日本沿岸に接近してくる可能性があり、石川県でも注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

石川県周辺海域の水温（期間:7月28日～8月1日）

■ 沿岸の海面水温 8月1日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は26～28℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は25.2～26.3℃で、7月中旬から約3.1℃上昇しました。前年同時期との差は-2.9～+3.0℃、過去3年平均との差は-1.7～+1.3℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は25.5～27.8℃で、前年同時期との差は-3.1～-0.2℃、過去3年平均との差は-1.7～-0.1℃でした。

石川県主要港の水揚げ状況（期間:7月16日～31日）

■ 定置網 シイラ・アカイカは前年を上回り、サワラ・サゴシ・マアジ・マダイは前年並み、カタクチイワシ・サバ・フクラギ・コゾクラ・マイワシは前年を下回りました。クロマグロ(メジを含む)は0.6トン水揚げされました。4～7月の累計は7.5トンで、前年(8.1トン)並みであり、過去5年平均(21.4トン)を下回りました。

■ まき網 マアジは前年を上回り、サバ・マイワシ・ウルメイワシ・ガンドは前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 沖合底びき網のアマエビは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 マダコは前年を上回り、サザエは前年並みで、ベニズワイガニ・アカガレイ・アマダイは前年を下回りました。

集計期間 7月16日～7月31日 (漁獲量の単位はトン)

魚種	水揚港								期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年	
定置網										
さわら・さごし	5.6	0.4	48.2	8.6	5.9	0.5	2.3	71.5	73.1	
かたくちいわし							46.6	46.6	60.2	
まあじ	1.1	0.2	4.2	2.7	22.2	4.4	7.0	41.7	38.0	
さば	0.0		3.0	32.5	0.9	0.2	0.7	37.4	64.5	
ふくらぎ・こぞくら	0.8		5.6	5.2	4.0	1.3	11.0	27.8	59.2	
しいら	0.5		16.3	3.5	0.8	0.2	1.6	23.0	10.1	
まだい	0.2	0.0	1.2	0.3	4.2	3.2	4.8	13.9	14.0	
まいわし			0.0			1.0	10.4	11.4	21.1	
あかい(ケツキイ)	1.4	0.0	2.9	1.5	2.6	1.0	1.0	10.3	3.7	
とびうお	0.3		0.3	0.7	2.4	1.8	2.4	7.9	20.4	
すずき	1.2	0.0	2.2	1.2	1.1	0.1	0.1	6.0	2.9	
がんど		0.4	0.0	0.0	4.9	0.1	0.1	5.6	1.5	
かわはぎ(ウマヅラ)	0.2		0.9	0.6	0.9	0.5	0.9	4.1	5.5	
その他	2.3	0.0	4.5	2.4	32.7	6.8	7.6	56.3	31.5	
合計	13.6	1.0	89.4	59.3	82.5	21.2	96.6	363.5	405.7	
まき網										
まあじ	—	23.9	225.9	5.1		—	25.0	279.8	2.0	
さば	—	25.5	215.5	14.1		—	3.1	258.1	352.7	
まいわし	—	0.0	185.7	0.1		—		185.8	1907.1	
うるめいわし	—		20.7	0.2	0.0	—		20.9	95.8	
がんど	—			3.3	0.0	—		3.3	11.9	
その他	—	2.5	0.9	2.2	1.1	—	0.3	6.9	19.7	
合計	—	51.9	648.6	24.9	1.1	—	28.3	754.8	2389.1	
底びき網・ごち網										
あまえび		16.4					—	16.4	26.6	
はたはた		2.6					—	2.6	1.8	
まだい	2.0		0.4				—	2.4	1.9	
さこだい(サダイ)	1.2		0.2				—	1.3	0.9	
あかがれい		0.3					—	0.3	0.2	
その他	0.3	1.3	0.3				—	1.9	1.6	
合計	3.4	20.6	0.8				—	24.9	33.1	
刺網・釣り・その他										
さざえ	1.2		1.7	18.8	1.6	3.6	2.6	29.6	31.5	
べにずわいがに			19.1	1.5				20.6	49.5	
まだこ	0.1	0.0		4.5	1.0	3.6	5.0	14.2	11.6	
あかがれい						9.0		9.0	15.8	
あまだい	1.0	0.2	0.3	5.5	0.4	0.0	0.1	7.5	13.2	
ふぐ類			5.7	1.7	0.0	0.0		7.3	6.0	
やなぎばちめ(ウスマール)		0.0	0.1	6.6	0.0	0.1	0.4	7.2	9.3	
あからばちめ(ハツメ)				7.1				7.1	6.2	
めっきだい(キダイ)	1.5	0.5	0.1	4.8	0.1	0.0		7.0	8.4	
まだい	0.0	0.0	0.1	3.4	0.1	0.5	0.5	4.7	3.6	
すずき	1.1	0.1	0.4	0.2	0.5	1.6	0.1	3.8	3.0	
その他	2.8	3.4	2.4	23.3	1.6	3.6	3.6	40.6	124.2	
合計	7.6	4.3	29.8	77.2	5.4	22.1	12.2	158.6	282.2	
総計	24.6	77.8	768.6	161.3	89.0	43.3	137.1	1301.8	3110.1	

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



433号
2019年8月30日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:8月3日～9日）

- 日本海沖合のスルメイカの分布量は比較的高く、沖合への来遊が増えてきたようです。
- 魚体サイズは前年および過去5年平均より低めでした。

大型クラゲ情報（期間:7月27日～8月22日）

- 東シナ海、対馬海峡からの流入量は減少しましたが、九州から山陰では入網が続いています。
- 石川県、福井県の定置網でも少量の入網があり、引き続き注意してください。

石川県主要港の水揚状況(期間:8月1日～15日)

- まき網ではマアジが好調でした。

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:8月3日～9日）

■ 調査船白山丸は8月3日から9日に隠岐諸島沖から大和堆周辺海域（日本海中央部）でイカ釣り調査を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は2.3～43.6尾、平均CPUEは21.7尾でした。今年5月と6月に東経136度以西の沖合で白山丸が行ったイカ釣り調査では、平均CPUEは5月には3.4尾、6月には2.1尾と極めて低く、沖合ではスルメイカ来遊が少ない状況が続いていました。8月に実施した本調査の平均CPUEは比較的高かったことから、沖合への来遊が増えてきたと考えられます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長（魚体サイズの指標）の平均値は20.0cmであり、前年（20.5cm）および過去5年平均（21.6cm）に比べて魚体は小さめでした。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
8月03日	37-38.8N, 133-06.9E	3,862	29.0	14~25cm (20,21cm)	26.5℃	12.76℃
8月04日	38-37.7N, 133-30.8E	4,312	32.4	10~25cm (21cm)	26.2℃	12.30℃
8月05日	39-26.0N, 134-08.3E	5,496	43.6	13~25cm (16cm)	27.2℃	17.24℃
8月06日	40-03.3N, 135-15.2E	492	3.9	10~27cm (15cm)	27.4℃	10.62℃
8月07日	38-19.5N, 134-13.5E	2,404	19.1	12~24cm (19cm)	26.4℃	17.15℃
8月08日	37-58.8N, 134-50.3E	268	2.3	10~24cm (15cm)	27.0℃	17.26℃

CPUE: 釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体: 漁獲尾数の多かったイカの外套長

大型クラゲ情報（期間:7月27日～8月22日）

■ 国立研究開発法人水産研究・教育機構が8月21日に、一般社団法人漁業情報サービスセンターが8月1～22日に発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

日本海 8月11日に石川県の定置網で4個体(傘径50cm)、8月19日～21日に福井県の定置網で1～3個体(傘径30～60cm)入網がありました。西側の長崎県、山口県、島根県等の定置網では大量出現となっていませんが入網が続いています。また、8月10・11日に大和堆付近で操業する底びき網で、1～5個体(傘径60～100cm)の入網がありました。

東シナ海 7月30～31日に行われた上海・大阪間の国際フェリーによる目視調査では、大型クラゲは目撃されませんでした。

対馬海峡 8月20日に行われた国際フェリーによる目視調査では、対馬海峡東水道で2個体、西水道で4個体(7月23日:それぞれ193個体、514個体)と個体数が減少しました。傘径は30～80cmでした。

■ 東シナ海、対馬海峡からの流入量は減少しましたが、九州から山陰では入網が続いています。また、台風の通過で海況が大きく変わると出現量が増える場合もあるので、石川県でも注意が必要です。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

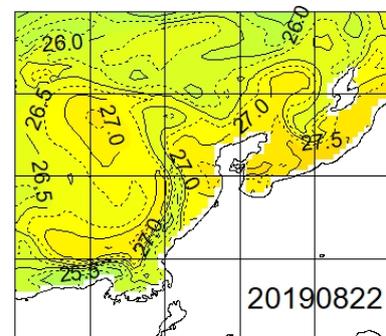
石川県周辺海域の水温（期間:8月18日～22日）

■ 沿岸の海面水温 8月22日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は26～27℃台で、過去5年平均との差は-0.5～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は26.2～27.6℃で、8月上旬から約1.0℃上昇しました。前年同時期との差は-0.3～+3.9℃、過去3年平均との差は-0.8～+1.8℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は27.0～29.8℃で、前年同時期との差は+0.1～+1.8℃、過去3年平均との差は-0.5～+0.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



石川県主要港の水揚げ状況（期間:8月1日～15日）

■ 定置網 カタクチイワシ・サワラ・サゴシ・アカイカは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・マアジは前年並み、マイワシ・シイラは前年を下回りました。

■ まき網 フクラギ・コゾクラ・ブリは前年を上回り、マイワシ・サバは前年を下回りました。マアジは166トン水揚げされました。5月前半～8月前半の累計は796トンで、前年(157トン)および過去5年平均(628トン)を上回りました。

■ 底びき・ごち網 沖合底びきのアマエビは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 スルメイカは前年を上回り、マダコは前年並み、ベニズワイガニ・サザエは前年を下回りました。

集計期間 8月1日～8月15日 (漁獲量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
かたくちいわし							60.3	60.3	15.4
ふくらぎ・こそくら	0.8		9.9	8.0	1.2	1.2	18.8	40.0	46.6
さわら・さごし	4.6	0.3	11.0	9.3	4.0	0.0	5.5	34.7	27.4
まいわし			1.6		0.0	0.1	27.7	29.4	71.6
まあじ	0.5	0.7	3.3	0.5	4.2	1.8	8.1	19.1	17.6
まだい	0.1		0.8	0.3	1.3	0.5	5.6	8.5	9.4
ひらまさ	1.3	0.1	1.9	2.2	0.0	0.3	0.8	6.6	4.3
しいら	0.2		5.5	0.3	0.0	0.1	0.4	6.5	60.2
かわはぎ(ウマツ ^ウ)	0.3		0.6	0.9	0.3	0.7	1.2	4.1	2.8
あかいか(ケンサキ ^カ)	0.4		0.9	0.9	0.2	0.5	0.8	3.6	2.3
かます	0.1		1.2	0.3	0.1	0.1	0.6	2.3	1.0
すずき	0.3		0.9	0.3	0.2	0.1	0.3	2.1	4.6
さば	0.0	0.0	0.2	0.8	0.0	0.0	0.9	2.0	29.9
その他	0.8	0.0	3.7	0.9	3.8	2.2	7.4	18.8	24.1
合計	9.4	1.2	41.5	24.6	15.4	7.5	138.4	237.9	317.3
まき網									
ふくらぎ・こそくら	—	0.6	15.9	171.8		—		188.3	147.9
まあじ	—		164.0	1.5		—		165.5	8.4
ぶり	—	52.6	47.5	0.0		—		100.1	28.8
まいわし	—		91.4			—		91.4	1024.7
さば	—		14.4	39.8		—		54.3	189.9
その他	—	6.8	46.5	0.5		—		53.7	21.6
合計	—	60.0	379.7	213.7		—		653.3	1421.4
底びき網・ごち網									
あまえび		5.1					—	5.1	11.0
まだい	0.8		0.5				—	1.3	1.1
さこだい(サ ^イ)	0.5		0.3				—	0.8	0.6
はたはた		0.5					—	0.5	2.4
めっきだい(サ ^イ)	0.1		0.0				—	0.1	0.1
その他	0.1	0.4	0.1				—	0.5	0.8
合計	1.5	5.9	0.9				—	8.4	15.9
刺網・釣り・その他									
するめいか	0.0	14.0	7.3	28.3	21.3			70.9	41.8
べにずわいがに			11.6					11.6	22.6
さざえ	1.0		2.2	0.1	0.8	3.0	3.2	10.3	24.3
まだこ	0.0	0.0		2.1	0.4	2.4	2.9	7.9	6.7
あかがれい						6.5		6.5	6.6
すずき	0.2	0.0	0.7		0.3	1.1	0.1	2.3	1.8
ばいがい	0.1	1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	1.2
まだい	0.0		0.3	0.0	0.0	0.5	0.9	1.7	3.3
ふぐ類	0.0	0.0	1.7		0.0	0.0	0.0	1.7	2.9
いわがき	0.7				0.7	0.0	0.1	1.6	2.3
めっきだい(サ ^イ)	0.7	0.3	0.1		0.1	0.1		1.4	5.1
その他	1.9	0.7	2.1	0.5	0.9	4.1	2.7	12.9	58.8
合計	4.7	16.6	26.0	31.0	24.6	17.8	9.9	130.5	177.6
総計	15.5	83.7	448.1	269.3	40.1	25.2	148.2	1030.1	1932.1

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



434号
2019年9月13日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

大型クラゲ情報（期間：8月23日～9月9日）

- 対馬海峡・山陰・福井県では少量の確認となっています。
- 石川県加賀海域の底びき網で少量の入網がありました。

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：8月20日～22日）

- 2018年生まれの1歳エビは比較的多く採集されました。
- 2019年1～7月は好漁でしたが、来年度以降は小銘柄を中心に伸び悩む可能性があります。

石川県周辺海域の水温（期間：9月1日～5日）

- 沿岸の海面水温 9月5日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は25～26℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+1.0℃程度でした。
- 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は25.8～26.3℃で、8月中旬から約0.9℃低下しました。前年同時期との差は-0.5～+1.2℃、過去3年平均との差は±0.0～+0.9℃でした。
- 港内の水温 今期の水温は25.9～26.6℃で、前年同時期との差は-0.5～+0.6℃、過去3年平均との差は-0.5～+0.7℃でした。

大型クラゲ情報（期間：8月23日～9月9日）

- 国立研究開発法人水産研究・教育機構と一般社団法人漁業情報サービスセンターが、9月9日までに発表した大型クラゲに関する情報は次のとおりです。

日本海（石川県以外） 8月26日～9月2日に福井県の定置網で1～3個体（傘径20～80cm）入網がありました。長崎県から兵庫県の定置網、まき網、底びき網では入網が続いていますが全般的に少量です。

対馬海峡 9月3日に国際フェリーで行われた目視調査では、対馬海峡東水道で1個体、西水道で5個体（いずれも傘径40～60cm）と少量の確認がありました。

石川県内 加賀海域の底びき網で9月1～3日に1曳網当たり0～1個体（傘径50～60cm）の入網がありました。

- 対馬海峡からの流入は少量となりましたが、石川県周辺では例年9月以降が出現のピークになりますので引き続き注意してください。水産総合センターでは今後も大型クラゲの出現情報を収集・提供してまいります。大型クラゲの目視・入網情報等がありましたら、水産総合センターまでお知らせください。

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間:8月20日～22日）

■ 調査船白山丸は8月20～22日に金沢沖の水深375～500mの海域でアマエビ（標準和名:ホッコクアカエビ）の分布量調査を行いました。この調査は冬期と夏期の年2回実施しており、金属枠に袋網をつけた漁具を30分間曳網し、今後漁獲対象になる小型エビ（若齢エビ）の分布量を調べています。

■ 1歳エビ（2018年生まれ）は1回曳網当たり136尾採集されました。卓越年級群であった2014年生まれよりは少ないですが、分布量が多いと考えられます。

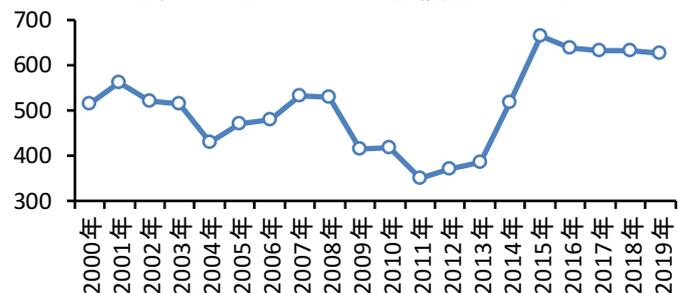
■ 2歳エビ（2017年生まれ）は1回曳網当たり84尾と少なく、2010年以降で最も採集尾数が少なくなりました。

■ 今年のアマエビの県内漁獲量は、豊漁であった2015年よりは減少したものの、高水準を維持しています。近年の高水準の漁獲は卓越年級群である2014年生まれに支えられていますが、2014年生まれの後は卓越年級群が発生していません。そのため、来年度以降の漁獲量は小銘柄を中心に伸び悩む可能性があります。

夏季調査における年齢別アマエビ採集尾数(尾/網)

調査年	1歳エビ	2歳エビ	3歳エビ
2007年	4	62	35
2008年	1	52	16
2009年	55	6	32
2010年	19	129	4
2011年	444	154	99
2012年	300	1289	190
2013年	52	231	340
2014年	31	276	138
2015年	512	93	97
2016年	53	430	22
2017年	150	261	414
2018年	130	353	114
2019年	136	84	71

単位(トン) 主要10港のアマエビ漁獲量(1～7月)



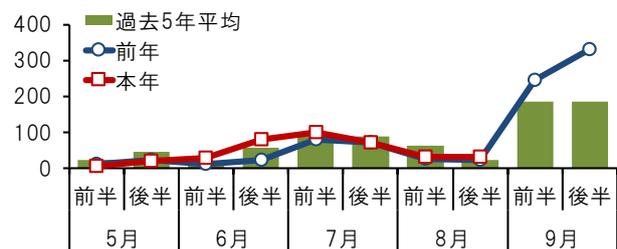
石川県主要港の水揚げ状況（期間:8月16日～31日）

■ 定置網 フクラギ・コゾクラ・シイラは前年を上回り、マイワシは前年並み、サバは前年を下回りました。サワラ・サゴシは33トン水揚げされました。5～8月の累計は374トンで、前年(275トン)を上回り、過去5年平均(425トン)を下回りました。アカイカは5トン水揚げされました。5～8月の累計は38トンで、過去5年平均(19トン)を上回りました。

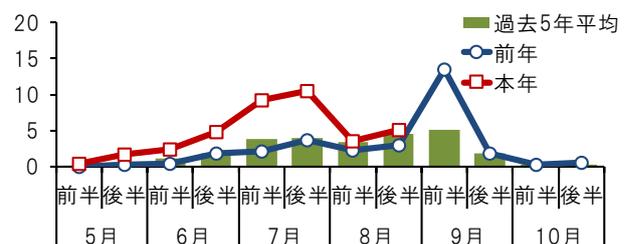
■ まき網 フクラギ・コゾクラ・マアジは前年を上回り、ガンドは前年並み、ブリ・サバは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 サザエ・スルメイカは前年を上回り、アマダイは前年並み、ベニズワイガニは前年を下回りました。

単位(トン) 定置網のサワラ・サゴシ水揚量



単位(トン) 定置網のアカイカ水揚量



集計期間 8月16日～8月31日 (漁獲量の単位はトン)

魚種	水揚港	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	期間合計	
									本年	前年
定置網										
ふくらぎ・こそくら		0.2	1.0	13.3	36.5	3.6	0.4	60.1	115.2	34.4
しいら		0.0		44.2	3.0	1.1		8.1	56.5	45.3
さわら・さごし		0.7	0.3	18.1	5.1	7.1		1.5	32.8	24.7
かたくちいわし								25.6	25.6	3.0
まあじ		0.0	0.0	3.0	0.1	11.0	0.3	2.3	16.7	10.7
まいわし					0.1		0.0	14.1	14.2	15.1
まだい		0.0	0.0	0.4	0.6	5.5	0.1	1.3	7.9	3.1
ひらまさ		0.4	0.0	2.5	2.4	0.0	0.0	0.1	5.5	1.1
うるめいわし								5.2	5.2	14.8
あかいか(ケンサキカ)		0.1		1.2	2.4	0.3	0.0	1.1	5.2	3.0
さば		0.0		0.1	3.2	0.0	0.0	1.7	4.9	51.3
がんど			0.0	0.0	1.2	1.7		0.2	3.2	0.3
かわはぎ(ウマヅラ)		0.1		0.6	0.2	0.6	0.1	0.6	2.1	1.6
その他		0.3	0.1	3.1	1.7	2.3	0.4	7.6	15.6	24.2
合計		1.9	1.4	86.5	56.7	33.2	1.2	129.6	310.5	232.7
まき網										
ふくらぎ・こそくら		—	88.1	86.5	65.1		—	1.0	240.7	49.9
ぶり		—	15.9	27.3	0.0		—	1.4	44.6	60.4
まあじ		—	1.1	28.7			—		29.8	0.1
がんど		—	0.2	27.3			—	0.6	28.1	26.1
さば		—		6.2	0.2	5.7	—		12.0	202.5
その他		—	0.2	2.6	0.2		—	0.0	3.0	576.5
合計		—	105.5	178.5	65.4	5.7	—	3.0	358.2	915.5
底びき網・ごち網										
あまえび			2.2					—	2.2	2.0
まだい		1.0		0.5				—	1.4	0.9
さこだい(サダイ)		0.3		0.3				—	0.7	0.6
あかがれい			0.1					—	0.1	0.0
めっきだい(キダイ)		0.0		0.0				—	0.1	0.1
その他		0.0	0.1	0.1				—	0.2	1.1
合計		1.3	2.3	0.9				—	4.6	4.8
刺網・釣り・その他										
ささえ		0.0		0.8	20.8	0.1	0.8	0.8	23.4	14.4
するめいか			4.8	0.7	1.3	11.6	0.1		18.5	2.9
べにずわいがに				11.8	0.5				12.3	25.3
かわはぎ(ウマヅラ)		0.0		3.2	0.2	0.1	0.7	0.0	4.2	0.8
まだこ		0.0	0.0		0.9	0.3	1.2	1.7	4.2	2.3
あまだい		0.1	0.1	0.1	3.1	0.2	0.1	0.0	3.7	4.5
やなぎばちめ(ウスマル)					2.4		0.1	0.1	2.6	2.1
めっきだい(キダイ)		0.2	0.2	0.0	1.8	0.1	0.3		2.5	4.0
あかいか(ケンサキカ)				0.2	1.5		0.2	0.0	1.9	0.8
あかがれい							1.8		1.8	2.3
ばいがい		0.0	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.7	1.1
その他		0.4	0.3	1.8	10.3	0.8	2.8	1.4	17.8	24.8
合計		0.7	6.6	18.7	43.1	13.3	8.1	4.1	94.6	85.2
総計		4.0	115.9	284.7	165.2	52.2	9.4	136.7	767.9	1238.2

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報

435号
2019年9月27日発行



石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:9月4日～12日）

- 日本海中央部のスルメイカの分布量は過去5年平均を下回りました。
- 魚体サイズは前年および過去5年平均よりも小型でした。

アオリイカの漁況の見通し（予報期間:9～12月）

- 定置網によるアオリイカ水揚量は123トン程度で、過去5年平均並みと予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間:9月1日～15日）

- 底びき網ではアマエビやニギスなど全体的に前年を上回りました。

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:9月4日～12日）

■ 調査船白山丸は9月4日から12日に日本海中央部（大和堆周辺海域）でイカ釣り操業を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は4.3～19.4尾でした。全調査点の平均CPUEは13.0尾であり、不漁であった前年同時期平均（8.3尾）並みに低く、過去5年同時期平均（30.8尾）を下回りました。今年の白山丸の調査から、日本海沖合ではスルメイカの分布量は5月と6月には極めて少なく、8月に幾分持ち直したものの9月時点においても依然として少ない状況が続いていると判断できます。本調査で漁獲したスルメイカの外套長（魚体サイズの指標）の平均値は19.1cmであり、魚体は前年（20.0cm）および過去5年平均（22.2cm）よりも小型でした。

調査船白山丸イカ釣り調査結果

操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
9月04日	40-35.9N, 136-42.6E	1,730	13.0	10～24cm (20cm)	26.2℃	6.97℃
9月07日	39-49.7N, 137-11.4E	1,879	17.9	10～23cm (19cm)	26.0℃	13.86℃
9月08日	40-15.4N, 136-10.8E	655	4.3	11～25cm (19cm)	25.4℃	4.88℃
9月09日	39-49.6N, 135-13.0E	2,981	19.4	10～25cm (19cm)	26.5℃	14.98℃
9月10日	39-30.2N, 135-19.2E	1,429	12.0	12～27cm (19cm)	26.3℃	13.67℃
9月11日	39-00.9N, 136-00.3E	1,738	11.3	15～28cm (18cm)	25.9℃	15.80℃

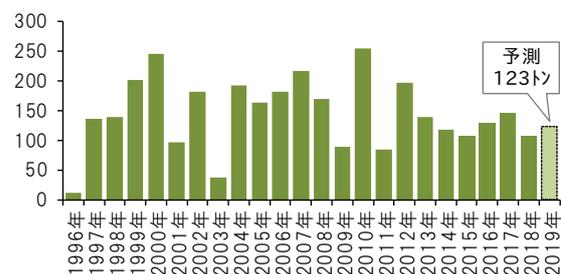
CPUE:釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体:漁獲尾数の多かったイカの外套長

アオリイカの漁況の見通し（予報期間:9～12月）

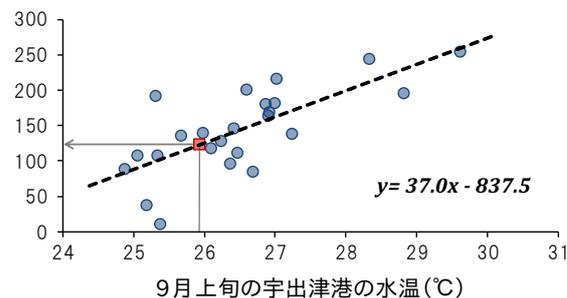
■ **アオリイカ**は日本海側では青森県以南の沿岸域に分布し、水温の季節変動にあわせて、春に北上し、秋に南下します。石川県では南下期の個体が漁獲対象となっており、9～12月に主に定置網によって漁獲されます。

■ **定置網による水揚量**は年変動が大きく、これには水温が関係しています。9～12月の水揚量と9月上旬の宇出津港の水温との関係を調べたところ、水温が高い年ほど水揚量が多い傾向がみられます。今年の水温は25.9℃であり、過去5年平均(25.8℃)とほぼ同じでした。この値を水温と水揚量の関係式に当てはめると、今年9～12月の定置網による水揚量は123トン程度と推定され、前年(108トン)をやや上回り、過去5年平均(122トン)と同程度と予想されます。

単位(トン) 9～12月の定置網によるアオリイカ水揚量



水揚量(トン) 宇出津港の水温と水揚量の関係



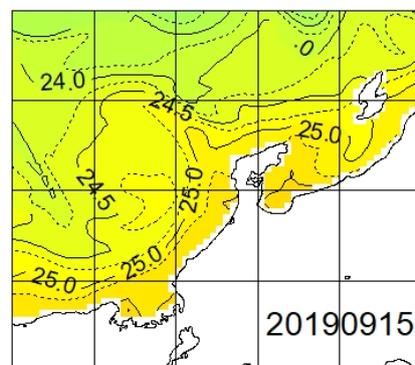
石川県周辺海域の水温（期間:9月11～15日）

■ **沿岸の海面水温** 9月15日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は25～26℃台で、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ **沿岸観測ブイの水温** 今期の水温は24.1～25.7℃で、9月上旬から約0.4℃上昇しました。前年同時期との差は+0.9～+1.9℃、過去3年平均との差は+1.0～+1.5℃でした。

■ **港内の水温** 今期の水温は26.3～26.9℃で、前年同時期との差は+1.2～+1.9℃、過去3年平均との差は+0.7～+1.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



石川県主要港の水揚状況（期間:9月1日～15日）

■ **定置網** ウルメイワシ・コノシロ・マアジは前年を上回り、サワラ・サゴシ・アオリイカ・アカイカ・カマスは前年を下回りました。フクラギ・コゾクラは129トン水揚げされました。8月前半から9月前半までの累計は318トンで、前年(123トン)および過去5年平均(250トン)を上回りました。

■ **まき網** フクラギ・コゾクラ・ブリは前年を上回り、ガンドは前年並み、サバは前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** アマエビ・ニギス・ハタハタ・アカガレイ・マダラは前年を上回りました。

■ **刺網・釣り・その他** スルメイカ・ベニズワイガニは前年を上回り、サザエは前年を下回りました。

集計期間 9月1日～9月15日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
ふくらぎ・こそくら	1.2		17.6	0.3	3.9	0.1	106.1	129.2	42.1
うるめいわし			0.5	0.0			49.3	49.8	12.5
このしろ						0.0	14.4	14.4	0.4
まあじ	0.1	0.1	6.8	0.5	1.1	0.5	4.7	13.7	7.8
しいら	0.1		5.5	0.0	0.2		7.2	12.9	4.7
さわら・さごし	3.4	0.5	3.3	0.0	0.8		0.4	8.3	244.9
かたくちいわし							3.8	3.8	
あおりいか	0.1		0.5	0.3	0.0	0.1	1.2	2.1	3.1
あかいか(ケツキカ)	0.3		0.2	0.1	0.0	0.0	0.9	1.6	13.5
かます	0.1		0.3	0.1	0.0	0.0	1.1	1.6	9.4
まだい	0.1		0.1	0.1	0.1	0.0	1.0	1.4	1.6
かわはぎ(ウヅウ)	0.1		0.3	0.1	0.0	0.2	0.6	1.2	2.3
さば	0.0		0.2	0.3			0.5	1.0	6.7
その他	0.9		1.6	0.4	0.8	0.3	6.1	10.2	16.9
合計	6.4	0.6	36.8	2.1	6.9	1.2	197.4	251.4	365.8
まき網									
ふくらぎ・こそくら	—	90.2	140.8	59.2	1.7	—	0.3	292.1	47.2
がんど	—	53.7	0.0	60.0		—	24.2	138.0	131.9
ぶり	—	96.9	18.2	1.3		—	2.2	118.5	64.9
さば	—		0.0	11.8	45.9	—		57.7	111.8
その他	—	2.5	0.2	3.7	25.8	—	0.3	32.5	455.9
合計	—	243.3	159.3	136.0	73.3	—	27.0	638.9	811.8
底びき網・ごち網									
あまえび	7.5	54.6		2.9	1.6		—	66.7	39.1
にぎす	2.6	35.8	18.1	3.2	3.1		—	62.8	40.7
はたはた	0.3	0.0	0.0	0.6	32.7	5.3	—	39.0	17.4
あかがれい	4.5	2.6	2.5	18.7	0.1		—	28.4	15.8
まだら	1.0	1.3	0.1	10.1	0.3		—	12.8	5.9
くちほそがれい(マガレイ)	0.3	0.2	0.1	6.6			—	7.2	5.7
あんこう	2.2	0.9	0.1	3.4	0.0		—	6.6	4.4
すがれい(ムシガレイ)	1.3	0.9	0.0	4.0	0.0		—	6.2	2.7
そうはち	3.3	0.1	0.0	2.7	0.1		—	6.2	4.7
その他	14.9	9.7	4.2	21.7	1.9	0.3	—	52.7	43.5
合計	37.8	106.1	25.2	74.0	40.0	5.6	—	288.7	180.0
刺網・釣り・その他									
するめいか		25.7	2.2	3.2	7.2	0.1		38.6	2.6
べにずわいがに		22.6	11.0	0.5				34.1	2.0
かわはぎ(ウヅウ)	0.0		3.4		0.1	0.7	0.1	4.3	1.3
ばいがい	0.1	2.2	0.0		0.0	0.0	0.0	2.3	0.5
さざえ			0.7	0.2	0.4	0.4	0.5	2.1	8.9
まだこ	0.0	0.0		0.0	0.1	0.5	1.0	1.7	0.6
めっきだい(キダイ)	0.2	0.2	0.3	0.0	0.1	0.1		1.1	3.0
まだい	0.0		0.2	0.0	0.0	0.7	0.1	1.0	1.8
その他	0.8	1.0	1.0	0.4	1.5	3.8	2.0	10.3	28.4
合計	1.1	51.7	18.9	4.3	9.5	6.4	3.7	95.6	49.0
総計	45.4	401.6	240.1	216.4	129.7	13.2	228.1	1274.5	1406.7

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



436号

2019年10月15日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

フクラギの漁況の見通し（予報期間:10月～11月）

- 定置網によるブリ0歳魚の水揚量は過去10年平均を上回って推移しています。
- 10～11月の水揚量は285トン程度と見込まれ、前年および過去5年平均を上回ると予想されます。

カマスの漁況の見通し（予報期間:10月～12月）

- 定置網によるカマスの水揚量は前年および過去5年平均を下回って推移しています。
- 10～12月の水揚量は72トン程度と見込まれ、過去5年平均を下回ると予想されます。

水産総合センター・トピックス

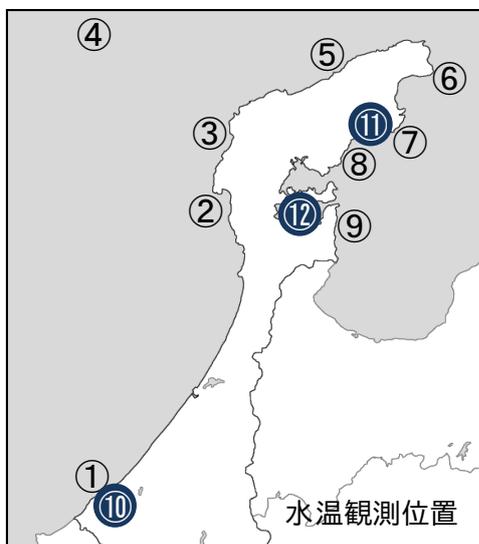
- 「第41回石川の農林漁業まつり」が開催されました。」

石川県周辺海域の水温（期間:10月2日～6日）

■ 沿岸の海面水温 10月6日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は23℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は23.2～23.6℃で、9月中旬から約2.9℃低下しました。前年同時期との差は-0.6～+0.6℃、過去3年平均との差は-0.2～+0.6℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は23.9～24.0℃で、前年同時期との差は+0.6～+0.7℃、過去3年平均との差は+0.4～+0.9℃でした。



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

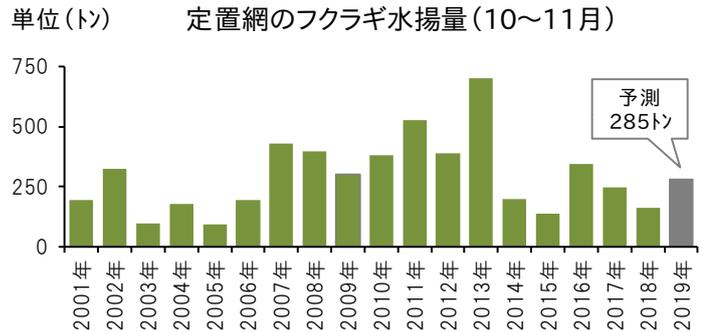
観測位置	5日間平均 10/2～10/6	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	23.2	-0.6	-0.2
② 富来沿岸	23.6	+0.4	+0.5
③ 門前沿岸	23.5	+0.6	+0.5
④ 猿山岬沖	23.6	データなし	+0.6
⑤ 曾々木沿岸	23.6	+0.5	+0.4
⑥ 小泊沿岸	23.4	+0.4	+0.0
⑦ 小浦沿岸	休止中	データなし	データなし
⑧ 鶴川沿岸	23.5	データなし	-0.1
⑨ 岸端沿岸	休止中	データなし	データなし

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 10/2～10/6	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	23.9	+0.7	+0.9
⑪ 宇出津港	24.0	+0.6	+0.4
⑫ 石崎港	休止中	データなし	データなし

フクラギの漁況の見通し（予報期間:10月～11月）

■ 今年生まれたブリ幼魚（0歳魚）は、本県では7月頃からボウズやコゾクラと呼ばれるサイズで定置網に入網し始め、10月にはフクラギと呼ばれるサイズに成長します。今年7～9月の主要10港の定置網による水揚量は397トン（速報値）であり、過去5年平均（242トン）を上回っています。

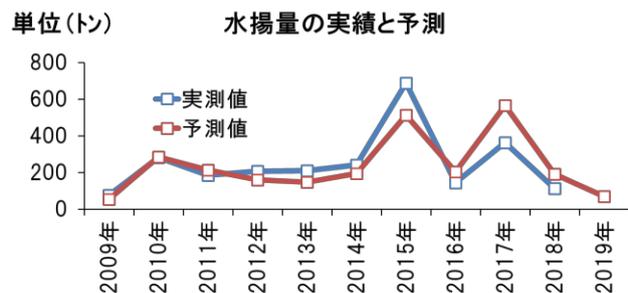
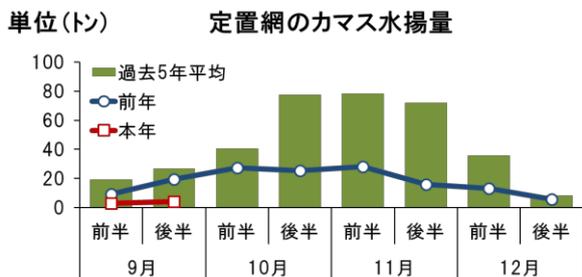


■ 11月1日時点の富山湾の50m深水温が高い年ほど10～11月の水揚量が多い傾向がみられます。海況数値モデルでは、今年11月1日の50m深水温は過去5年平均よりやや高いと予想されています。水温と水揚量の関係式から、10～11月の水揚量は285トンと見積もられ、前年（161トン）および過去5年平均（218トン）を上回ると予想されます。

カマスの漁況の見通し（予報期間:10月～12月）

■ 石川県の定置網では9月に入ってもカマス（アカカマス）の水揚げがほとんど増えず、9月の水揚量は7トン（速報値）であり、前年（29トン）および過去5年平均（46トン）を大きく下回っています。

■ 8～9月の宇出津港内の水温および9月の水揚量から、10～12月の定置網による水揚量を予測することができます。今期の定置網による水揚量は72トン程度と見積もられ、前年（115トン）および過去5年平均（312トン）を下回ると予想されます。



石川県主要港の水揚状況（期間:9月16日～30日）

- **定置網** ウルメイワシ・シイラ・カタクチイワシは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・マアジは前年並み、サワラ・サゴシ・カマスは前年を下回りました。
- **まき網** フクラギ・コゾクラは前年を上回り、ガンド・ブリは前年並み、サバは前年を下回りました。
- **底びき網・ごち網** ハタハタ・アカガレイ・マダラは前年を上回り、アマエビ・ニギスは前年並みでした。
- **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・スルメイカ・カワハギは前年を上回り、サザエは前年を下回りました。

「第41回石川の農林漁業まつり」が開催されました。

■ 第41回石川の農林漁業まつりが10月5日、6日の2日間、県産業展示館4号館で開催されました。会場には展示や販売、体験など130のブースが設けられ、農産物コーナーでは秋が旬のブロッコリーや能登栗、キノコなどが並び、JA県青壮年部協議会による餅つきも行われ、会場が盛り上がりました。水産物コーナーでは、JFいしかわが海女採りワカメ、輪島フグの加工品、各種一夜干し等を、同小木支所が冷凍スルメイカを、小松支所が小豆貝のうま煮を販売しました。また、屋外のいしかわ青空バザールでも、県漁協青壮年部連合会と県漁業士会が合同で、「The 漁師の唐揚げ」として、アマエビ、ハタハタ、イカ、タコの唐揚げを販売し、いずれも完売となる大盛況でした。

■ 石川県水産課・水産総合センターが出展する漁業ひろばでは、「石川の漁業」、「能登とり貝」、「輪島の海女漁」、「いしかわり山どじょう」を紹介するパネルや漁具等を展示しました。

「ブリの動きを追え」のコーナーでは、電子標識を装着したブリを水槽で展示し、生きて泳ぐブリに大人、子どもを問わず関心を持っていただくことができました。この電子標識は水温、水深、照度センサーとそのデータを保存するメモリ等を内蔵している小型ハイテク機器であり、腹腔に装着し放流したブリから機器を回収することで、そのブリが遊泳していた水温、水深、さらには遊泳位置を推定することができます。

漁業ひろばで毎年人気コーナーとなっている海藻しおり工作では、子供たちの海藻選びに時間をかけて取り組む姿が、ふれあい水槽では服を濡らしながら水槽の魚を追いかける姿がみられました。

■ 水産総合センターに併設する“うみとさかなの科学館”（能登町宇出津新港）では、標識ブリの飼育や、海藻しおり工作などの工作教室を月替わりで開催しているので、ぜひお越しください！

（金吹実佐子）



JF いしかわの水産物の販売コーナー



県水産課・水産総合センターによる
ふれあい水槽

集計期間 9月16日～9月30日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
さわら・さごし	0.2	2.6	89.6	15.9			0.8	109.1	178.0
ふくらぎ・こぞくら	0.1		2.4	14.8	0.0	0.0	12.7	30.0	25.7
うるめいわし		0.0	1.3			0.0	22.9	24.2	1.4
しいら	0.0		0.2	2.4			14.8	17.4	9.4
まあじ	0.1	0.6	6.3	3.0	0.1	0.8	4.3	15.2	14.0
かたくちいわし							15.2	15.2	0.0
かます	0.0		0.2	0.1	0.0	0.2	3.7	4.1	10.9
さば	0.0		1.9	2.1		0.0	0.1	4.1	10.4
あおりいか	0.0	0.0	0.8	0.5	0.0	0.2	2.5	4.0	3.1
そうだがつお			0.1	0.0			2.5	2.6	1.6
まいわし			0.5	2.0			0.1	2.5	1.3
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0		0.4	0.2	0.0	0.3	0.6	1.5	3.8
ひらまさ	0.1		0.3	0.4	0.0	0.0	0.4	1.2	2.1
その他	0.1	0.4	2.7	1.2	0.0	0.6	4.0	8.8	9.2
合計	0.7	3.5	106.5	42.5	0.2	2.1	84.5	240.0	270.8
まき網									
ふくらぎ・こぞくら	—	16.3	277.6	87.1	0.0	—	0.4	381.5	36.7
がんど	—	145.9	0.7	83.9		—	6.2	236.7	285.8
さば	—	18.0	60.2	13.3	22.5	—		114.0	247.5
ぶり	—	69.9	0.2	3.5		—	2.2	75.7	94.6
その他	—	0.6	3.3	21.8	2.3	—		28.0	32.2
合計	—	250.7	342.1	209.6	24.8	—	8.8	835.9	696.8
底びき網・ごち網									
あまえび	9.1	42.9		2.6	0.2		—	54.8	49.9
にぎす	2.0	17.5	8.9	3.5	3.2	2.0	—	37.1	42.2
はたはた	0.0			0.4	16.2	2.8	—	19.5	13.9
あかがれい	1.1	1.6	0.7	7.1	0.0		—	10.5	7.4
まだら	0.2	1.2	0.0	6.2	1.3		—	8.9	3.6
やりいか	1.8	3.0	1.4	2.0	0.0	0.1	—	8.3	3.5
あんこう	2.9	1.0	0.6	3.6	0.0		—	8.2	7.6
みずうお(ノウソウ)	0.4	5.0		1.1	0.1		—	6.6	4.4
すがれい(ムカゲ)	0.9	1.0	0.2	3.9	0.0		—	6.1	4.8
その他	7.5	7.6	2.4	33.3	1.5	1.7	—	54.0	57.1
合計	26.1	80.8	14.2	63.7	22.7	6.6	—	214.1	194.5
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		44.7	11.6	1.5				57.8	16.3
さざえ			0.6	12.0	0.3	0.5	0.1	13.5	18.3
するめいか		6.1	0.6	4.2	0.4	0.1		11.4	5.1
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0	0.0	5.7	0.3	0.0	0.2	0.2	6.3	3.4
あからばちめ(ハツメ)				3.7				3.7	2.0
めつきだい(キガイ)	0.5	0.2	0.4	1.1	0.0	0.3		2.5	4.6
やなぎばちめ(ウスマル)		0.0	0.0	1.9	0.0	0.1	0.3	2.4	4.4
あおりいか				0.0	0.1	1.7	0.5	2.3	1.6
その他	0.7	2.3	1.3	13.5	1.0	5.3	2.4	26.6	30.5
合計	1.2	53.4	20.1	38.2	1.9	8.2	3.5	126.5	86.2
総計	27.9	388.5	482.9	354.0	49.5	16.9	96.8	1416.5	1248.3

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
 ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
 携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:10月6日～11日）

- 能登半島沖から隠岐諸島沖ではスルメイカの分布量が少ない状況でした。
- 魚体サイズは前年および過去5年平均よりも小型でした。

石川県主要港の水揚状況（期間:10月1日～15日）

- 定置網ではサワラ・サゴシ、まき網ではサバが不調でした。

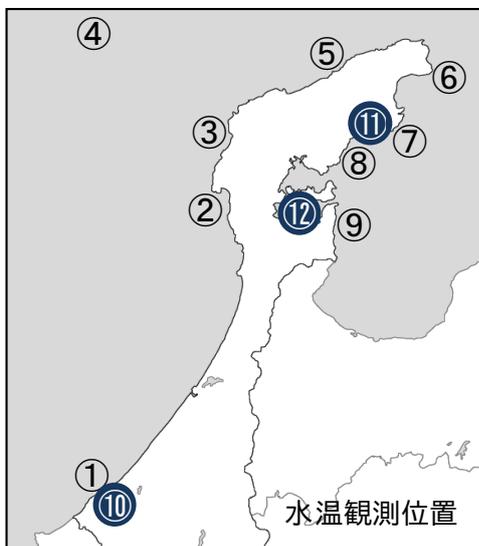
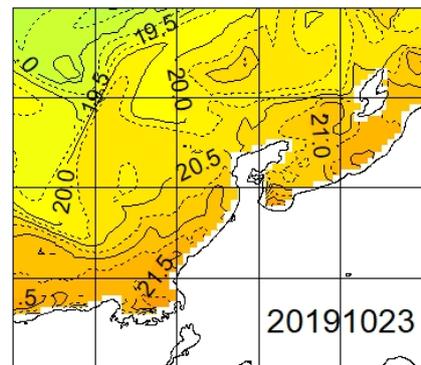
石川県周辺海域の水温（期間:10月19日～23日）

■ 沿岸の海面水温 10月23日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は20～21℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は20.3～21.5℃で、10月上旬から約2.6℃低下しました。前年同時期との差は-1.1～-0.3℃、過去3年平均との差は-0.7～+0.3℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は20.8～21.8℃で、前年同時期との差は-0.9～-0.1℃、過去3年平均との差は-0.0～+0.0℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 10/19～10/23	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	21.1	-1.1	-0.4
② 富来沿岸	20.8	-1.1	-0.3
③ 門前沿岸	20.6	-1.1	-0.3
④ 猿山岬沖	20.8	データなし	+0.3
⑤ 曾々木沿岸	20.3	-1.0	-0.7
⑥ 小泊沿岸	21.4	-0.3	-0.1
⑦ 小浦沿岸	休止中	データなし	データなし
⑧ 鶴川沿岸	21.5	データなし	-0.1
⑨ 岸端沿岸	休止中	データなし	データなし

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 10/19～10/23	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	20.8	-0.9	-0.0
⑪ 宇出津港	21.8	-0.1	+0.0
⑫ 石崎港	休止中	データなし	データなし

調査船白山丸のスルメイカ調査結果（期間:10月6日～11日）

■ 調査船白山丸は10月6日から11日に能登半島沖から隠岐諸島沖の海域でイカ釣り操業を行いました。スルメイカの分布密度の指標であるCPUE（釣機1台1時間当たりの漁獲尾数）は0.5～21.6尾であり、全般的に分布量が少ないことが分かりました。本調査で漁獲したスルメイカの魚体サイズ（外套長）の平均値は20.3cmであり、前年（25.5cm）および過去5年平均（23.2cm）に比べて魚体は小型でした。

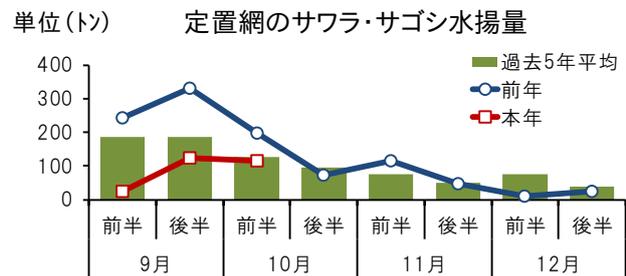
調査船白山丸イカ釣り調査結果

操業日	操業位置	漁獲尾数	CPUE	外套長範囲(主な魚体)	表面水温	50m水温
10月06日	37-29.1N, 136-16.2E	238	1.8	12～27cm (19cm)	22.8℃	22.46℃
10月07日	37-31.2N, 133-01.6E	61	0.5	19～25cm (21cm)	22.8℃	19.20℃
10月08日	38-15.9N, 133-27.4E	271	1.7	17～27cm (21cm)	21.3℃	18.91℃
10月09日	38-39.1N, 135-19.1E	3,631	21.6	13～24cm (20cm)	21.4℃	16.46℃
10月10日	38-01.9N, 136-57.7E	652	5.5	15～23cm (19cm)	22.3℃	21.75℃

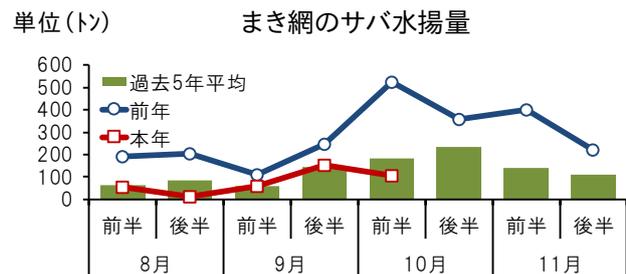
CPUE: 釣機1台1時間当たりの漁獲尾数、主な魚体: 漁獲尾数の多かったイカの外套長

石川県主要港の水揚状況（期間:10月1日～15日）

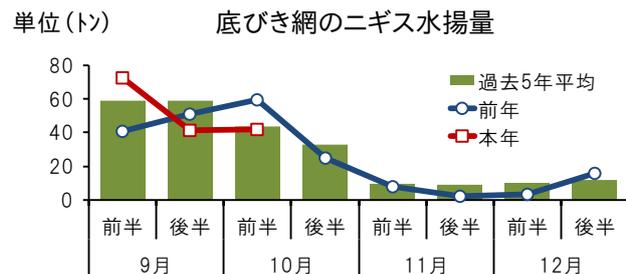
■ 定置網 フクラギ・コゾクラは前年を上回り、サワラ・サゴシ・サバ・マアジ・シイラ・カマスは前年を下回りました。サワラ・サゴシは117トン水揚げされました。9月前半から10月前半までの累計は265トンで、前年（774トン）および過去5年平均（499トン）を下回りました。



■ まき網 ブリ・ガンド・フクラギ・コゾクラは前年を上回り、サバは前年を下回りました。サバは108トン水揚げされました。8月前半から10月前半までの累計は383トンで、前年（1,277トン）および過去5年平均（532トン）を下回りました。



■ 底びき網・ごち網 ヤリイカは前年を上回り、マダラ・ハタハタは前年並み、アマエビは前年を下回りました。ニギスは42トン水揚げされました。9月前半から10月前半までの累計は156トンで、前年（151トン）および過去5年平均（162トン）並みでした。



■ 刺網・釣り・その他 ベニズワイガニは前年を上回りました。

集計期間 10月1日～10月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さわら・さごし	0.3		110.3	5.4	0.0		0.9	116.9	197.8
ふくらぎ・こぞくら	0.1		29.6	0.2	0.2	0.1	1.2	31.5	22.1
さば	0.0		0.7	7.1	0.2		0.0	8.1	18.5
まあじ	0.2	0.8	2.1	0.1	0.3	0.4	4.0	7.9	21.8
しいら			0.2		0.5		4.7	5.3	17.7
あおりいか	0.1		0.8	0.0	0.1	0.1	1.3	2.3	3.5
かます			0.1	0.0	0.2	0.0	1.9	2.3	27.2
くろばんちょ(メヅナ)			0.0		0.0	0.0	2.1	2.2	1.4
いしだい	0.0		1.1	0.0	0.0	0.0	0.4	1.6	0.3
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0		0.3	0.1	0.1	0.2	0.7	1.3	5.9
そうだがつお			0.1		0.0		1.0	1.1	18.0
うるめいわし					0.1	0.1	0.3	0.6	
めじ(カマガロ)			0.5					0.5	0.0
その他	0.1		2.0	0.1	1.2	0.3	1.7	5.4	8.5
合計	0.8	0.8	147.8	13.1	2.9	1.4	20.3	187.0	342.8
まき網									
ぶり	—	155.6		0.1		—	19.2	174.9	64.4
がんど	—	64.5	0.1	77.5		—	18.3	160.3	130.9
ふくらぎ・こぞくら	—	0.3	125.7	5.8	0.7	—	0.0	132.6	42.6
さば	—		10.3	69.7	28.1	—		108.1	524.9
その他	—	7.5	14.9	23.5	12.8	—	0.2	59.0	82.1
合計	—	227.9	150.9	176.5	41.7	—	37.7	634.8	845.0
底びき網・ごち網									
にぎす	1.6	15.1	17.8	1.0	4.5	2.2	—	42.2	59.4
あまえび	3.6	18.3		1.4	1.7		—	25.1	51.7
やりいか	5.2	1.2	1.3	2.5	0.0	0.2	—	10.4	3.5
あんこう	2.2	0.4	1.0	2.3	0.1		—	6.0	10.9
まだら	0.2	1.2	0.1	3.4	0.9		—	5.7	6.7
すがれい(ムシガレイ)	0.8	0.5	0.4	2.9	0.0		—	4.5	7.5
はたはた	0.0		0.0	0.3	3.7		—	4.0	5.0
くちぼそがれい(マガレイ)	0.1	0.0	0.1	3.4	0.0		—	3.5	5.7
あかがれい	0.5	0.9	0.0	1.6	0.0		—	3.1	5.2
その他	5.2	4.6	1.6	23.3	4.8	0.3	—	39.8	80.7
合計	19.3	42.2	22.2	42.0	15.8	2.7	—	144.4	236.2
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		25.3	4.3	0.4				30.0	23.6
するめいか		1.4	0.8	1.3	6.1	0.0		9.6	0.2
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0		3.4	0.1	0.0	0.0	0.1	3.8	2.2
やなぎばちめ(ウマガル)				3.2	0.0	0.0	0.2	3.4	2.7
あおりいか					0.1	1.8	0.5	2.3	2.1
めっきだい(キダイ)	0.5	0.1	0.3	0.9	0.1	0.2		2.1	3.9
あまだい	0.3	0.1	0.3	1.1	0.1	0.1	0.0	2.1	3.6
まだい	0.1	0.0	0.2	0.5	0.1	0.5	0.1	1.5	2.9
その他	0.4	1.2	1.0	9.2	0.5	2.5	2.3	17.0	28.0
合計	1.2	28.2	10.5	16.7	6.9	5.1	3.3	71.9	69.2
総計	21.3	299.1	331.4	248.3	67.3	9.3	61.3	1038.0	1493.1

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



438号

2019年11月15日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
 ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
 携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

寒ブリの漁況の見通し（予報期間:11月～来年3月）

- 定置網による寒ブリの水揚量は過去10年平均を上回ると予想されます。

ズワイガニの水揚状況（期間:11月6日～10日）

- 雄ガニ・雌ガニの水揚量はいずれも過去5年平均を下回っています。

石川県主要港の水揚状況（期間:10月16日～31日）

- 定置網ではカマス・サバなどが不調でした。

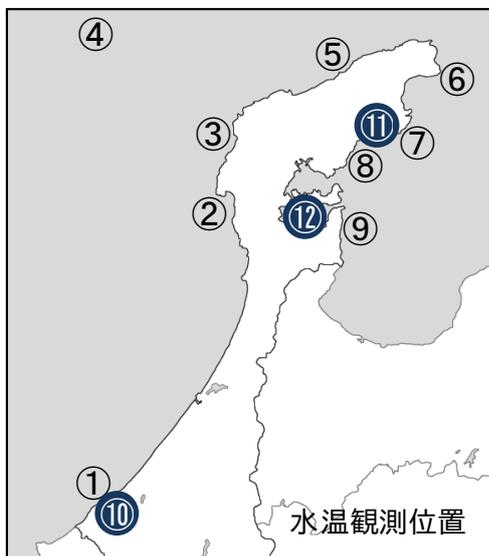
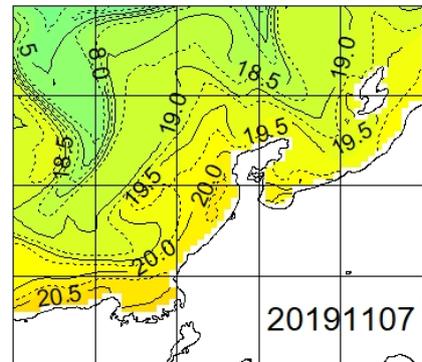
石川県周辺海域の海面水温（期間:11月3日～7日）

■ 沿岸の海面水温 11月7日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は19～20℃台で、過去5年平均との差は±0.0～1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は19.8～20.3℃で、10月下旬から約0.9℃低下しました。過去3年平均との差は-0.1～+1.3℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は19.2～19.9℃で、前年同時期との差は-0.5～-0.4℃、過去3年平均との差は+0.3～+0.8℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 11/3～11/7	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	20.1	-0.5	+0.1
② 富来沿岸	20.3	-0.3	+0.8
③ 門前沿岸	19.9	-0.2	+0.5
④ 猿山岬沖	20.0	データなし	+1.3
⑤ 曾々木沿岸	20.0	-0.1	+0.8
⑥ 小泊沿岸	20.1	-0.2	+0.7
⑦ 小浦沿岸	休止中	データなし	データなし
⑧ 鶴川沿岸	19.8	データなし	+0.5
⑨ 岸端沿岸	19.8	-0.7	-0.1

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

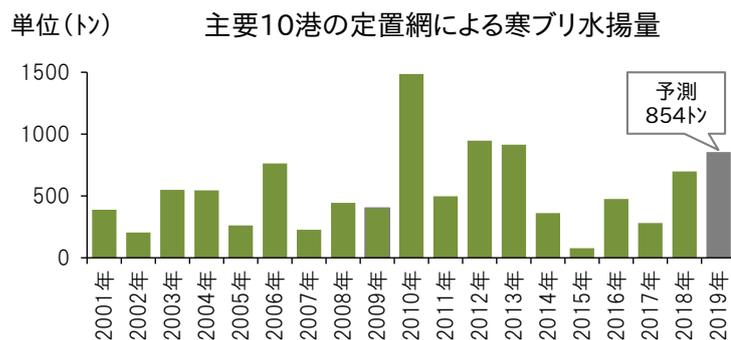
観測位置	5日間平均 11/3～11/7	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	19.2	-0.4	+0.8
⑪ 宇出津港	19.9	-0.5	+0.3
⑫ 石崎港	休止中	データなし	データなし

寒ブリの漁況の見通し（予報期間:11月～来年3月）

■ 本県の寒ブリ漁は11月後半頃に始まり、12～1月に盛漁期を迎えます。県内主要10港の定置網による寒ブリ（11～3月に漁獲される体重4kg以上のブリ）の水揚量は来遊状況の影響を受けて大きく変動し、昨年漁期には平年（過去10年平均）をやや上回りました。

■ 寒ブリの水揚量は北上期（5～6月）の水揚量と南下期（12月）の水温から予測できます。北上期の水揚量が多い年は南下するブリも多いと考えられます。南下期の富山湾の水温が高く、能登半島北西沖の水温が低いと、ブリが本県沿岸に来遊しやすいため水揚量が多くなる傾向にあります。

■ 今年の北上期の水揚量は384トンと平年を上回りました。海況数値モデルによると、今年12月の富山湾の100m深水温は平年並みで、能登半島北西沖の100m深水温は平年より低めになると予想されています。これらに基づく予測式から、今期の寒ブリ漁の水揚量は854トンと見積もられ、前年（698トン）および平年（614トン）を上回ると予想されます。



ズワイガニの水揚状況（期間:11月6日～10日）

■ 11月6日にズワイガニ漁が解禁されました。かなざわ総合市場と橋立港の11月10日までの水揚量は雄ガニ（加能ガニ）：15.4トン、雌ガニ（香箱）：23.0トンでした。雄ガニは前年（23.3トン）および過去5年平均（23.1トン）を下回っています。雌ガニは前年（38.9トン）および過去5年平均（49.7トン）を下回っています。

■ 本県を含む富山県以西の日本海におけるズワイガニ資源量は前年並みと見積もられています（水研機構日水研資料）。そのため、当該海域において今漁期は大きな漁獲量の落ち込みはないものと考えられます。

石川県主要港の水揚状況（期間:10月16日～31日）

■ 定置網 サワラ・サゴシ・カワハギは前年を上回り、フクラギ・コゾクラ・アオリイカは前年並み、サバ・マアジ・シイラは前年を下回りました。カマスは22トン水揚げされました。9月前半から10月後半までの累計は32トンで、前年（82トン）および過去5年平均（164トン）を下回りました。

■ まき網 ブリ・ガンド・フクラギ・コゾクラ・マアジは前年を上回りました。

■ 底びき網・ごち網 ニギス・ヤリイカ・ハタハタは前年を上回り、アカガレイは前年並み、アンコウは前年を下回りました。アマエビは59トン水揚げされました。9月前半から10月後半までの累計は207トンで、前年（197トン）および過去5年平均（212トン）並みでした。

■ 刺網・釣り・その他 ベニズワイガニ・スルメイカは前年を上回り、ヤナギバチメは前年を下回りました。

集計期間 10月16日～10月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さわら・さごし	1.8		79.9	11.0	6.4	1.1	15.0	115.3	72.1
ふくらぎ・こぞくら	0.8		16.4	3.7	5.2	0.6	26.7	53.4	53.8
かたくちいわし							39.1	39.1	
そうだがつお			0.0	0.0	23.3	0.6	13.3	37.2	41.4
さば	0.0		16.9	17.0	0.6	0.2	0.1	34.8	76.6
まあじ	0.1		2.4	12.7	3.5	4.4	11.0	34.2	47.2
かます	0.0		0.5	0.2	2.7	1.2	17.6	22.2	25.3
かわはぎ(ウマヅラ)	0.2		0.2	0.3	0.2	0.5	9.8	11.3	8.1
あおりいか	0.0		1.0	0.4	1.5	0.6	7.6	11.1	13.8
しいら			0.1	0.3	0.4	0.0	7.4	8.2	72.1
がんど			0.3	2.6	0.0	0.2	4.8	8.0	1.3
ぶり	0.0		0.1	0.1	0.7	0.2	5.7	6.8	3.7
ひらまさ	0.3		1.1	1.1	0.3	0.7	2.5	6.0	1.7
その他	1.0	0.0	1.8	0.5	1.8	2.5	18.8	26.4	18.5
合計	4.4	0.0	120.8	50.0	46.4	12.6	179.5	413.8	435.5
まき網									
ぶり	—	211.1	0.1			—	19.3	230.5	81.1
がんど	—	155.9	0.7	2.8		—	23.6	182.9	53.3
ふくらぎ・こぞくら	—	0.5	16.9	140.9		—	0.0	158.2	128.8
まあじ	—		138.8	11.3		—		150.1	60.7
その他	—	33.4	75.5	6.2		—	0.0	115.2	371.0
合計	—	400.8	232.0	161.2		—	42.9	837.0	695.0
底びき網・ごち網									
あまえび	10.9	41.9	0.4	3.7	1.7		—	58.6	45.5
にぎす	5.5	26.4	9.5	2.7	4.7	1.4	—	50.0	25.0
やりいか	5.1	3.5	0.7	1.1	0.0	0.1	—	10.5	1.2
はたはた	0.1	0.0	0.2		7.1	1.6	—	9.0	0.6
あかがれい	2.4	4.1	0.5	0.0	0.0		—	7.1	6.0
あんこう	2.2	0.8	0.3	3.0	0.1		—	6.3	8.9
みずうお(ノケノゲ)	0.5	4.4	0.1	0.3	0.4		—	5.7	4.7
すがれい(ムシガレイ)	1.2	0.8	0.1	3.4	0.0		—	5.6	4.6
まだら	1.2	1.4	0.1	0.1	2.0		—	4.9	6.1
その他	11.4	8.5	2.7	25.9	3.0	0.3	—	51.9	46.8
合計	40.5	91.8	14.7	40.4	19.0	3.4	—	209.8	149.4
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		51.7	10.5	1.6				63.7	41.2
するめいか	0.0	0.2	0.2	3.9	20.4	0.0		24.8	0.0
やなぎばちめ(ウスマバル)			0.1	7.5	0.0	0.1	0.3	7.9	10.5
あからばちめ(ハツメ)				5.4				5.4	3.2
まだい	0.1	0.0	0.5	3.4	0.2	0.7	0.2	5.0	4.8
がんど		0.0	0.6	3.0	0.0	0.0		3.7	1.6
かわはぎ(ウマヅラ)	0.1	0.0	2.2	0.7	0.1	0.1	0.2	3.4	2.0
めつきだい(キダイ)	1.1	0.5	0.3	1.0	0.0	0.2		3.1	3.2
その他	1.4	2.6	1.7	15.7	1.3	5.6	4.7	33.0	38.8
合計	2.6	55.1	16.1	42.1	22.0	6.6	5.4	150.0	105.4
総計	47.4	547.8	383.6	293.7	87.5	22.6	227.9	1610.5	1385.3

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



439号
2019年12月2日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

ズワイガニの水揚状況（期間：11月6日～24日）

- 水揚量は雄ガニ・雌ガニとも過去5年平均を下回りました。
- 出漁隻日当たりの水揚量は雄ガニでは過去5年平均を上回り、雌ガニでは同平均を下回りました。

フクラギの漁況の見通し（予報期間：10月～来年3月）

- 10月～来年3月の水揚量は432トと見込まれ、前年を上回り、過去5年平均並みになると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間：11月1日～15日）

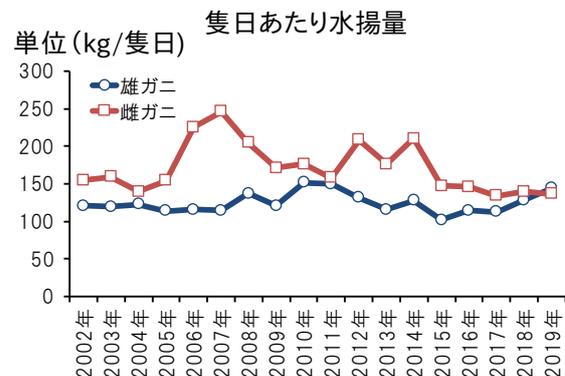
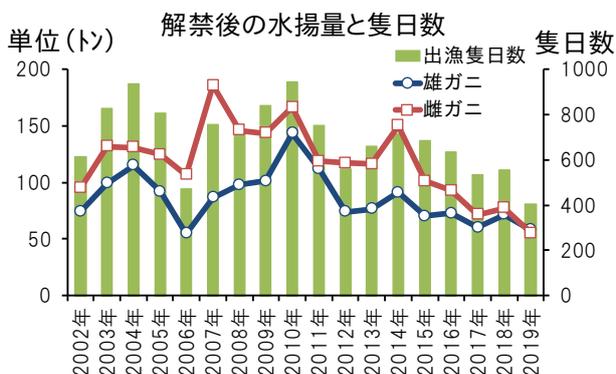
- 定置網ではカマスが低調でした。

ズワイガニの水揚状況（期間：11月6日～24日）

■ 11月6日にズワイガニ漁が解禁されました。橋立港・金沢港・輪島港・蛸島港の解禁後19日間の水揚量は雄ガニ（加能ガニ）：58.1トン、雌ガニ（香箱）：55.1トンでした。

■ 水揚量の前年同期比は雄ガニ：81%、雌ガニ：71%であり、雄ガニ・雌ガニとも前年を下回りました。同過去5年平均比は雄ガニ：79%、雌ガニ：56%であり、雄ガニ・雌ガニとも過去5年平均を下回りました。

■ 出漁隻日当たりの水揚量の前年同期比は雄ガニ：112%、雌ガニ：98%であり、雄ガニは前年を上回り、雌ガニは前年並みとなりました。同過去5年平均比は雄ガニ：123%、雌ガニ：87%であり、雄ガニは過去5年平均を上回り、雌ガニは同平均を下回りました。長期的な傾向を見ると、雄ガニに関しては隻日あたりの水揚量は安定的に推移しています。



フクラギの漁況の見通し（予報期間:10月～来年3月）

■ 2019年10月15日発行の漁海況情報436号では、10～11月のフクラギの水揚量の見通しをお知らせしました。その後、海況数値モデルの水温予測値が更新されましたので、改めて10～3月の見通しをお知らせします。



■ 11月の富山湾の50m深水温が高いほど盛漁期(10～11月)の水揚量は多く、1月の能登半島北西沖の200m深水温が低いほど越冬期(12～3月)の水揚量が多い傾向がみられます。海況数値モデルによると、今年11月の同水温は過去5年平均並み、来年1月の同水温は過去5年平均より低めになると予想されています。水温と水揚量の関係式から、今期の水揚量は432トンと見積もられ、前年(236トン)を上回り、過去5年平均(409トン)並みになると予想されます。

石川県周辺海域の海面水温（期間:11月16日～20日）

■ 沿岸の海面水温 11月20日の本県周辺(海岸線より30海里程度)の海面水温は18～19℃台で、過去5年平均との差は±0.0～+1.0℃程度でした。

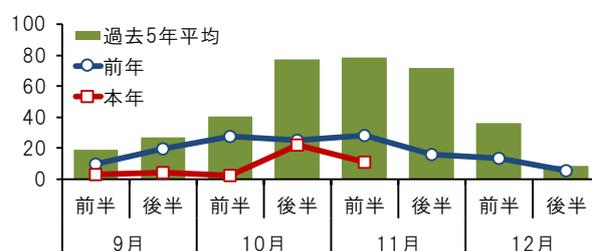
■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は18.7～19.2℃で、11月上旬から約1.1℃低下しました。過去3年平均との差は+0.3～+1.3℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は16.3～17.2℃で、前年同時期との差は-0.7～-0.1℃、過去3年平均との差は+0.3～+0.9℃でした。

石川県主要港の水揚状況（期間:11月1日～15日）

■ 定置網 フクラギ・コゾクラ・シイラ・ソウダガツオ・ヒラマサは前年を上回り、マアジ・アオリイカは前年並み、サワラ・サゴシ・サバは前年を下回りました。カマスは13トン水揚げされました。9月前半から11月前半までの累計は43トンで、前年(110トン)および過去5年平均(242トン)を下回りました。

単位(ト) 定置網のカマス水揚量



■ まき網 ガンド・ブリは前年を上回り、マアジは前年並み、サバは前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 マダラは前年を上回り、ズワイガニは前年並み、コウバコ・アカガレイ・アマエビは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 スルメイカは前年を上回り、ベニズワイガニ・マダラは前年並み、ヤナギバチメは前年を下回った。

集計期間 11月1日～11月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
ふくらぎ・こぞくら	0.2		10.7	20.2	7.4	12.9	22.3	73.7	46.1
さわら・さごし	0.9		12.8	5.8	7.4	13.6	28.8	69.2	116.0
まあじ	0.3		3.3	24.2	7.8	15.6	7.1	58.3	56.5
しいら			0.0	0.0	0.4	6.7	28.8	35.9	17.9
あおりいか	0.1		0.6	0.5	1.7	4.3	18.4	25.6	22.7
そうだがつお			0.0		0.7	1.4	20.1	22.2	13.7
さば	0.0		1.4	15.5	0.6	2.8	0.4	20.6	80.5
ひらまさ	0.0		0.3	0.4	0.4	4.8	12.1	18.1	2.7
かます	0.0		0.9	0.5	1.6	0.5	9.5	13.0	28.1
かわはぎ(ウマヅラ)	0.1		0.1	0.4	0.4	1.0	6.1	8.1	13.6
ぶり	0.2		0.1	0.1	0.5	3.6	2.2	6.7	35.2
かたくちいわし							5.5	5.5	0.6
がんど			0.8	2.8	0.2	1.4	0.3	5.4	9.4
その他	0.5		3.3	0.5	3.0	8.8	16.7	32.8	32.2
合計	2.5		34.3	70.9	32.0	77.3	178.3	395.3	475.2
まき網									
まあじ	—		19.8	38.1	22.4	—		80.3	100.3
がんど	—	40.5		30.3		—	1.3	72.1	42.4
さば	—		24.0	3.8	30.7	—	0.2	58.8	398.8
ぶり	—	49.7		0.2		—	5.4	55.3	10.9
その他	—	13.3	0.1	36.8	0.1	—	2.9	53.4	262.7
合計	—	103.5	44.0	109.2	53.2	—	9.9	319.9	815.1
底びき網・ごち網									
こうばこ(スワカニ♀)	2.4	17.8	0.9	21.9	4.9		—	48.0	63.4
ずわいがに	6.0	13.9	1.8	10.1	4.7		—	36.4	42.5
まだら	0.2	0.1	0.1	9.6	1.5		—	11.5	5.7
あかがれい	3.1	3.3	0.5	2.3	0.1		—	9.4	16.0
なめたがれい(ヒレグロ)	0.2	1.0	0.1	2.6	0.1		—	4.0	4.4
ばいがい	0.6	0.8	0.1	1.4	0.4		—	3.3	5.0
にぎす	0.0		0.3		0.3	2.4	—	3.0	8.0
あまえび	0.7		0.1	0.8	0.6		—	2.2	12.9
みずうお(ノケツゲ)	0.2	0.0	0.8	0.2	0.1		—	1.2	1.5
その他	1.6	0.1	0.3	2.4	1.3	1.4	—	7.2	23.8
合計	15.0	37.1	5.0	51.3	14.1	3.8	—	126.2	183.2
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		52.5	9.9	1.1				63.5	69.8
まだら	0.0	0.1		52.2		0.3		52.7	48.4
するめいか				2.3	10.4			12.7	0.0
がんど		0.0	0.6	3.6		0.1		4.3	3.4
かわはぎ(ウマヅラ)	0.0	0.1	0.2	1.1	2.4	0.2	0.1	4.2	1.8
まだい	0.0	0.0	0.1	2.4	0.2	0.4	0.1	3.1	2.9
やなぎばちめ(ウスマバル)			0.1	2.9	0.0	0.0	0.1	3.1	10.6
まだこ				0.1	0.3	0.8	1.9	3.0	4.0
その他	1.3	1.4	1.5	12.4	0.8	2.7	5.2	25.4	31.1
合計	1.4	54.1	12.4	78.1	14.1	4.5	7.3	171.9	171.9
総計	18.9	194.8	95.7	309.4	113.3	85.6	195.5	1013.2	1645.5

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



440号

2019年12月17日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
 ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
 携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

スルメイカの漁況の見通し（予報期間: 来年1月～3月）

- 定置網によるスルメイカの水揚量は270トン程度で、過去5年平均を下回ると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間: 11月16日～30日）

- 定置網ではカマスが不調でした。一方、刺網・釣り・その他ではマダラが好調でした。

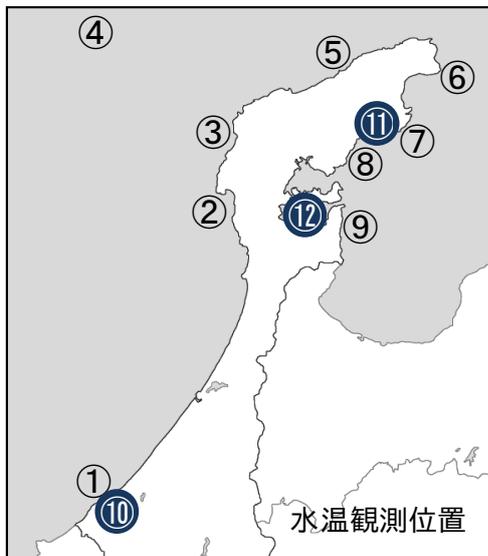
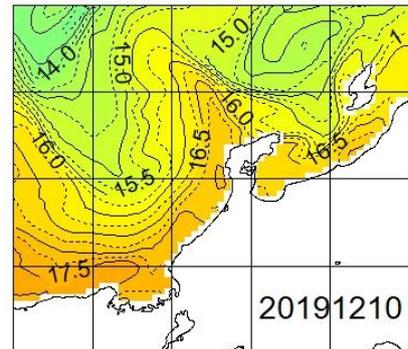
石川県周辺海域の海面水温（期間: 12月6日～10日）

■ 沿岸の海面水温 12月10日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は15～17℃台であり、過去5年平均との差は-0.5～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は16.2～16.6℃で、11月中旬から約2.8℃低下しました。前年同時期との差は-1.3～-1.0℃、過去3年平均との差は-0.6～+0.0℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は11.9～16.3℃で、前年同時期との差は-1.1～-0.7℃、過去3年平均との差は-1.0～+0.2℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 12/6～12/10	前年差	過去3年平均差
① 橋立沿岸	16.2	-1.3	-0.6
② 富来沿岸	休止中	データなし	データなし
③ 門前沿岸	休止中	データなし	データなし
④ 猿山岬沖	休止中	データなし	データなし
⑤ 貫々木沿岸	休止中	データなし	データなし
⑥ 小泊沿岸	16.2	-1.1	-0.1
⑦ 小浦沿岸	16.6	-1.0	+0.0
⑧ 鶴川沿岸	休止中	データなし	データなし
⑨ 岸端沿岸	休止中	データなし	データなし

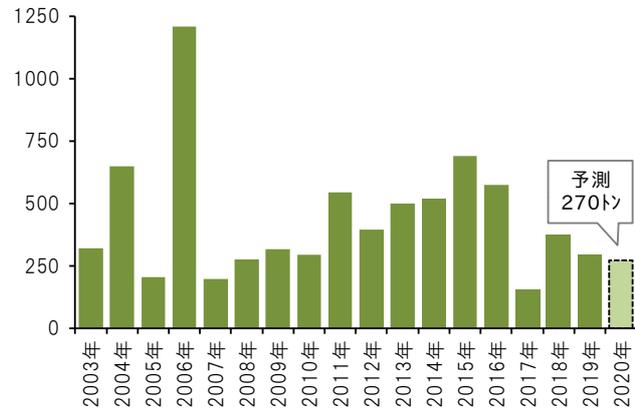
港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 12/6～12/10	前年差	過去3年平均差
⑩ 橋立港	14.3	-0.9	-0.5
⑪ 宇出津港	16.3	-1.1	+0.2
⑫ 石崎港	11.9	-0.7	-1.0

スルメイカの漁況の見通し（予報期間：来年1月～3月）

■ スルメイカには秋生まれ群と冬生まれ群があり、冬に定置網で漁獲されるスルメイカは主に冬生まれ群です。定置網による水揚量は年変動が大きく、これには海水温が関係しています。過去17年間の1～3月の水揚量と1月の50m深水温の関係を調べたところ、能登半島北沖と秋田県西沖の平均水温が低いほど、水揚量が多い傾向がみられました。また、近年、冬生まれ群の資源量が減少しており、これにともない水揚量も減少する可能性があります。

単位(トン) 1～3月の定置網によるスルメイカ水揚量

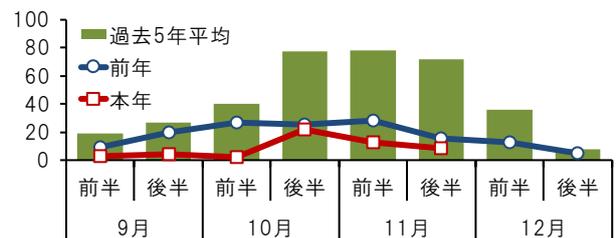


■ 海況数値モデル(日本海区水産研究所)によると、来年1月の能登・秋田県沖の50m深平均水温は過去5年平均並みになると予測されています。しかし、今年の冬生まれ群の資源量は前年並みに少なく、過去5年平均を大きく下回っています。この水温と資源量に基づいて、来年1～3月の定置網による水揚量を予測したところ、270トンと見積もられました。従って、今期の定置網による水揚量は2019年(294トン)並みで、過去5年平均(416トン)を下回ると予想されます。

石川県主要港の水揚状況（期間：11月16日～30日）

■ 定置網 ヒラマサ・カタクチイワシは前年を上回り、サワラ・サゴシ・フクラギ・コゾクラ・ソウダガツオは前年並み、シラ・マアジ・ブリ・カマスは前年を下回りました。カマスは9トン水揚げされました。9～11月の合計は53トンで、前年(126トン)および過去5年平均(314トン)を下回りました。アオリイカは29トン水揚げされました。11月の合計は55トンで、前年(52トン)並みで、過去5年平均(67トン)を下回りました。

単位(トン) 定置網のカマス水揚量

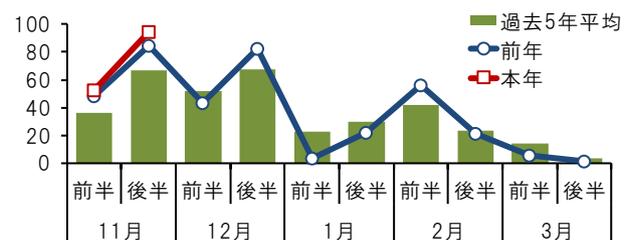


■ まき網 ブリは前年を上回り、マアジ・フクラギ・コゾクラ・サバは下回りました。

■ 底びき網・ごち網 アマエビ・ニギス・マダラは前年を上回り、ズワイガニ・コウバコ・アカガレイは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 ベニズワイガニは前年を下回りました。マダラは94トン水揚げされました。11月の合計は147トンで、前年(133トン)をやや上回り、過去5年平均(103トン)を上回りました。

単位(トン) 刺網・釣り・その他のマダラ水揚量



集計期間 11月16日～11月30日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
さわら・さごし	0.0		1.0	2.0	5.6	20.6	24.6	53.8	47.5
ふくらぎ・こそくら			1.1	11.7	9.5	11.4	5.2	38.9	38.7
しいら				0.0	1.1	7.6	24.0	32.7	57.2
あおりいか			0.2	0.3	2.5	8.8	17.5	29.4	29.6
まあじ	0.0		2.2	1.5	7.8	7.1	9.3	27.9	37.6
ひらまさ	0.0		0.1	0.8	0.5	8.6	16.0	26.0	5.0
そうだがつお			0.0	0.1	1.0	4.8	12.7	18.6	21.5
かたくちいわし							15.5	15.5	1.5
ぶり	0.0		0.0		1.1	4.8	8.5	14.5	68.3
くろばんちよ(メヅナ)					0.0	0.8	9.0	9.8	6.4
かます			0.3	0.0	0.5	1.3	6.6	8.8	16.0
かわはぎ(ウマヅラ)			0.2	1.0	0.3	1.1	3.9	6.5	14.4
がんど			0.3	0.1	2.4	1.3	0.4	4.4	6.8
その他	0.0		2.1	1.2	3.4	7.7	16.9	31.4	44.9
合計	0.0		7.5	18.6	35.7	86.1	170.2	318.3	395.4
まき網									
まあじ	—		12.4	53.4		—		65.9	92.1
ふくらぎ・こそくら	—	38.6		22.7		—		61.3	176.2
ぶり	—	40.6				—	1.2	41.8	3.7
さば	—		26.1	6.0		—		32.1	221.9
その他	—	3.1	10.4	0.2		—		13.7	19.4
合計	—	82.3	48.9	82.3		—	1.2	214.6	513.3
底びき網・ごち網									
ずわいがに	8.2	13.2	3.0	5.0	3.1		—	32.4	44.6
あまえび	1.5		7.5	11.4	0.0		—	20.4	8.4
にぎす	0.8		15.8	0.0		0.3	—	16.9	2.2
こうばこ(スワカニ♀)	0.6	4.5	1.5	7.0	2.0		—	15.6	22.9
まだら	0.3	0.3	1.1	11.4	1.8		—	14.9	6.0
あかがれい	2.8	3.5	1.6	1.3	0.1		—	9.2	15.8
ばいがい	0.8	1.7	0.2	1.2	0.4		—	4.3	6.9
なめたがれい(ヒレグロ)	0.2	0.5	0.4	1.5	0.1		—	2.6	3.3
みずうお(ハゲツケ)	0.5	0.0	0.9	0.3	0.0		—	1.7	0.8
その他	1.7	0.8	1.6	2.9	0.4	0.9	—	8.2	12.8
合計	17.2	24.5	33.6	42.1	7.7	1.2	—	126.3	123.6
刺網・釣り・その他									
まだら		0.0		94.1	0.0	0.1		94.2	84.3
べにずわいがに		26.2	10.4	0.5				37.1	57.1
するめいか				3.1	4.8			7.9	1.1
がんど		0.0	0.5	5.3	0.0	0.0	0.0	5.9	4.2
まだこ				0.1	0.4	1.0	1.7	3.2	4.4
ひらまさ	0.0		0.1	1.6	0.0	0.0	0.4	2.1	1.0
くろばんちよ(メヅナ)			0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	3.3
やなぎばちめ(ウスマル)			0.1	1.7		0.0		1.9	3.6
その他	2.0	0.9	2.2	7.4	1.9	1.8	4.4	20.5	27.0
合計	2.1	27.1	13.4	113.7	7.1	3.0	8.5	174.9	186.1
総計	19.3	133.9	103.4	256.7	50.5	90.3	179.9	834.1	1218.4

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



441号

2019年12月26日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

石川県主要港の水揚状況（期間：12月1日～15日）

- 定置網のブリは前年および過去5年平均を下回って推移しています。
- 底びき網のズワイガニ・コウバコはいずれも前年および過去5年平均を下回って推移しています。
- 定置網ではサバが好調でした。

水産総合センター・トピックス

- 「珍しい魚が獲れました !!」

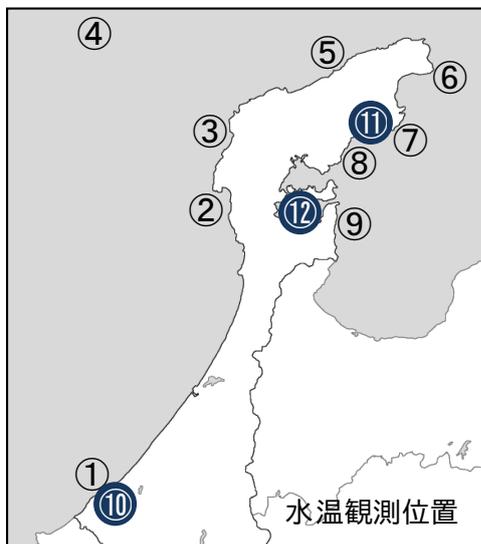
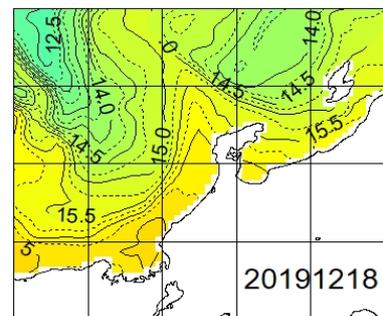
石川県周辺海域の海面水温（期間：12月14日～18日）

■ 沿岸の海面水温 12月18日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は15～16℃台であり、過去5年平均との差は±0.0～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は15.4～16.1℃で、12月上旬から約0.8℃低下しました。前年同時期との差は-1.1～-0.6℃、過去3年平均との差は-0.1～+0.1℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は11.5～15.6℃で、前年同時期との差は-1.0～+0.4℃、過去3年平均との差は+0.0～+0.6℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 12/14～12/18	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
② 富来沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
③ 門前沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
④ 猿山岬沖	メンテナンス中	データなし	データなし
⑤ 曾々木沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
⑥ 小泊沿岸	15.4	-1.1	-0.1
⑦ 小浦沿岸	15.8	-1.0	-0.1
⑧ 鶴川沿岸	メンテナンス中	データなし	データなし
⑨ 岸端沿岸	16.1	-0.6	+0.1

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 12/14～12/18	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	13.9	+0.1	+0.5
⑪ 宇出津港	15.6	-1.0	+0.6
⑫ 石崎港	11.5	+0.4	+0.0

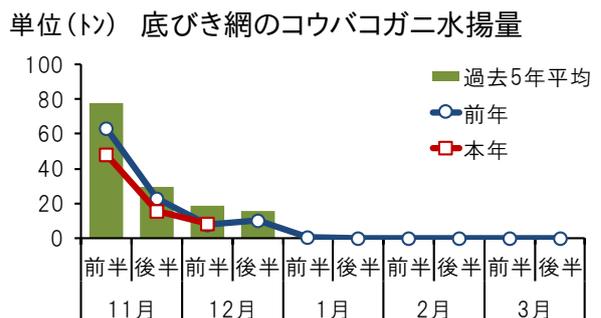
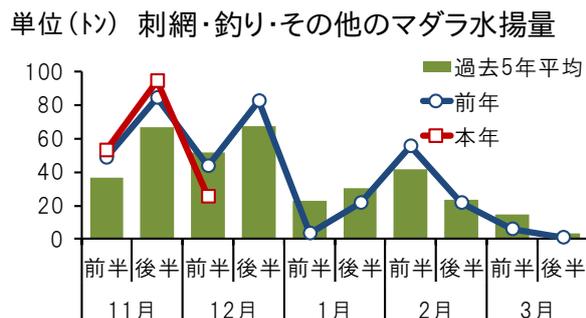
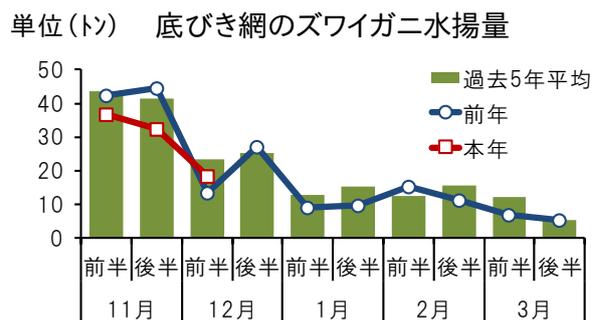
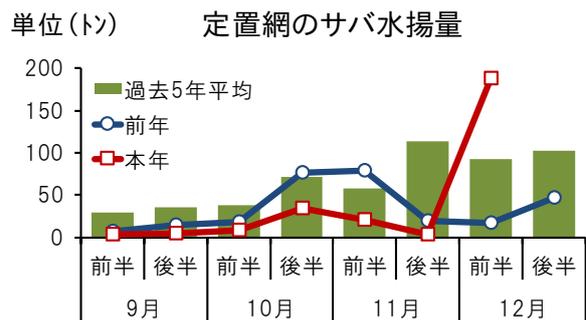
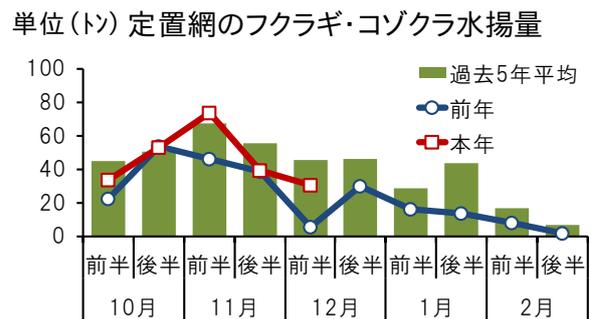
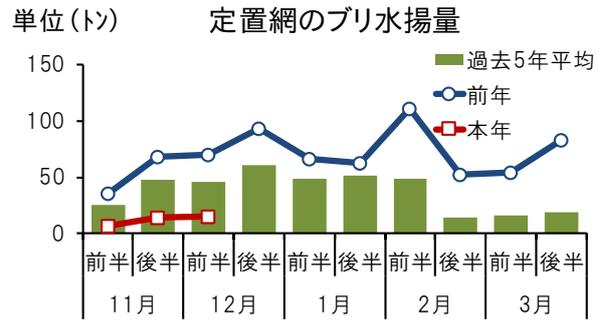
石川県主要港の水揚状況（期間:12月1日～15日）

■ **定置網** カタクチイワシ・サワラ・サゴシ・マアジは前年を上回り、アオリイカは前年並み、ソウダガツオ・シイラ・カマスは前年を下回りました。ブリは15トン水揚げされました。11月前半から12月前半までの累計は36トンで、前年(174トン)および過去5年平均(119トン)を下回りました。フクラギ・コゾクラは宇出津を中心に31トン水揚げされました。10月前半から12月前半までの累計は230トンで、前年(166トン)を上回り、過去5年平均(263トン)を下回りました。サバは宇出津・七尾を中心に188トン水揚げされました。9月前半から12月前半までの累計は262トンで、前年(230トン)を上回り、過去5年平均(436トン)を下回りました。

■ **まき網** ブリは前年を上回りました。

■ **底びき網・ごち網** アマエビ・ニギス・アカガレイは前年を上回りました。ズワイガニは19トン、コウバコは8トン水揚げされました。11月前半から12月前半までの累計はズワイガニが88トン、コウバコが72トンで、ズワイガニは前年(101トン)および過去5年平均(109トン)を下回り、コウバコは前年(94トン)および過去5年平均(126トン)を下回りました。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニ・スルメイカは前年を上回り、マダラは前年を下回りました。マダラは輪島を中心に25トン水揚げされました。11月前半から12月前半までの累計は172トンで、前年(176トン)並みで過去5年平均(155トン)を上回りました。



集計期間 12月1日～12月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さば			0.0		7.1	74.3	106.9	188.3	16.5
かたくちいわし						1.0	122.3	123.4	8.9
さわら・さごし			0.0		7.6	50.0	33.0	90.5	9.2
ふくらぎ・こそくら			3.6		6.0	14.6	6.5	30.6	5.6
まあじ			0.2		5.9	7.5	6.2	19.9	15.4
あおりいか			0.0		2.1	4.2	12.6	19.0	18.8
そうだがつお					1.3	0.9	14.9	17.2	58.3
しいら					0.2	2.5	12.5	15.2	77.4
ぶり			0.0		4.0	8.0	2.8	15.0	70.5
かます					0.4	1.2	8.6	10.2	13.0
かわはぎ(ウマヅラ)			0.1		0.3	1.4	7.3	9.1	13.8
がんど			0.6		2.3	5.3	0.4	8.6	0.6
ひらまさ			0.2		0.4	2.3	4.7	7.5	6.3
その他			1.2		3.5	11.2	25.3	41.2	40.6
合計			5.9		41.3	184.4	364.1	595.7	354.9
まき網									
ぶり	—	65.7				—	0.9	66.6	1.1
がんど	—	4.7	4.9			—	0.0	9.7	7.6
ふくらぎ・こそくら	—	5.0	0.5			—		5.6	190.8
ひらまさ	—	0.0	0.2			—		0.2	0.0
その他	—	0.1				—	0.0	0.1	21.2
合計	—	75.6	5.7			—	0.9	82.1	220.7
底びき網・ごち網									
ずわいがに	2.0	9.6	1.7	3.0	2.2		—	18.5	13.4
あまえび	0.5	0.9	5.9	5.3			—	12.6	3.7
にぎす	0.2		9.7			0.1	—	10.0	3.2
こうばこ(スワカニ♀)	0.2	3.4	0.4	3.4	1.1		—	8.4	8.0
あかがれい	3.3	2.4	1.2	0.6	0.1		—	7.6	4.9
まだら	0.2	0.3	0.3	2.3	1.3	0.0	—	4.4	2.9
ばいがい	0.4	1.7	0.2	0.3	0.2		—	2.8	2.4
みずうお(ノカソウ)	0.2	0.1	0.9	0.3	0.0		—	1.5	0.5
なめたがれい(ヒレグロ)	0.3	0.6	0.3	0.3	0.1		—	1.5	0.6
その他	1.2	1.5	2.0	1.0	0.2	1.9	—	7.8	4.0
合計	8.5	20.5	22.5	16.6	5.1	2.1	—	75.2	43.6
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		42.3	2.7					45.0	27.9
するめいか				18.1	21.4	0.1		39.5	3.9
まだら				24.9	0.0	0.3	0.1	25.3	43.3
まだこ		0.0		0.1	0.3	1.2	1.4	2.9	3.9
くろばんちよ(メヅナ)				0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	0.9
さざえ			0.1	0.0	0.4	0.4	0.5	1.4	1.6
ふぐ類		0.0	1.0	0.1		0.0		1.1	0.6
なまこ				0.0	0.3	0.3	0.5	1.1	0.6
その他	0.4	0.5	0.4	1.7	0.6	2.3	3.1	8.9	14.6
合計	0.4	42.8	4.2	44.8	23.1	4.5	7.0	126.8	97.4
総計	8.9	138.9	38.3	61.3	69.5	190.9	372.0	879.8	716.6

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

珍しい魚が獲れました !!

■ 今年、石川県で採集された珍しい魚を紹介します。

■ まずは能登町沖で採集された「トクビレ」について紹介します。この魚は北海道など北の地域では一般的な魚で、ハッカクやサチなどの地方名で親しまれています。体には鱗がなく、硬い皮で覆われており、オスは写真のような大きく綺麗なヒレを持っています。トクビレの身は白身で脂がのり、刺身や塩焼きなどどんな料理にしても美味しく、高級魚として知られています。石川県では刺網で稀に漁獲されますが、市場には滅多に出回らない魚です。もし売られているのを見かけましたらぜひ食べてみてください。



■ 次に、七尾市沖で採集されたハモの仲間である「スズハモ」です。この魚は写真を見てわかるようにかなり大きく成長することが知られており、写真の個体は2mを超えていました。一般に知られているハモとよく似ていますが、肛門より前の背びれの棘の数が60本以下であることや背骨の数が142個以下であることなどで見分けられます。これだけ大きいので食べ応えがありそうですが、体中に細く硬い骨が散在しており、ハモで馴染みのあるかば焼きでは食べにくかったです。しかし、すり身にして蒲鉾や薩摩揚げにするととても美味しく食べられました。今回の個体は全部食べ切るのに1週間以上かかりました。



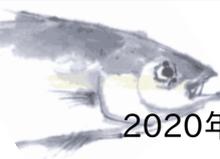
■ 最後に、金沢市沖で採集された「ミナミクルマダイ」です。この魚の日本海側での採捕報告はなく、初めての記録になりました。石川県でよく獲られるチカメキントキと似ていますが、体が全体的に丸いこと、体に横縞があること、ヒレの縁が黒いことで見分けられます。この種は太平洋や南シナ海などで稀にしか見つからず、その生態はよくわかっていません。写真の個体は金沢の底びき網によって漁獲されました。市場で見かけた時はそれほど珍しい魚だと思わず、写真しか撮りませんでした。しかし、その後で貴重な魚だと気づいた時にはすでに見つからず、標本として採集できなかったことを後悔することになりました。



■ ミナミクルマダイのような珍しい魚は毎年見つかっており、石川県では過去に新種も発見されています。もし、初めて見た魚、いつもと模様や形が違う魚を発見されましたら、ぜひ水産総合センターまでご連絡ください。

(川畑 達)

石川県漁海況情報



442号

2020年1月16日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>

携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

スルメイカ稚仔調査の結果(期間:2019年10月~11月)

- 今年春以降に漁獲対象に成長するスルメイカ稚仔の発生量は極めて低水準でした。

地先水温のまとめ(期間:2019年1月~12月)

- 昨年の橋立港・志賀町地先・宇出津新港・石崎港の水温は「平年並み」~「やや高め」でした。

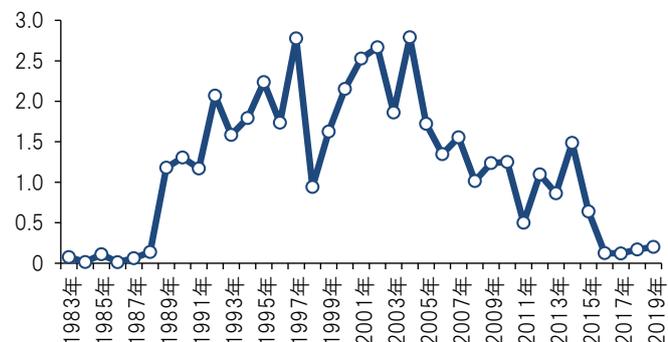
石川県主要港の水揚状況(期間:12月16日~31日)

- 定置網ではサバなどが好調でした。

スルメイカ稚仔調査の結果(期間:2019年10月~11月)

■ 日本海に分布するスルメイカは主に秋頃に生まれ、翌年の春以降に漁獲されます。水産研究教育機構・日本海区水産研究所は孵化直後のスルメイカ稚仔(外套長1~3mm程度)の分布状況を調べるため、毎年秋に山陰から九州北西部の沿岸でプランクトンネットによる採集調査を行っており、昨年10月から11月には合計79点で調査が行われました。

単位(尾/網) 調査点当たり稚仔採集個体数



■ 調査点当たりの稚仔採集個体数は0.20尾(暫定値)と前年(0.17尾)並みに少なく、2016年以降、低水準が続いています。近年、スルメイカの資源水準は低下する傾向にあり、稚仔分布量も低水準であることから、今年春以降の漁模様が心配されます。

地先水温のまとめ(期間:2019年1月~12月)

■ 加賀市橋立港、志賀町赤住地先、能登町宇出津港、七尾市石崎港の昨年の月別平均水温と平年差は以下のとおりでした。水温の高低をその発生頻度で評価しており、2年に1回程度のを「平年並み」、4年に1回程度のを「やや~」、10年に1回程度のを「かなり~」としています。

■ 冬季(1~3月) 全体の平均水温は11.0℃、平年差は+0.9℃であり、「やや高め」でした。外浦側では「平年並み」~「かなり高め」、内浦側では「かなり高め」となりました。1~2月には気温が高めであったこともあり、水温も高めに推移しました。

■ 春季(4～6月) 全体の平均水温は17.5℃、平年差は+1.0℃であり、「やや高め」でした。外浦側・内浦側とも「やや高め」～「かなり高め」でした。5月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、気温がかなり高くなったこともあり、5月の水温は全域でかなり高めとなりました。

■ 夏季(7～9月) 全体の平均水温は26.2℃、平年差は+0.5℃であり、「平年並み」でした。外浦側・内浦側とも「平年並み」となりました。

■ 秋季(10～12月) 全体の平均水温は17.7℃、平年差は+0.5℃であり、「平年並み」でした。外浦側では「平年並み」～「やや高め」、内浦側では「平年並み」～「やや高め」となりました。

2019年の地先水温と平年差

	橋立港 (℃)			志賀町地先 (℃)			宇出津新港 (℃)			石崎港 (℃)		
	平年値	2019年	平年差	平年値	2019年	平年差	平年値	2019年	平年差	平年値	2019年	平年差
1月	10.9	11.6	0.8	10.5	10.3	-0.2	12.3	13.8	1.5	8.7	10.5	1.8
2月	9.8	10.8	1.0	9.3	9.4	0.1	10.7	11.9	1.3	8.5	8.9	0.5
3月	10.6	11.8	1.2	9.9	10.2	0.3	10.3	11.4	1.1	9.9	11.2	1.3
4月	13.1	14.0	0.9	12.2	12.4	0.2	11.7	12.2	0.5	13.3	13.7	0.4
5月	16.9	18.7	1.8	15.9	16.6	0.7	15.4	16.0	0.6	17.2	19.2	2.0
6月	20.7	22.1	1.4	19.6	20.8	1.2	19.8	20.5	0.7	21.9	23.1	1.2
7月	25.1	25.1	-0.1	24.0	24.0	0.0	23.7	23.7	0.1	25.3	25.5	0.3
8月	27.5	28.3	0.8	26.4	27.3	0.8	27.0	27.8	0.8	28.4	29.7	1.3
9月	25.1	26.0	1.0	24.4	24.7	0.4	25.4	25.7	0.3	25.6	26.5	0.9
10月	21.2	21.6	0.4	20.6	20.8	0.1	22.0	22.4	0.4	20.8	21.5	0.6
11月	17.2	17.7	0.5	16.8	17.5	0.7	18.5	18.9	0.4	15.6	16.3	0.7
12月	13.6	14.3	0.7	13.3	13.5	0.2	15.2	15.9	0.7	11.4	11.8	0.5

平年値：過去30年の平均水温（志賀町については過去29年の平均水温）

石川県周辺海域の海面水温（期間：1月4日～8日）

■ 沿岸の海面水温 1月8日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は13～14℃台であり、過去5年平均との差は±0.0～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は14.2～14.9℃で、12月中旬から約1.2℃低下しました。前年同時期との差は-0.3～+0.2℃、過去3年平均との差は+0.3～+0.7℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は10.4～14.2℃で、前年同時期との差は-0.6～+0.1℃、過去3年平均との差は-0.4～+0.8℃でした。

石川県主要港の水揚げ状況（期間：12月16日～31日）

■ 定置網 サバ・フクラギ・コゾクラ・サワラ・サゴシ・スルメイカ・マアジは前年を上回り、ブリは前年並み、カタクチイワシ・カワハギは前年を下回りました。

■ まき網 ブリは前年を上回り、フクラギ・コゾクラは前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 アマエビ・ズワイガニ・アカガレイ・ノトエビ・マダラは前年を上回り、コウバコ・バイガイは前年並み、ニギスは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 スルメイカは前年を上回り、マダラ・ベニズワイガニは前年並み、ガンドは前年を下回りました。

集計期間 12月16日～12月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さば					6.4	342.4	104.6	453.4	46.4
ふくらぎ・こそくら			8.2		7.6	15.8	67.5	99.1	30.0
ぶり			0.0		5.1	32.9	40.9	79.0	93.7
さわら・さごし			0.0		14.6	37.1	25.5	77.1	24.7
かたくちいわし					0.3	10.9	33.2	44.4	293.5
するめいか					3.0	4.1	28.7	35.9	3.1
まあじ			0.9		2.1	4.6	13.6	21.2	17.0
しいら					0.1	1.6	14.2	15.9	75.9
かわはぎ(ウマツウ)			0.1		0.9	4.7	10.0	15.7	20.5
そうだがつお					0.9	6.8	2.6	10.3	21.4
すずき			1.2		1.1	2.4	5.2	10.0	9.0
ひらまさ			0.0		0.4	2.6	4.7	7.7	7.0
あおりいか					1.1	1.5	4.3	6.8	11.3
その他			1.2		9.1	17.2	19.0	46.5	44.2
合計			11.7		52.7	484.6	374.0	923.1	697.9
まき網									
ぶり	—	19.9				—	3.5	23.3	6.3
がんど	—	0.1	2.7			—	0.1	2.9	
ふくらぎ・こそくら	—	2.3				—		2.3	138.5
ひらまさ	—	0.0				—		0.0	
その他	—	0.0				—		0.0	0.0
合計	—	22.3	2.7			—	3.5	28.6	144.8
底びき網・ごち網									
あまえび	1.6	2.3	31.3	5.9	0.0		—	41.2	17.3
ずわいがに	6.5	11.7	2.2	5.2	7.3		—	32.9	27.1
あかがれい	4.8	8.5	2.2	1.4	0.3		—	17.1	8.9
のとえび(トゲザコヒ他)	0.5	2.4	11.5	0.2	0.2		—	14.9	3.3
まだら	0.2	1.2	0.9	9.2	1.1		—	12.6	7.1
にぎす	0.4		9.7			0.7	—	10.8	15.7
こうばこ(スウイカニ♀)	0.5	2.7	0.7	3.2	3.2		—	10.2	10.3
ばいがい	0.9	2.4	0.3	0.8	0.7		—	5.1	5.2
みずうお(ノゲンゲ)	0.8	0.5	1.6	0.4	0.0		—	3.2	0.6
その他	4.8	2.3	2.8	2.8	0.7	2.8	—	16.2	10.2
合計	21.0	34.0	63.1	29.0	13.6	3.5	—	164.2	105.8
刺網・釣り・その他									
まだら			0.2	72.3	0.3	1.3	0.4	74.4	82.7
べにずわいがに		44.3	15.5					59.8	51.2
するめいか		1.0	3.8	14.6	12.4	1.3	0.0	33.1	0.5
ふぐ類		0.0	2.8	2.7	0.2	0.0		5.6	2.1
まだこ		0.0		0.0	0.5	1.6	1.8	4.0	4.6
なまこ			0.0		1.0	1.6	1.4	4.0	3.1
がんど			0.1	2.3	0.4	0.2	0.0	3.0	7.7
さば			0.2	0.1		0.0	2.1	2.3	1.6
その他	0.5	1.2	2.8	6.5	2.2	6.8	5.7	25.7	20.1
合計	0.5	46.5	25.3	98.5	17.0	12.9	11.4	212.2	173.6
総計	21.5	102.8	102.9	127.6	83.3	501.0	388.9	1328.0	1122.0

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



443号

2020年1月31日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
 ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
 携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

定置網の年間水揚状況のまとめ（期間:2019年1月～12月）

- 昨年の水揚重量および水揚金額は前年・過去10年平均を下回りました。
- 産地価格指数は前年を下回り、過去10年平均を上回りました。

石川県主要港の水揚状況（期間:1月1日～15日）

- 定置網ではサバが好調でした。

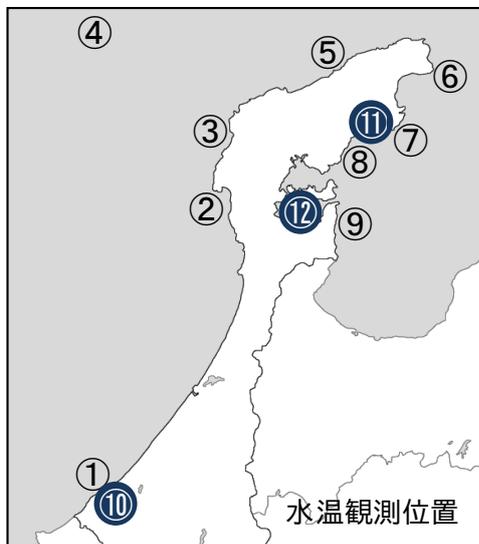
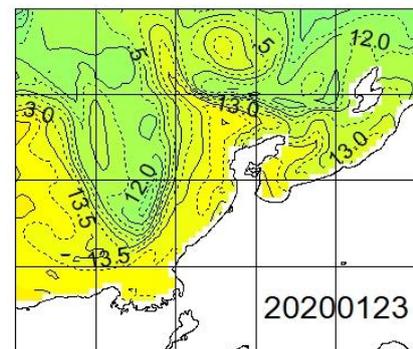
石川県周辺海域の水温（期間:1月19日～23日）

■ 沿岸の海面水温 1月23日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は13℃台で、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は13.3～13.5℃で、1月上旬から約2.3℃低下しました。前年同時期との差は-0.4～+0.1℃、過去3年平均との差は+0.5～+0.7℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は10.6～13.5℃で、前年同時期との差は+0.0～+1.2℃、過去3年平均との差は+0.8～+1.3℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 1/19～1/23	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
② 富来沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
③ 門前沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
④ 猿山岬沖	メンテナンス中	データなし	データなし
⑤ 首々木沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
⑥ 小泊沿岸	13.3	+0.1	+0.7
⑦ 小浦沿岸	13.5	+0.1	+0.7
⑧ 鶴川沿岸	メンテナンス中	データなし	データなし
⑨ 岸端沿岸	13.3	-0.4	+0.5

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 1/19～1/23	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	12.5	+1.2	+1.3
⑪ 宇出津港	13.5	+0.0	+0.8
⑫ 石崎港	10.6	+0.2	+0.8

定置網の年間水揚状況のまとめ（期間：2019年1月～12月）

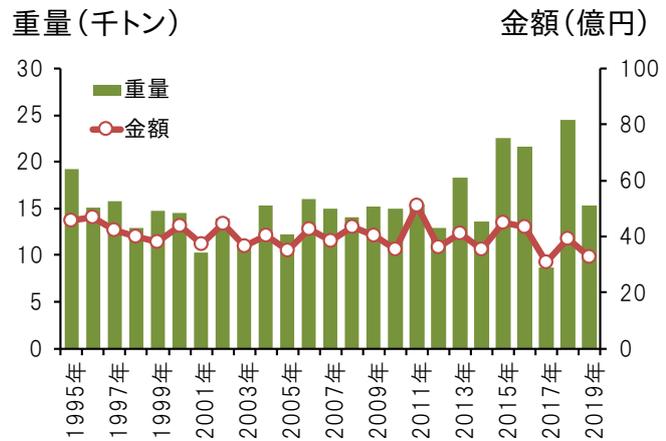
■ 2019年の県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港・七尾地区）の定置網による水揚げの概要は以下のとおりです。

■ 水揚重量 2019年の水揚重量は15,308トンであり、前年（24,443トン）の63%、過去10年平均（16,794トン）の91%でした。過去10年平均と比べてブリ・マイワシなどが多く、マアジ・スルメイカ・フクラギ・コゾクラなどが少なめでした。マイワシの水揚重量が過去10年平均より多かったものの前年から大きく減少したため、全体の水揚量も減少しました。

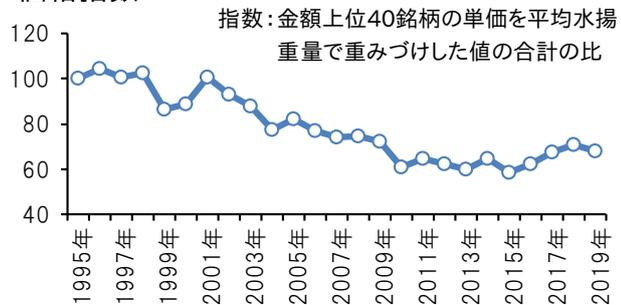
■ 水揚金額 2019年の水揚金額は32.7億円であり、前年（39.1億円）の84%、過去10年平均（39.8億円）の82%でした。マアジなど多くの主要魚種の水揚量が少なかったため、過去10年平均を下回りました。

■ 産地価格 水揚金額の多い上位40魚種について、1995年を100とする産地価格指数を計算したところ、2019年の指数は67.8で、前年（70.6）を下回り、過去10年平均（64.3）を上回りました。サワラ・サゴシ・マイワシなどの単価が上昇したものの、水揚重量の多いブリ・マアジなど多くの主要魚種で単価が低下したことが、価格指数の低下に影響しました。

定置網の水揚重量・金額・価格指数



価格指数



石川県主要港の水揚状況（期間：1月1日～15日）

■ 定置網 サバ・スルメイカ・フクラギ・コゾクラ・サワラ・サゴシ・カワハギは前年を上回り、カタクチイワシは前年並み、ブリ・マアジ・スズキは前年を下回りました。サバは243トン水揚げされました。10月前半から1月前半の累計は967トンで、前年（282トン）および過去5年平均（525トン）を上回りました。

■ まき網 ブリ主体の水揚げで、前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 ノエビは前年を上回り、アカガレイは前年並み、アマエビ・ニギスは前年を下回りました。ズワイガニは9トン水揚げされました。11月前半から1月前半の累計は130トンで、前年（137トン）および過去5年平均（147トン）並みでした。

■ 刺網・釣り・その他 アマエビ・スルメイカは前年並み、ベニズワイガニ・マダコは前年を下回りました。マダラは2トン水揚げされました。11月前半から1月前半の累計は249トンで、前年（262トン）および過去5年平均（245トン）並みでした。

集計期間 1月1日～1月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
さば					112.2	103.1	27.4	242.7	26.4
かたくちいわし					15.8	4.8	101.0	121.6	143.1
するめいか					3.4	5.4	33.0	41.8	9.3
ぶり			0.0		0.4	15.6	18.1	34.1	66.4
ふくらぎ・こそくら			0.5		4.0	4.2	21.6	30.2	16.2
さわら・さごし			0.0		6.9	3.6	7.2	17.7	7.6
まあじ			0.2		2.2	3.7	9.8	15.9	23.2
かわはぎ(ウマグラ)			0.0		0.5	4.8	6.9	12.3	10.1
すずき			1.4		0.4	2.7	5.4	10.0	15.2
ひらまさ			0.0		0.5	0.5	1.8	2.7	6.6
まだい			0.0		0.9	0.6	0.9	2.5	6.5
めじ(クマガロ)					0.5	1.0	0.4	2.0	1.5
あおりいか					0.1	0.6	1.1	1.8	5.5
がんど			0.2		0.4	0.3	0.6	1.5	0.3
その他			0.4		2.6	3.6	8.4	15.0	83.7
合計			2.8		150.8	154.5	243.6	551.7	421.5
まき網									
ぶり	—	5.7				—		5.7	
がんど	—	0.0				—		0.0	
その他	—					—			471.0
合計	—	5.7				—		5.7	471.0
底びき網・ごち網									
あかがれい	13.0	4.0	2.5		0.1		—	19.6	19.6
あまえび	0.9	2.7	13.6		0.0		—	17.2	56.5
にぎす	0.1	4.1	5.9				—	10.0	21.4
ずわいがに	0.8	4.4	0.4		3.1		—	8.8	9.2
のとえび(トゲザエビ他)	0.1	2.9	3.2		0.1		—	6.3	3.1
みずうお(ノゲンゲ)	0.4	0.8	1.5		0.0		—	2.7	2.2
まだら	0.8	0.5	0.2		0.9	0.1	—	2.6	4.7
ばいがい	0.7	1.0	0.1		0.3		—	2.1	2.1
そうはち	1.0	0.4			0.0		—	1.5	1.6
なめたがれい(ヒクダ)	0.7	0.3	0.1		0.1		—	1.2	1.2
その他	2.4	1.9	2.2		0.7	0.4	—	7.6	8.3
合計	20.9	23.1	29.7		5.4	0.5	—	79.5	129.8
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		28.5						28.5	39.9
あまえび			3.0					3.0	2.8
まだこ					0.4	1.1	1.3	2.7	4.4
するめいか			1.7			0.7	0.0	2.5	2.6
まだら			0.2		0.4	0.8	0.4	1.8	3.3
なまこ			0.0		0.1	0.8	0.7	1.7	5.5
あかがれい			0.6		0.1	0.3	0.1	1.2	0.7
ふぐ類			0.9			0.0	0.0	0.9	2.1
その他		0.1	0.9		1.1	7.7	3.1	13.0	18.7
合計		28.7	7.4		2.1	11.6	5.6	55.4	79.9
総計	20.9	57.5	39.9	0.0	158.3	166.6	249.3	692.4	1102.2

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



444号
2020年2月14日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

底びき網の年間水揚状況のまとめ（期間:2019年1月～12月）

- 昨年の水揚重量は過去10年平均を下回り、水揚金額は過去10年平均並みでした。
- 産地価格指数は前年並みで、過去10年平均を上回りました。

石川県主要港の水揚状況（期間:1月16日～31日）

- 定置網では七尾地区を主体にカタクチイワシが好調でした。

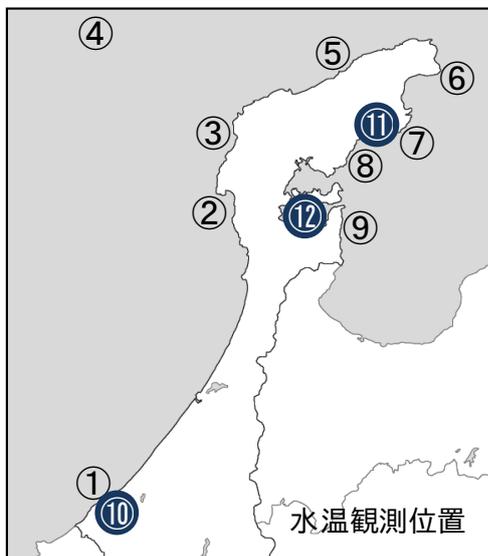
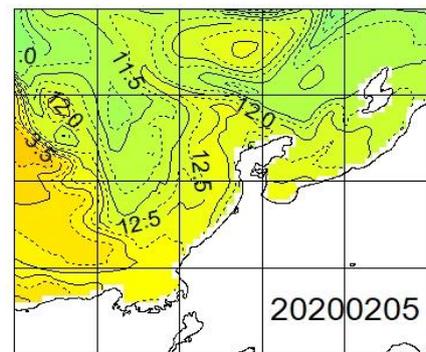
石川県周辺海域の水温（期間:2月1日～5日）

■ 沿岸の海面水温 2月5日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は12℃台で、過去5年平均との差は+0.0～+0.5℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は12.7～12.9℃で、1月下旬から約0.6℃低下しました。前年同時期との差は+0.2～+0.4℃、過去3年平均との差は+0.9～+1.1℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は10.6～13.1℃で、前年同時期との差は+0.6～+1.1℃、過去3年平均との差は+1.4～+1.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 2/1～2/5	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
② 富来沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
③ 門前沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
④ 猿山岬沖	メンテナンス中	データなし	データなし
⑤ 曾々木沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
⑥ 小泊沿岸	メンテナンス中	データなし	データなし
⑦ 小浦沿岸	12.9	+0.3	+1.1
⑧ 鶴川沿岸	12.8	+0.4	+1.0
⑨ 岸端沿岸	12.7	+0.2	+0.9

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 2/1～2/5	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	11.6	+0.8	+1.4
⑪ 宇出津港	13.1	+0.6	+1.7
⑫ 石崎港	10.6	+1.1	+1.6

底びき網の年間水揚状況のまとめ（期間:2019年1月～12月）

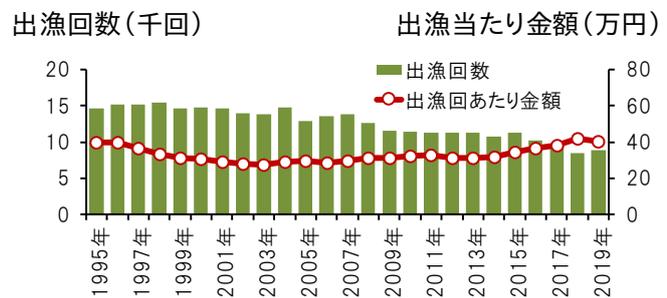
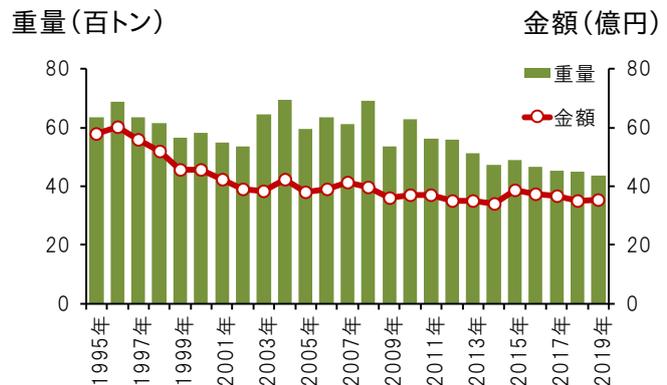
■ 2019年の県内主要港（橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・宇出津港）の沖合底びき網と小型底びき網による水揚げの概要は以下のとおりです。

■ 水揚重量と水揚金額 2019年の水揚重量は4,362トンで、前年（4,499トン）の97%、過去10年平均（5,132トン）の85%でした。過去10年平均に比べて、アマエビが多く、ズワイガニ・アカガレイ・コウバコなどが少なくなりました。2019年の水揚金額は35.4億円であり、前年（35.2億円）の101%、過去10年平均（36.2億円）の98%でした。過去10年平均に比べて、アマエビが多く、アカガレイ・ニギス・ハタハタなどが少なくなりました。

■ 出漁回数 2019年の延べ出漁回数は8,818回で、前年の105%、過去10年平均の82%でした。また、2019年の1回出漁当たりの水揚金額は40.1万円で、前年の96%、過去10年平均の118%でした。

■ 産地価格 水揚金額の多い上位40魚種について、1995年を100とする産地価格指数を計算したところ、2019年の指数は88.2で、前年（83.5）並みであり、過去10年平均（74.3）を上回りました。過去10年平均に比べて、ニギスなどの単価が低下したものの、ズワイガニ・アカガレイ・コウバコなどの単価は上昇しました。

底びき網の水揚重量・金額・価格指数



石川県主要港の水揚状況（期間:1月16日～31日）

■ 定置網 カタクチイワシ・ソウダガツオ・フクラギ・コゾクラ・マアジは前年を上回り、スルメイカ・サバは前年並み、ブリは前年を下回りました。カワハギは60トン水揚げされました。10月～1月の合計は124トンで、前年（102トン）を上回り、過去5年平均（203トン）を下回りました。

■ まき網 マアジは前年を上回り、サバは前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 アマエビ・ニギス・ズワイガニ・ノトエビは前年を上回り、アカガレイ・マダラは前年並みでした。

■ 刺網・釣り・その他 マダラ・ナマコは前年を上回り、ベニズワイガニは前年並み、アマエビは前年を下回りました。

集計期間 1月16日～1月31日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
かたくちいわし					1.4	84.3	539.6	625.3	253.1
かわはぎ(ウマヅラ)			0.0		0.7	21.5	37.7	59.9	15.9
するめいか					0.7	2.0	53.2	55.9	62.4
さば					30.6	16.6	0.4	47.6	57.1
そうだがつお					0.7	13.7	25.8	40.2	7.3
ぶり			0.1		0.5	21.6	9.2	31.5	62.4
ふくらぎ・こそくら			0.4		5.2	5.5	17.2	28.2	13.5
まあじ			0.1		2.3	5.0	13.3	20.8	17.0
がんど			0.3		5.3	1.7	0.7	8.0	0.6
さわら・さごし			0.0		1.1	2.5	3.7	7.3	2.8
まいわし					0.1	1.2	5.2	6.4	6.0
すずき			1.5		0.3	1.6	2.6	5.9	6.4
めじ(ウマガロ)					0.5	2.4	1.8	4.7	1.0
その他			0.8		2.0	7.1	14.8	24.7	108.0
合計			3.2		51.4	186.7	725.1	966.4	613.4
まき網									
まあじ	—				66.3	—		66.3	1.5
ふくらぎ・こそくら	—	46.9				—		46.9	
さば	—	7.3			5.9	—		13.3	93.4
ぶり	—				10.9	—		10.9	
その他	—	1.0			1.5	—		2.5	0.1
合計	—	55.2			84.6	—		139.8	95.0
底びき網・ごち網									
あまえび	1.6	5.5	27.5	7.3	0.0	—		41.8	27.5
あかがれい	21.5	5.8	2.4	11.4	0.1	—		41.1	39.8
にぎす	0.2	6.9	18.5	0.4		—		26.0	16.8
まだら	5.3	2.5	1.1	12.2	0.4	—		21.5	19.8
ずわいがに	1.1	4.8	0.5	4.1	1.9	—		12.4	9.8
のとえび(トガサエビ他)	0.6	5.2	5.1	0.1	0.1	—		11.0	6.3
みずうお(ノケソウ)	0.9	2.8	0.7	0.2		—		4.6	3.4
くちぼそがれい(マガレイ)	0.6	0.2	0.6	3.2		—		4.5	0.2
ふぐ類	0.0	0.1	1.5	2.8		—		4.4	0.4
その他	10.8	4.8	2.8	14.6	0.3	1.1	—	34.4	16.3
合計	42.5	38.5	60.5	56.3	2.8	1.1	—	201.7	140.4
刺網・釣り・その他									
まだら			0.2	32.0	2.4	5.2	1.0	40.8	21.8
べにずわいがに		37.3						37.3	35.0
なまこ			0.0	0.0	0.9	6.7	1.3	8.9	5.9
するめいか					8.6	0.0	0.0	8.6	1.7
あまえび			8.2			0.0		8.2	13.1
かわはぎ(ウマヅラ)		0.0		0.1	0.0	5.8	0.0	5.9	3.7
がんど				3.5	0.0	0.1	0.0	3.6	0.6
まだこ				0.2	0.4	1.0	1.2	2.7	3.3
その他		0.2	2.5	7.3	1.7	11.8	6.9	30.3	21.2
合計		37.6	11.0	43.0	13.9	30.6	10.3	146.4	106.4
総計	42.5	131.3	74.8	99.3	152.7	218.4	735.4	1454.4	955.2

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



445号

2020年2月28日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
 ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
 携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

石川県主要港の水揚状況（期間:2月1日～15日）

- 定置網ではカタクチイワシが好調でした。

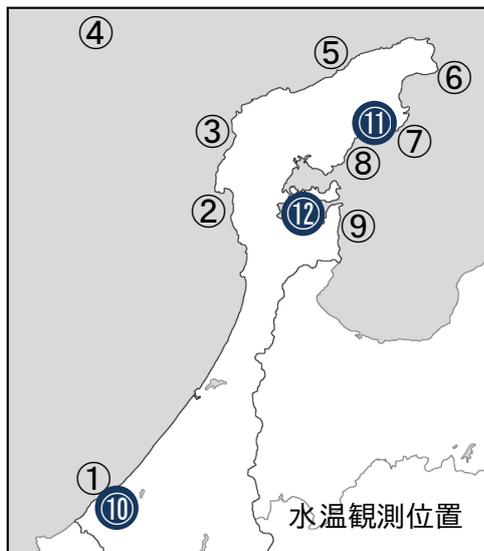
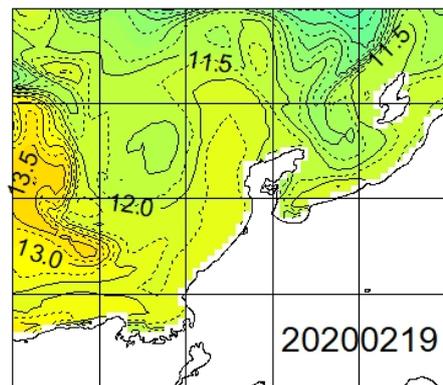
石川県周辺海域の水温（期間:2月15日～19日）

■ 沿岸の海面水温 2月19日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は11～12℃台であり、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は11.8～12.1℃で、2月上旬から約0.9℃低下しました。前年同時期との差は+0.2～+0.9℃、過去3年平均との差は+0.8～+1.2℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は10.4～12.2℃で、前年同時期との差は+0.5～+1.9℃、過去3年平均との差は+1.4～+1.6℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 2/15～2/19	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
② 富来沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
③ 門前沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
④ 猿山岬沖	メンテナンス中	データなし	データなし
⑤ 菅々木沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
⑥ 小泊沿岸	メンテナンス中	データなし	データなし
⑦ 小浦沿岸	11.8	+0.2	+0.8
⑧ 鶴川沿岸	11.9	+0.4	+0.9
⑨ 岸端沿岸	12.1	+0.9	+1.2

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 2/15～2/19	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	11.5	+1.3	+1.6
⑪ 宇出津港	12.2	+0.5	+1.4
⑫ 石崎港	10.4	+1.9	+1.6

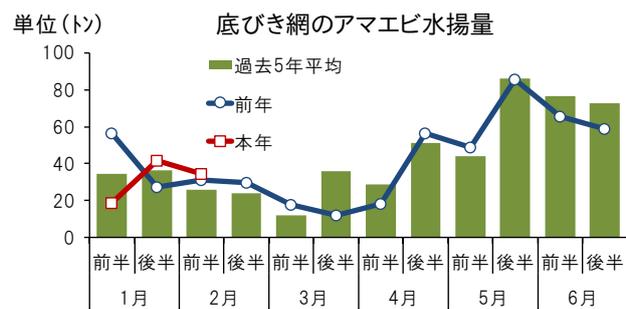
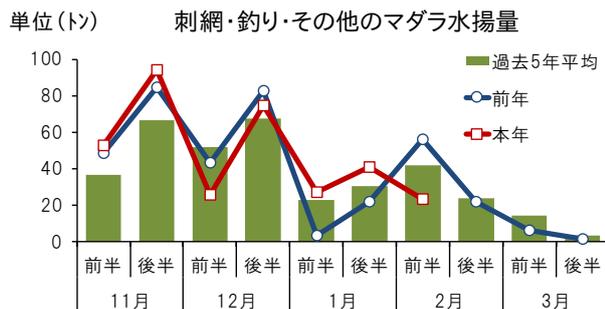
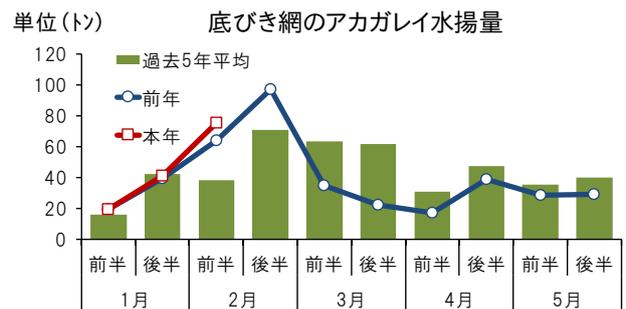
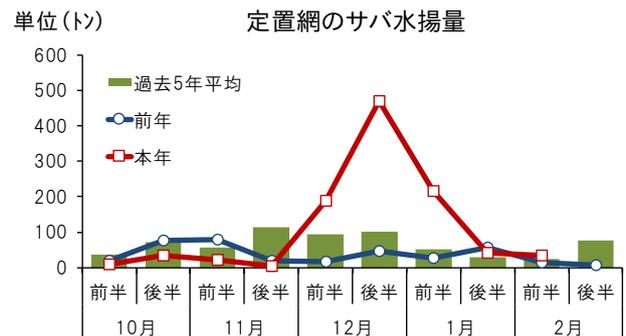
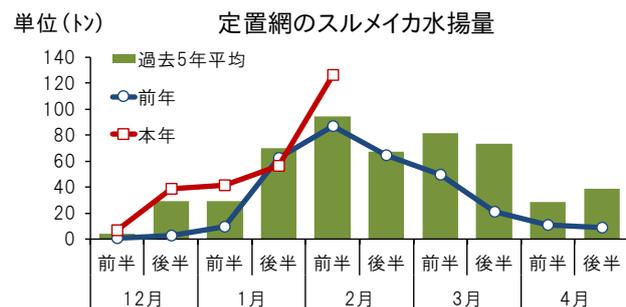
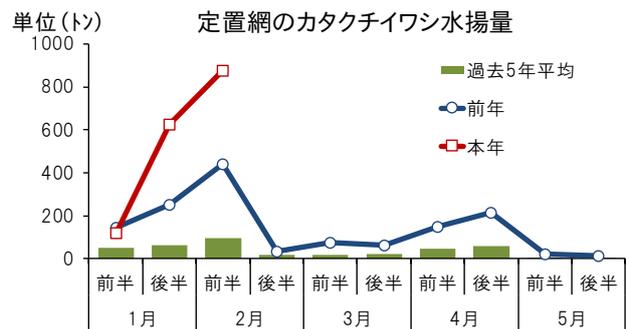
石川県主要港の水揚状況（期間:2月1日～15日）

■ **定置網** マアジ・フクラギ・コゾクラは前年を上回り、カワハギは前年並み、マイワシ・ブリ・ウルメイワシ・マダラは前年を下回りました。カタクチイワシは875トン水揚げされました。1月前半から2月前半までの累計は1,622トンで、前年(839トン)および過去5年平均(210トン)を上回りました。スルメイカは126トン水揚げされました。12月前半から2月前半までの累計は269トンで、前年(163トン)および過去5年平均(228トン)を上回りました。サバは34トン水揚げされました。10月前半から2月前半までの累計は1,015トンで、前年(351トン)および過去5年平均(577トン)を上回りました。

■ **まき網** マアジ・カマス主体の水揚げで、前年を下回りました。

■ **底びき網・ごち網** マダラ・ニギス・ソウハチは前年を上回り、ズワイガニ・ハタハタは前年を下回りました。アカガレイは75トン水揚げされました。1月前半から2月前半までの累計は136トンで、前年(123トン)並みであり、過去5年平均(97トン)を上回りました。アマエビは34トン水揚げされました。1月前半から2月前半までの累計は95トンで、前年(115トン)および過去5年平均(97トン)並みでした。

■ **刺網・釣り・その他** ベニズワイガニは前年並み、ガンドは前年を下回りました。マダラは23トン水揚げされました。11月前半から2月前半までの累計は337トンで、前年(340トン)および過去5年平均(317トン)並みでした。



集計期間 2月1日～2月15日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲 地区	宇出津	七尾 地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
かたくちいわし					68.6	159.5	647.0	875.2	442.3
するめいか					2.5	6.1	117.6	126.2	87.0
さば			0.0		7.5	9.9	16.9	34.4	13.2
まいわし					11.7	3.3	5.4	20.4	32.8
かわはぎ(ウマグラ)			0.0		0.8	6.2	12.9	19.9	18.5
まあじ			0.6		5.9	4.0	8.3	18.8	13.1
ぶり					0.2	10.8	6.9	17.9	111.3
ふくらぎ・こそくら			0.0		8.8	1.9	0.4	11.1	7.5
さわら・さごし			0.0		0.9	3.6	4.7	9.2	3.5
うるめいわし					1.3	0.8	3.5	5.5	13.9
まだら			0.2		0.5	2.5	2.3	5.5	10.7
やりいか			0.0		0.3	1.2	2.3	3.8	8.7
あおりいか					0.2	0.6	2.1	2.9	0.7
その他			0.8		38.3	4.5	9.8	53.3	46.7
合計			1.7		147.4	214.7	840.1	1203.9	810.1
まき網									
まあじ	—	0.0			72.6	—		72.6	5.8
かます	—	11.4			8.1	—	16.6	36.1	
さば	—				8.2	—		8.2	63.4
するめいか	—				0.2	—		0.2	0.1
その他	—	0.0			0.2	—	0.0	0.2	102.4
合計	—	11.4			89.3	—	16.6	117.3	171.7
底びき網・ごち網									
あかがれい	42.0	12.0	3.0	18.3	0.1		—	75.4	64.0
あまえび	0.1	7.2	22.7	4.3	0.0		—	34.3	31.3
まだら	5.4	3.0	1.7	14.8	0.6		—	25.5	15.8
にぎす	0.7	10.5	8.5	0.4			—	20.2	14.9
そうはち	2.3	2.1		10.2	0.0		—	14.6	3.7
ずわいがに	0.2	7.2	0.3	2.2	1.3		—	11.3	15.2
ふぐ類	0.0	0.1	2.8	3.6			—	6.5	7.6
はたはた	2.3	1.2	1.2	0.6	0.1	0.2	—	5.5	8.6
あんこう	0.4	0.2	0.5	2.6			—	3.7	3.3
その他	5.8	7.1	4.6	13.4	0.4	0.3	—	31.6	35.2
合計	59.3	50.6	45.3	70.4	2.5	0.5	—	228.5	199.7
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		36.7						36.7	45.2
まだら	0.0		0.1	2.2	5.4	12.6	2.7	23.1	55.8
がんど				13.1	0.0	0.0	0.0	13.1	60.5
あまえび			8.1				0.0	8.1	20.1
かわはぎ(ウマグラ)	0.0	0.0		0.0	0.0	5.0	0.3	5.4	6.9
ぶり				2.5	0.0	0.0	0.0	2.5	7.7
なまこ					0.4	0.6	1.3	2.3	2.7
するめいか			0.2	1.1		0.8	0.1	2.1	5.4
その他	0.7	0.8	2.8	4.2	2.5	7.2	5.3	23.6	43.5
合計	0.8	37.6	11.3	23.0	8.3	26.3	9.7	116.9	247.9
総計	60.0	99.6	58.2	93.4	247.6	241.5	866.4	1666.7	1429.4

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報



446号
2020年3月13日発行

石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：1月16日～18日）

- 2018年生まれの2歳エビはかなり多く採集されました。
- 現在の好漁が今後も継続することが見込まれます。

サヨリの漁況の見通し（期間：3月～5月）

- 船びき網等によるサヨリの水揚量は、近年低水準で推移しています。
- 主要港におけるサヨリの水揚量は前年並みで過去5年平均を下回る見込みです。

調査船白山丸のアマエビ調査結果（期間：1月16日～18日）

■ 調査船白山丸は1月16～18日に金沢沖の水深375～500mの海域でアマエビ（標準和名：ホッコクアカエビ）の分布量調査を行いました。この調査は冬期と夏期の年2回実施しており、金属枠に袋網をつけた漁具を30分間曳網し、今後漁獲対象になる小型エビ（若齢エビ）の資源量を調べています。

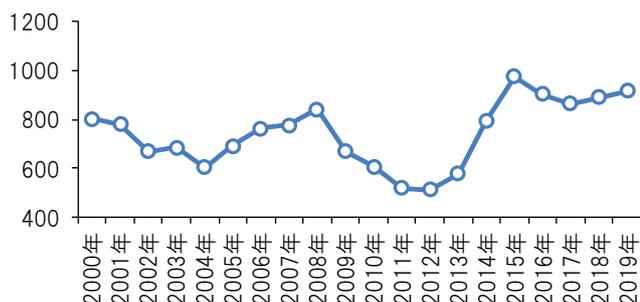
■ 2歳エビ（2018年生まれ）は1曳網当たり292尾採集されました。この採集尾数は資源量が多かった2010年生まれには及ばないものの、近年の豊漁を支えている2014年生まれよりも多く、2018年生まれは卓越年級群である可能性が高いと考えられます。

■ 今年のアマエビの県内漁獲量は、豊漁であった2015年よりは減少したものの、高水準を維持しています。近年の高水準の漁獲は卓越年級群である2014年生まれに支えられており、今後も継続すると考えられます。

冬期調査における年齢別アマエビ採集尾数（尾/網）

調査年	2歳	3歳	4歳
2010年	99	8	90
2011年	82	134	42
2012年	384	64	75
2013年	183	256	81
2014年	95	248	265
2015年	88	225	247
2016年	219	16	87
2017年	77	226	72
2018年	10	68	121
2019年	115	65	76
2020年	292	71	87

単位(トン) 主要10港のアマエビ漁獲量



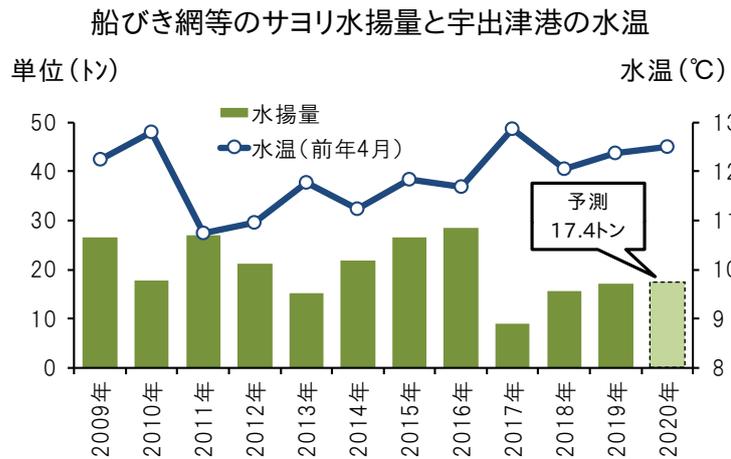
サヨリの漁況の見通し（期間:3月～5月）

■ 石川県では、季節を代表する水産物を「石川の四季のさかな」とし、春の魚としてサヨリを選定しています。サヨリは主に2隻の船で網を曳く船びき網により漁獲され、主漁期は3～5月です。

■ 県内主要港の3～5月の船びき網等によるサヨリの水揚量は、1998年には163トンありましたが、その後減少し、2010年以降は10～30トン程度で推移しています。

この長期的な水揚量の減少の主な理由としては、操業隻数の減少があげられます。一方、近年の水揚量の変動と沿岸水温（宇出津港内の水温）との関係を調べたところ、前年の4月中旬～下旬の沿岸水温が低いほど、3～5月の水揚量が多い傾向がみられました。

■ 昨年4月中旬～下旬の宇出津港の平均水温は12.5℃でした。この値を水温と水揚量の関係式に当てはめると、今年3～5月の主要港の船びき網等による水揚量は17.4トンと推定され、前年（17.2トン）並みで過去5年平均（19.4トン）を下回ると予想されます。



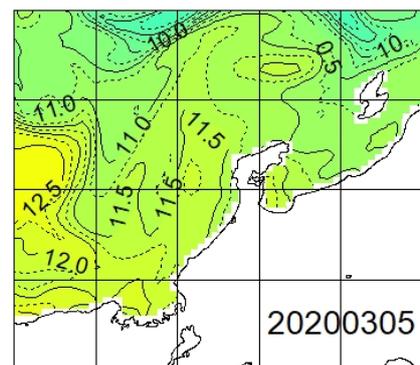
石川県周辺海域の水温（期間:3月1日～5日）

■ 沿岸の海面水温 3月5日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は10～11℃台であり、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は11.3～11.5℃で、2月中旬から約0.6℃低下しました。前年同時期との差は+0.0～+0.5℃、過去3年平均との差は+0.8～+1.0℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は10.6～11.8℃で、前年同時期との差は-0.1～+0.4℃、過去3年平均との差は+0.5～+1.3℃でした。

石川県周辺の海面水温



石川県主要港の水揚状況（期間:2月16日～29日）

■ 定置網 カタクチイワシ・スルメイカ・サバ・マイワシ・カワハギは前年を上回り、マアジ・マダラは前年並み、ブリは前年を下回りました。

■ まき網 サバ・カマス主体の水揚げで、前年を下回りました。

■ 底びき網・ごち網 ズワイガニは前年並み、アカガレイ・ニギス・アマエビは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 ベニズワイガニ・ガンド・マダラ・アマエビ・ナマコは前年を下回りました。

集計期間 2月16日～2月29日 (水揚量の単位はトン)

水揚港 魚種	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	期間合計	
								本年	前年
定置網									
かたくちいわし					58.1	131.6	249.7	439.4	33.7
するめいか					2.9	3.9	116.0	122.7	64.3
さば					0.1	17.9	28.9	47.0	7.2
まいわし					14.5	3.6	5.4	23.6	3.4
まあじ			0.0		4.1	5.3	6.4	15.8	14.9
かわはぎ(ウマツラ)			0.0		0.3	3.9	6.0	10.2	6.6
ぶり					0.1	7.5	2.0	9.5	52.3
まだら			0.6		0.8	3.1	3.6	8.2	9.5
やりいか			0.0		0.3	2.6	3.0	5.9	4.3
めじ(ウマガロ)					0.1	1.8	3.0	4.9	10.4
ふくらぎ・こそくら			0.0		2.3	1.8	0.0	4.2	1.6
すずき			0.1		1.1	0.3	0.6	2.1	0.5
うるめいわし					0.0	0.7	1.1	1.8	2.8
その他			0.3		39.3	15.1	7.3	62.0	18.0
合計			1.1		124.0	199.2	433.0	757.2	229.6
まき網									
さば	—	13.2			86.1	—		99.3	37.4
かます	—	29.1			37.6	—		66.7	
まいわし	—	4.4			0.0	—		4.4	
まあじ	—	2.0			1.2	—		3.2	0.6
その他	—	0.7			0.2	—		0.8	182.4
合計	—	49.3			125.1	—		174.4	220.4
底びき網・ごち網									
あかがれい	28.7	5.7	4.5	17.2	0.7		—	56.7	97.1
ふぐ類	0.0	0.2	10.0	21.4			—	31.6	15.4
にぎす	0.4	11.3	9.7	0.0		2.3	—	23.7	57.8
まだら	0.8	2.1	3.2	11.5	2.6		—	20.2	17.0
あまえび	0.3	0.8	11.2	5.4	0.0		—	17.7	29.7
ずわいがに	0.5	8.1	0.1	2.5	2.2		—	13.4	11.4
はたはた	3.2	2.1	0.7	1.1	1.5	0.3	—	9.0	30.2
そうはち	1.8	1.2		4.2	0.3		—	7.4	7.3
あんこう	0.3	0.3	0.6	2.6			—	3.7	6.7
その他	4.5	7.3	7.6	10.4	1.0	0.5	—	31.4	55.3
合計	40.5	38.9	47.6	76.3	8.3	3.1	—	214.8	327.9
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		23.7						23.7	29.9
がんど			0.0	15.6	0.2			15.8	31.8
まだら		0.0	0.2	0.0	2.3	6.6	1.7	10.9	21.6
あまえび			10.1			0.0		10.1	18.6
なまこ			0.0		0.2	8.4	1.1	9.8	16.3
ひらまさ	0.0		0.6	7.8	0.0	0.0	0.0	8.5	0.3
さわら・さごし	0.0	0.1		0.0	0.5	4.0	0.0	4.6	0.3
あからばちめ(ハツメ)				3.6			0.0	3.6	2.1
その他	1.7	1.3	4.9	12.0	2.4	9.5	7.8	39.5	76.7
合計	1.7	25.0	16.0	39.1	5.6	28.6	10.6	126.5	197.4
総計	42.2	113.2	64.7	115.4	262.9	230.9	443.7	1273.0	975.3

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計

石川県漁海況情報

447号
2020年3月27日発行



石川県水産総合センター 電話 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324
ホームページ <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/suisan/center/sigenbu.html>
携帯電話 http://www.pref.ishikawa.lg.jp/mobile/suisan/center/sigenbu_files/p-index.html



本号の概要

ズワイガニ漁のまとめ（期間:2019年11月～2020年3月）

- 2019年漁期の雄ガニおよび雌ガニの水揚量はいずれも過去5年平均を下回りました。
- 2019年漁期の雄ガニおよび雌ガニの総水揚金額は過去5年平均をやや下回りました。

石川県主要港の水揚状況（期間:3月1日～15日）

- 定置網ではカタクチイワシが好調でした。

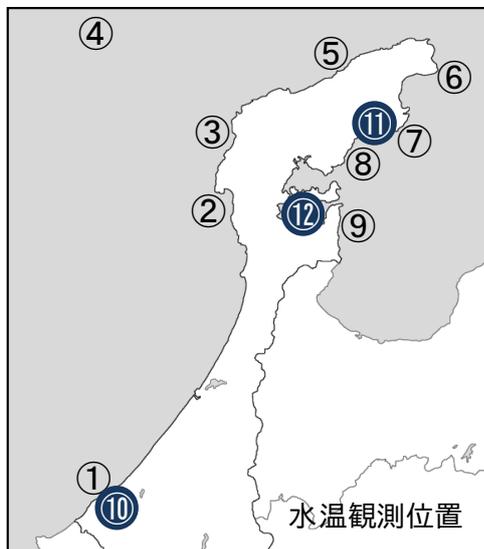
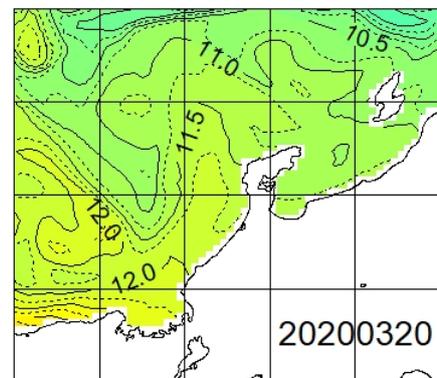
石川県周辺海域の水温（期間:3月16日～20日）

■ 沿岸の海面水温 3月20日の本県周辺（海岸線より30海里程度）の海面水温は11℃台で、過去5年平均との差は+0.5～+1.0℃程度でした。

■ 沿岸観測ブイの水温 今期の水温は11.2℃で、3月上旬から0.3℃上昇しました。前年同時期との差は+0.1～+0.2℃、過去3年平均との差は+0.7～+1.0℃でした。

■ 港内の水温 今期の水温は11.1～11.7℃で、前年同時期との差は+0.1～+0.3℃、過去3年平均との差は+0.4～+0.7℃でした。

石川県周辺の海面水温



沿岸観測ブイの水温（深度10mの値）

観測位置	5日間平均 3/16～3/20	前年差	過去3年 平均差
① 橋立沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
② 富来沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
③ 門前沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
④ 猿山岬沖	メンテナンス中	データなし	データなし
⑤ 曾々木沿岸	冬季波浪に備えて休止	データなし	データなし
⑥ 小泊沿岸	11.2	+0.2	+0.8
⑦ 小浦沿岸	11.2	+0.2	+0.8
⑧ 鶴川沿岸	11.2	データなし	+1.0
⑨ 岸端沿岸	11.2	+0.1	+0.7

港内の水温（深度1.5m・午前9時の値）

観測位置	5日間平均 3/16～3/20	前年差	過去3年 平均差
⑩ 橋立港	11.7	+0.1	+0.5
⑪ 宇出津港	11.5	+0.3	+0.7
⑫ 石崎港	11.1	+0.1	+0.4

ズワイガニ漁のまとめ（期間:2019年11月～2020年3月）

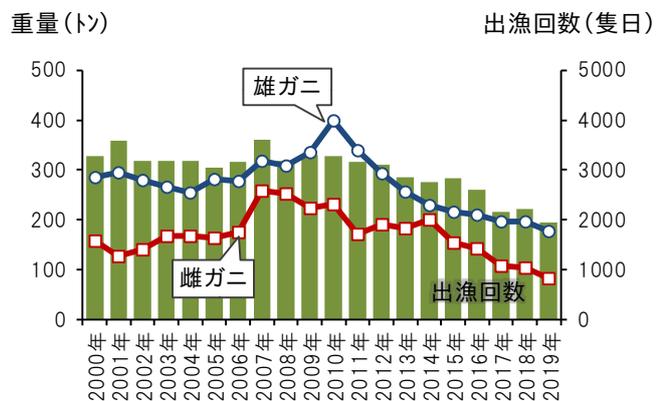
■ 2019年漁期(昨年11月～今年3月)の底びき網漁船による県内主要港(橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港)へのズワイガニの水揚状況は以下のとおりでした。

■ 2019年漁期の雄ガニ(加能ガニ)の水揚量は177トンで、前年(197トン)の90%、過去5年平均(210トン)の84%でした。2011年漁期以降、雄ガニの水揚量は減少傾向にあります。2019年漁期の雌ガニ(香箱)の水揚量は83トンで、前年(105トン)の79%、過去5年平均(142トン)の58%でした。今漁期は出漁隻数が少なく、水揚量は低水準となりました。

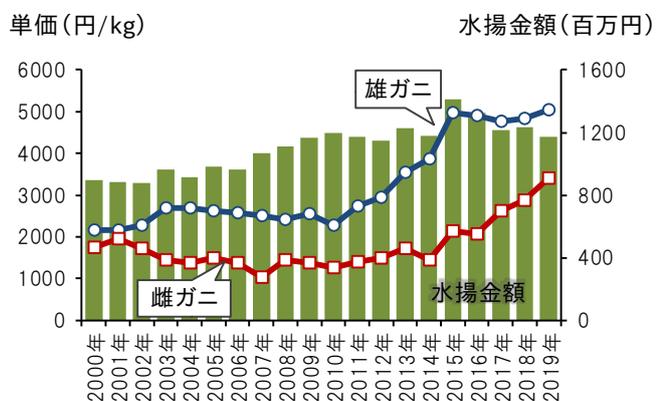
■ 2019年漁期の雄ガニのキログラム単価は5,047円で、前年(4,734円)および過去5年平均(4,649円)を上回りました。雌ガニの単価は3,400円で、前年(2,878円)および過去5年平均(2,228円)を上回りました。2015年以降雄ガニおよび雌ガニの単価はともに高水準で推移しています。2019年漁期の総水揚金額(11.8億円)は前年(12.4億円)および過去5年平均(12.7億円)をやや下回りました。

■ ズワイガニはおおむね7～8歳以降に漁獲対象になるため、資源保護の効果が出るまでには時間がかかりますが、引き続き資源管理への協力をお願いします。

雌雄別の水揚重量と出漁回数



雌雄別の単価と総水揚金額



石川県主要港の水揚状況（期間:3月1日～15日）

■ 定置網 カタクチイワシ・マアジ・マイワシ・ウルメイワシは前年を上回り、スルメイカは前年並み、ブリは前年を下回りました。カタクチイワシは163トン水揚げされました。12月前半から3月前半までの累計は2,392トンで、前年(1,250トン)および過去5年平均(557トン)を上回りました。

■ まき網 サバ・マアジ主体の水揚げで、合計は前年を上回りました。

■ 底びき網・ごち網 アカガレイ・フグ類・マダラ・ズワイガニは前年を上回り、ニギス・ハタハタは前年並み、アマエビは前年を下回りました。

■ 刺網・釣り・その他 フクラギ・コゾクラ・ヤナギバチメは前年を上回り、ベニズワイガニは前年並み、ガンドは前年を下回りました。

集計期間 3月1日～3月15日 (水揚量の単位はトン)

魚種	水揚港							期間合計	
	橋立	金沢	富来	輪島	珠洲地区	宇出津	七尾地区	本年	前年
定置網									
かたくちいわし					69.3	2.6	90.6	162.5	75.0
するめいか					1.3	2.1	49.7	53.1	49.8
まあじ			0.0		1.7	19.4	16.7	37.8	11.7
ぶり			0.0		0.9	23.3	7.5	31.7	54.1
まいわし					5.5	2.5	8.4	16.3	1.8
うるめいわし					0.8	6.7	6.7	14.2	0.2
さば					0.8	1.7	4.9	7.3	3.2
めじ(カマガロ)					0.8	5.3	0.7	6.8	6.6
かわはぎ(カマヅラ)			0.0		0.4	1.5	4.2	6.1	3.3
まだら			0.3		0.8	2.8	1.7	5.6	5.0
ふくらぎ・こそくら			0.0		0.7	3.3	0.0	3.9	0.9
にぎす							3.6	3.6	0.9
やりいか			0.0		0.4	1.2	1.4	3.1	2.1
その他			0.2		4.2	20.5	8.3	33.2	75.7
合計			0.5		87.4	92.7	204.6	385.2	290.4
まき網									
さば	—	29.2			241.2	—	64.5	335.0	97.6
まあじ	—	0.4			23.5	—	1.4	25.2	133.2
ぶり	—				9.5	—		9.5	33.7
さわら・さごし	—				0.4	—		0.4	0.2
その他	—				0.4	—		0.4	1.5
合計	—	29.6			275.0	—	65.9	370.5	266.1
底びき網・ごち網									
あかがれい	32.2	3.8	4.9	4.6	0.6		—	46.1	35.1
ふぐ類	0.2	0.3	22.3	5.4			—	28.2	7.4
にぎす	2.2	12.2	8.2	0.0			—	22.6	19.1
はたはた	5.7	0.9	3.1	1.0	5.0	0.9	—	16.6	15.9
まだら	0.6	1.4	1.3	7.1	2.2		—	12.7	6.1
あまえび	0.6	0.6	2.7	5.4	0.0		—	9.3	17.8
ずわいがに	0.2	5.4	0.1	1.0	1.7		—	8.4	6.9
かわはぎ(カマヅラ)	0.6	4.8	0.0	0.2			—	5.6	1.5
そうはち	2.0	0.7		1.0	0.2		—	3.8	3.1
その他	7.1	11.2	8.5	5.7	1.1	0.7	—	34.4	32.0
合計	51.3	41.3	51.2	31.3	10.8	1.6	—	187.6	144.9
刺網・釣り・その他									
べにずわいがに		27.0	4.1					31.1	36.5
ふくらぎ・こそくら				25.1	0.0			25.2	0.4
がんど			0.2	9.5	0.0	0.0		9.7	13.0
やなぎばちめ(ウスマバル)	0.0	0.0	2.0	2.7	0.2	0.0	0.3	5.3	3.6
まだら		0.0	0.0	0.0	0.1	4.4	0.6	5.1	5.9
あからばちめ(ハツメ)				4.3				4.3	
ふぐ類	0.0	0.0	0.6	3.4	0.0	0.0	0.0	4.1	2.4
あまえび			4.1					4.1	19.6
その他	1.2	2.0	2.6	11.7	2.5	11.6	9.2	40.8	47.2
合計	1.2	29.1	13.6	56.8	2.7	16.1	10.1	129.7	128.5
総計	52.5	100.1	65.4	88.1	376.0	110.3	280.6	1073.0	830.0

注:宇出津は松波港を含む、富来・輪島は一部未集計